

# モクレポ



○青森森林管理署HP「青森森林管理署カレンダー」より  
眺望山自然休養林内の桜（青森森林管理署管内）

令和4年4月

No.7

## 特集

- ロシアからの木材輸入
- 令和2年度の公共建築物の木造率について
- 生しいたけの原産地表示の見直しについて
- 「新たな森林づくりコンクール2021」受賞者決定
- 国有林野における効率的・効果的なシカ捕獲わなの普及・展開
- EU森林戦略2030

このレポートは、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表するものです。林業・木材産業関係者の事業活動に役立てていただくことを目指しています。

### 【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬に公表。公表日の5営業日前に入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあります。
3. 調査方法の見直しに伴い、データが接続しない場合があります。

林野庁

# CONTENTS 令和4年4月号

## 特集

- 1 ロシアからの木材輸入
- 2 令和2年度の公共建築物の木造率について
- 3 生しいたけの原産地表示の見直しについて
- 4 「新たな森林づくりコンクール2021」受賞者決定
- 5 国有林野における効率的・効果的なシカ捕獲わなの普及・展開
- 6 EU森林戦略2030

特集1

特集2

特集3

特集4

特集5

特集6

## 01 基礎的指標

- 1 新設住宅着工戸数
- 2 新設住宅着工床面積 <参考>非居住用建築物着工床面積
- 3 木材産業の業況
- 4 USドル及びユーロ為替相場
- 5 米国民間新設住宅着工戸数、日本向けコンテナ運賃
- 6 中国の木材輸入量、EUにおける建設活動水準

基礎1

基礎4

基礎8

基礎9

基礎10

基礎11

## 02 木材価格情報

- 1 スギ・ヒノキ原木の主要市場価格
- 2 木材価格、製品価格 <参考>都道府県別データ

価格1

価格3

## 03 木材需給情報

- 1 需要量、供給量、自給率の動向
- 2 地域の木材需給動向（各森林管理局からの報告）
- 3 製材工場の原木入荷、製品生産等の動向
- 4 合板工場の原木入荷、製品生産等の動向
- 5 チップ工場の原木入荷、製品生産等の動向
- 6 間伐材等由来の木質バイオマス燃料利用量、紙品種別生産高
- 7 素材生産量
- 8 木材生産の産出額

需給1

需給4

需給5

需給6

需給7

需給8

需給9

需給10

## 04 林産物輸出入情報

- 1 林産物輸出額
- 2 木材輸出額
- 3 木材輸入額
- 4 木材輸入量
- 5 製材・構造用集成材・合板の輸入平均単価

輸出入1

輸出入2

輸出入3

輸出入4

輸出入10

## 05 特用林産情報

- 1 特用林産物の国内生産量
- 2 特用林産物の産出額
- 3 特用林産物の輸出入量
- 4 特用林産物の輸出額
- 5 きのご類の卸売量・価格

特産1

特産2

特産3

特産4

特産7

## 06 セミナー・イベント情報

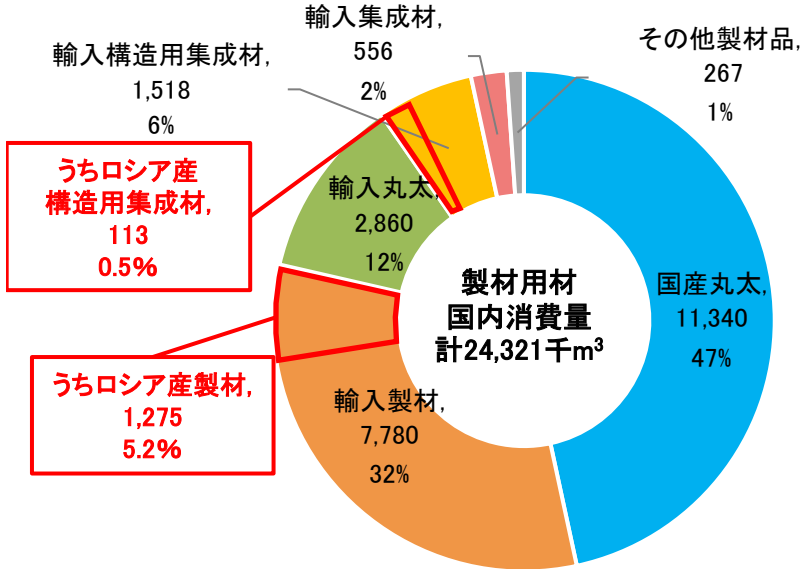
- 4月中旬以降の開催情報

イベント1

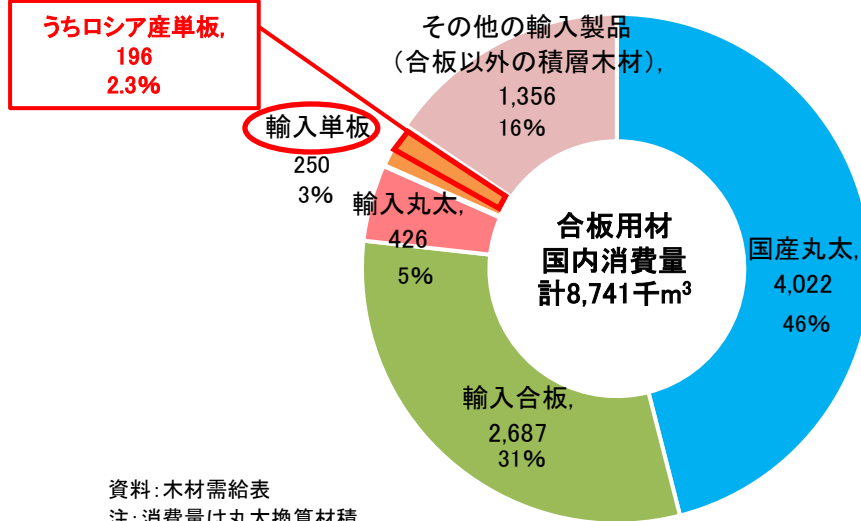
## 特集-1 ロシアからの木材輸入

- 2021年におけるロシアからの木材輸入額は634億円（※我が国の木材輸入総額（約1.2兆円）の5％）。ロシアからの木材輸入額のうち、69％（435億円）が製材、13％（85億円）が単板、8％が構造用集成材（48億円）。
- ロシア産の製材と構造用集成材は、国内における製材用材消費量の5.7％を占める。
- ロシア産の単板は、国内における合板用材消費量の2.3％を占める。
- ロシアによる輸出禁止等の影響により、今後、ロシア材の供給がひっ迫する可能性。

### ■ 国内の製材用材消費量内訳(2020年)



### ■ 国内の合板用材消費量内訳(2020年)



資料: 木材需給表  
注: 消費量は丸太換算材積。

- ロシアは、2022年3月9日から、我が国を含む「非友好国」に対して、木材チップ、丸太、単板の輸出を禁止。
- ロシアへの最恵国待遇撤回により、製材の関税率は、一部を除き4.8%から8%等に引き上げ（※製材の一部、単板、構造用集成材は、関税率に変化なし）。
- 我が国は、木材チップ、丸太、単板の輸入禁止について、2022年4月12日に閣議了解し、輸入貿易管理令に基づく経済産業大臣告示を改正（4月12日公布、4月19日施行）。



- 農林水産省では、毎年、国土交通省の建築着工統計調査のデータを元に公共建築物等の木造率を試算・公表。
- 令和2年度に着工された公共建築物の木造率は13.9%。特に低層(3階建て以下)の公共建築物の木造率は29.7%となり、令和元年度(28.5%)に比べ1.2ポイント上昇。建築主別でも全ての種別で上昇。
- 昨年10月1日に新たに策定した建築物における木材の利用の促進に関する基本方針では、公共建築物について、低層のものに限らず、コストや技術の面で困難な場合を除き、積極的に木造化を促進することとしており、民間建築物も含めて、建築物におけるさらなる木材利用の促進に取り組むこととしている。

■ 建築主別の木造率

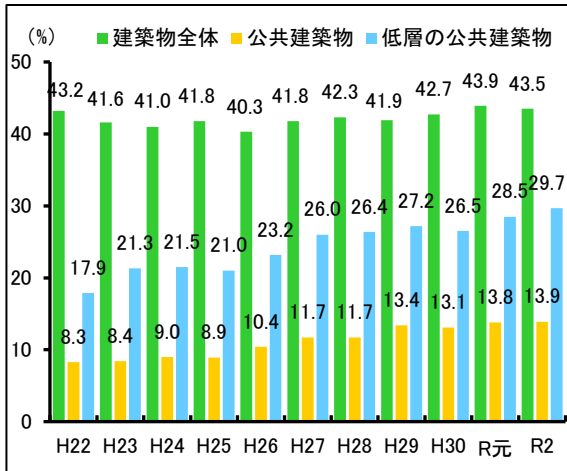
全体 【延べ床面積ベース】	令和元年度		令和2年度	
	合計(m <sup>2</sup> )	木造率(%)	合計(m <sup>2</sup> )	木造率(%)
建築物全体	124,932,929	43.9%	114,299,670	43.5%
公共建築物	12,803,909	13.8%	11,720,704	13.9%
国	1,744,907		1,631,308	
都道府県	559,441	2.4%	883,340	1.3%
市町村	13,526		11,618	
民間と個人	1,382,975	3.5%	1,122,432	4.3%
	48,720		48,436	
	3,896,806	8.0%	3,617,522	8.7%
	312,383		316,220	
	6,764,687	20.3%	6,097,410	20.6%
	1,370,278		1,255,034	

上段:新築等に係る床面積の合計 下段:うち、木造の床面積の合計

低層(3階建て以下) 【延べ床面積ベース】	令和元年度		令和2年度	
	合計(m <sup>2</sup> )	木造率(%)	合計(m <sup>2</sup> )	木造率(%)
建築物全体	79,532,690	65.1%	71,745,432	65.8%
公共建築物	5,119,591	28.5%	4,572,032	29.7%
国	1,456,839		1,359,417	
都道府県	133,070	4.2%	97,891	7.1%
市町村	5,593		6,934	
民間と個人	261,195	10.0%	268,493	10.2%
	26,184		27,319	
	1,538,567	16.1%	1,368,306	17.2%
	248,329		235,515	
	3,186,759	36.9%	2,837,342	38.4%
	1,176,733		1,089,649	

上段:新築に係る床面積の合計 下段:うち、木造の床面積の合計

■ 木造率の推移



■ 都道府県別の木造率

都道府県	建築物全体			公共建築物			うち低層				
	建築物全体	公共建築物	うち低層	建築物全体	公共建築物	うち低層	建築物全体	公共建築物	うち低層		
北海道	44.9	16.0	30.7	石川	51.2	12.1	32.4	岡山	48.2	13.3	20.0
青森	61.7	22.1	35.1	福井	60.3	12.2	13.2	広島	41.5	13.3	27.5
岩手	63.8	41.1	45.7	山梨	61.5	27.1	45.4	山口	51.6	20.0	47.6
宮城	49.9	13.8	38.7	長野	59.6	30.4	35.9	徳島	52.0	15.9	34.3
秋田	64.3	27.5	50.0	岐阜	53.2	35.5	49.4	香川	47.6	6.9	22.0
山形	56.0	17.1	42.8	静岡	48.9	17.0	32.3	愛媛	50.9	17.7	32.6
福島	55.4	24.4	31.8	愛知	41.9	13.6	33.1	高知	46.6	20.5	32.4
茨城	51.7	24.0	32.5	三重	43.5	13.8	36.5	福岡	39.4	12.7	25.5
栃木	52.5	27.4	41.1	滋賀	48.1	27.1	34.8	佐賀	52.2	18.1	42.7
群馬	48.8	27.9	41.0	京都	33.7	7.1	22.2	長崎	51.8	15.0	18.6
埼玉	46.9	19.3	28.4	大阪	32.5	8.6	35.6	熊本	50.0	14.0	33.8
千葉	43.1	14.0	26.8	兵庫	36.5	8.1	19.6	大分	51.9	29.1	36.1
東京	29.8	3.8	13.7	奈良	52.6	8.7	22.8	宮崎	54.4	24.3	36.9
神奈川	40.2	10.1	24.1	和歌山	54.0	15.5	30.6	鹿児島	52.0	16.5	29.6
新潟	55.4	18.9	43.2	鳥取	61.6	21.3	44.5	沖縄	11.0	0.4	1.3
富山	52.3	12.8	29.6	島根	60.8	17.7	34.2	全国	43.5	13.9	29.7

資料: 林野庁プレスリリース「令和2年度の公共建築物の木造率について」(2022年3月23日)  
国土交通省「建築着工統計調査(令和2年度)」のデータを基に林野庁が試算

注1: 木造とは、建築基準法第2条第5号の主要構造部(壁、柱、床、はり、屋根又は階段)に木材を利用したものをいう。建築物の全部又はその部分が2種以上の構造からなるときは、床面積の合計のうち、最も大きい部分を占める構造によって分類する。

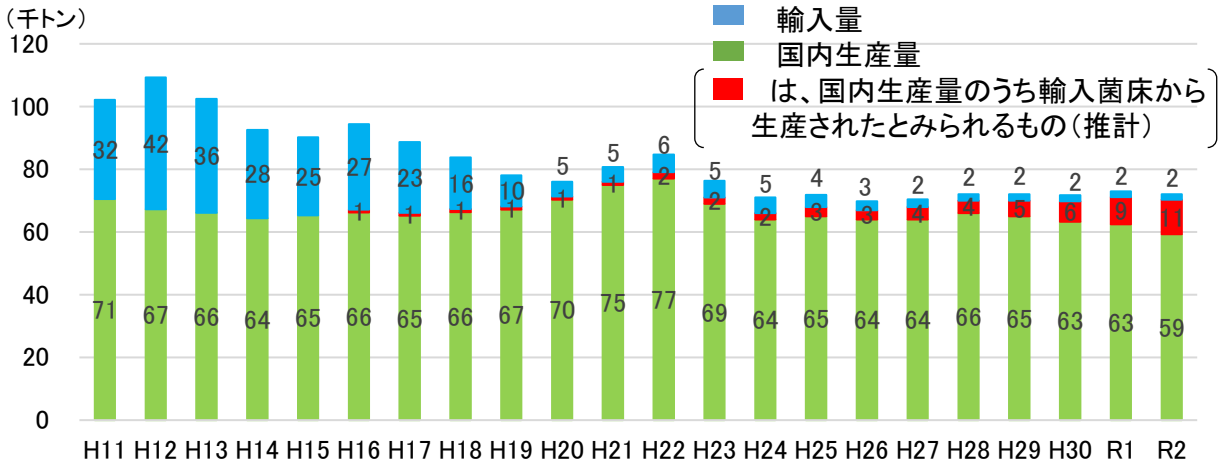
注2: 木造率の試算の対象には住宅を含む。また、新築、増築、改築を含む(低層の公共建築物については新築のみ)。

注3: 「公共建築物」とは国及び地方公共団体が建築する全ての建築物並びに民間事業者が建築する教育施設、医療・福祉施設等の建築物をいう。

本件に関する林野庁プレスリリースは、次のURLをご覧ください。  
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/riyou/220323.html>

- 生しいたけの原産地表示については、収穫地を原産地として表示することとされていたが、近年、海外で植菌・培養された輸入菌床に由来するしいたけの生産量が増加。
- 消費者は国産菌床由来のしいたけと輸入菌床由来のそれを区別することができない状況。
- 消費者により確実に情報を提供するため、令和4年3月、食品表示基準Q&Aの改正により消費者庁が原産地表示のルールを見直し、原木や培地に種菌を植え付けた場所（植菌地）を原産地として表示することを義務化。

■ 生しいたけの国内生産量及び輸入量の推移(原木含む)

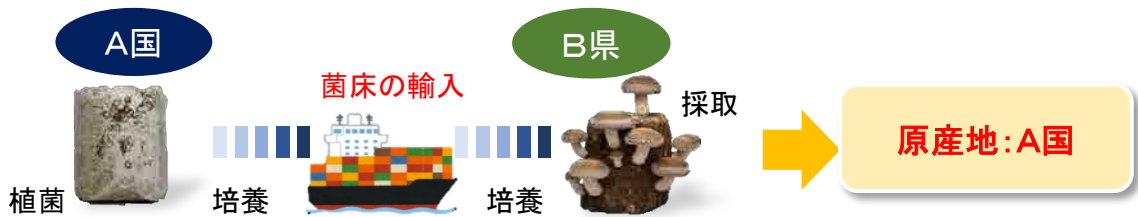


資料: 農林水産省「特用林産基礎資料」、財務省「貿易統計」

注: 輸入菌床による国内生産量は推計値(貿易統計が存在する平成15年以降を記載)

■ 改正後の原産地表示(原木も菌床も原産地=植菌地)

海外から輸入した菌床の場合



他県で植菌した菌床・ほだ木の場合



※都道府県名のほか、市町村名、その他一般に知られている地名(郡名、島名、旧国名等)でも可

本件に関する詳細は、次のURLをご覧ください。

[https://www.rinya.maff.go.jp/j/tokuyou/kinsho\\_shiitake\\_hyoji.html](https://www.rinya.maff.go.jp/j/tokuyou/kinsho_shiitake_hyoji.html)

## 特集-4 「新たな森林づくりコンクール2021」受賞者決定

- 森林整備の現場での先進的な技術の導入や林業の経営改善に向けた取組事例を幅広く募り、優れた取組を表彰する「新たな森林（もり）づくりコンクール」を開催。（主催：一般社団法人 全国林業改良普及協会）
- 全国から37件の応募があり、受賞者を以下のとおり決定。
- 令和4年3月15日、表彰式をオンラインで開催。

### ■ 新たな森林づくりコンクール受賞者及び受賞取組

#### 【林野庁長官賞】

##### ・技術部門：開発の取組

「コウヨウザン造林推進のための苗木生産技術の開発」  
一般財団法人 広島県森林整備・農業振興財団

早生樹であるコウヨウザンの造林に国内で初めて取り組み、現在、各地で行われているコウヨウザン造林の先駆けとなった取組。



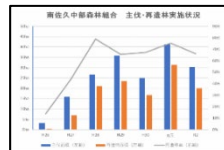
コウヨウザン造林

##### ・経営部門：新規性のある優れた経営の取組

「主伐後の再造林～保育10年保証制度」

南佐久中部森林組合（長野県）

森林所有者から主伐収益の一部を再造林費に充ててもらうことで、森林組合が10年間の保育を保証する取組。



主伐と再造林の実施状況

#### 【全国林業改良普及協会長賞】

##### ・技術部門：導入・普及の取組

「造林事業に係る現地調査DX」

大分県森林組合連合会

ドローン測量による現地検査の手法を全国で先駆けて導入した取組。



ドローンによる測量

##### ・経営部門：新規性のある優れた経営の取組

「自社での一貫作業システムによる再造林推進」

株式会社迫田興産（鹿児島県）

自社内で苗木生産から再造林、間伐、主伐を行い、費用を抑制することで再造林を推進する取組。



自社での苗木生産

##### ・経営部門：異分野連携の取組

「林福連携苗木生産者支援事業（スギ挿し木用穂木生産）」

障害福祉サービス事業所 樹の実園（大分県）

苗木生産業者と障害福祉サービス事業所が連携することで、苗木生産の労働力と障害福祉サービス事業所の労務を確保する取組。



事業所利用者による整穂作業

- 今回の応募事例などを「革新的造林 モデル事例集」にまとめ、都道府県や林業事業体へ展開していく。

「革新的造林モデル事例集」については、次のURLをご覧ください。  
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kanbatu/houkokusho/houkoku.html>

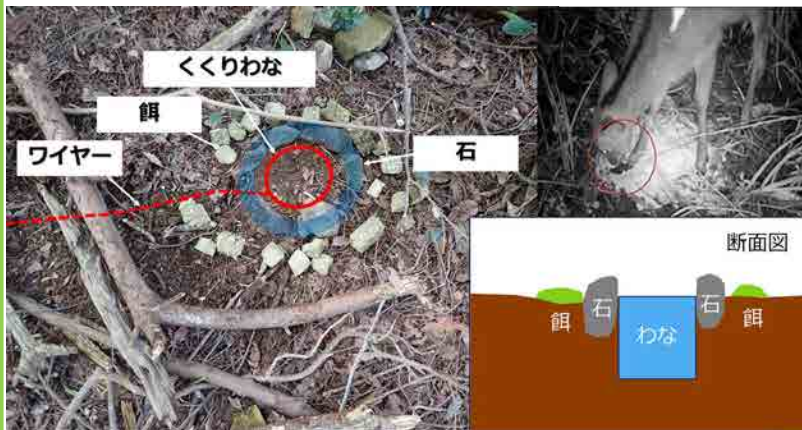


# 国有林野における効率的・効果的なシカ捕獲 わなの普及・展開

- 国有林では、増加するシカ被害に対応するため、効率的・効果的なシカ捕獲が期待できるわなを開発。全国への普及・展開のため、民有林関係者や農業関係者も参加して技術講習会等を実施。

## 小林式誘引捕獲

近畿中国森林管理局が開発した「小林式誘引捕獲(くくりわな)」は、経験が必要な従来のわな設置方法に比べて初心者でも簡単かつ効率的なシカ捕獲が期待でき、林道沿線の見回り、止めさし、運搬に便利な場所に設置が可能。



写真上:くくりわなの周囲にシカを誘引するための餌を配置し、シカの採食時の習性で前足がわなにかかりやすくなるよう工夫することで、初心者でも簡単に効率よい捕獲が期待できる。

写真右:民有林や農業関係者も参画して普及のための技術講習会を実施。



小林式誘引捕獲の詳細については、次のURLをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sodateyou/171225.html>



## こじゃんと

四国森林管理局が開発した「こじゃんと(小型囲いわな)」は、安価で使いやすく組立が容易で運搬に便利であり、クマが掛かっても天井が開放されているため錯誤捕獲防止に効果。



### 特徴

1. **低コスト**: 約5万円で市販の箱わなの半分以下。
2. **軽量**: 約60kgで組立後に軽トラに積載可能。
3. **組立・解体が容易**: 2人で5分程度。
4. **農林業者は捕獲許可が不要**: 天上部が1/2以上開放しているため「囲いわな」に該当し、農林業者が被害防止のために自らの事業地に設置する場合は一定の条件の下で捕獲許可が不要。
5. **錯誤捕獲を防止**: 天上部が開放しているため、万が一クマを捕獲してもわなから脱出できる。
6. **止めさしが容易**: 天上部から容易にシカを捕捉し、止めさしできる。

こじゃんとの詳細については、次のURLをご覧ください。

[https://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/gjutu\\_c/sikahigaitaisaku.html](https://www.rinya.maff.go.jp/shikoku/gjutu_c/sikahigaitaisaku.html)



- EU は、2030年における炭素排出量 55%削減を目標とする政策パッケージ「Fit for 55」の一環として、「EU森林戦略2030」を策定し、2021年7月に公表。
- 同戦略では、森林の経済的利用の推進、森林生態系の保全、モニタリングの実施を三本柱として、今後取り組むべき具体的な政策を列挙。
- 具体的な施策としては、木材製品の長寿命利用の促進、木質バイオマスエネルギー利用の適正化、エコツーリズムの推進、天然林・原生林の保護、持続可能な森林経営の強化、30億本の追加的植樹、森林所有者への経済的支援強化等。

### 【EU森林戦略2030概要】

#### 1. 目的

- ・森林の質と量を改善するためのビジョンと具体的な行動の提示。
- ・森林の保護、回復、強靱化の取組の強化。
- ・欧州の森林を気候変動による極端で不安定な環境に適応させる。これにより、森林の社会経済的機能を継続させ、地域の活性化を図る。

#### 2. 構成と内容

##### (1) 持続可能な森林バイオエコノミーの推進

- ①木材製品の長寿命利用の促進(建設部門での木材利用による排出削減量の数値化、火災リスクや耐久性に関する誤解への対応、建築家へのインセンティブ付与等)
- ②木質バイオマスエネルギー利用の適正化(カスケード利用原則の徹底、全木利用の抑制、燃料調達対象の制限、エネルギー利用への支援措置の見直し等)
- ③エコツーリズム等木材以外の利用推進(非木材製品利用の国別プログラムの策定など)
- ④人材開発

##### (2) 森林の保護・回復・拡大

- ①天然林・原生林の保護(共通定義の設定、保護制度の確立等)
- ②持続可能な森林経営の強化(混交林の造成、広葉樹種の活用、皆伐の抑制、根株の保護、土壌の保全、持続可能な森林経営に関する新たな指標の追加、閾値・範囲の設定等)
- ③植林の推進(30億本の追加的植樹(主に都市・郊外))
- ④森林所有者への経済的支援(共通農業政策(GAP)による支援拡大、生態系サービスへの支払いスキームの普及)

##### (3) 森林のモニタリング、報告、データ収集

- ・森林監視、報告、データ収集に関する新たな法制度の立案

##### (4) その他

- ・研究・イノベーションの強化、市民社会の参画推進、既存政策との連携

#### 3. 特徴

- ・木材利用に関して、「カスケード利用の原則」を強調。建築物における木材製品の長寿命利用を促進する一方で、バイオマスエネルギーへの利用は端材等に限定する方向を提示。バイオマスエネルギーへの利用については、持続可能性の基準を厳しく適用する方向を提示。
- ・市民参加による30億本の追加的植樹が目玉。ウェブサイトを活用して、植栽された樹木を個別にトラッキングしていくことを企図。

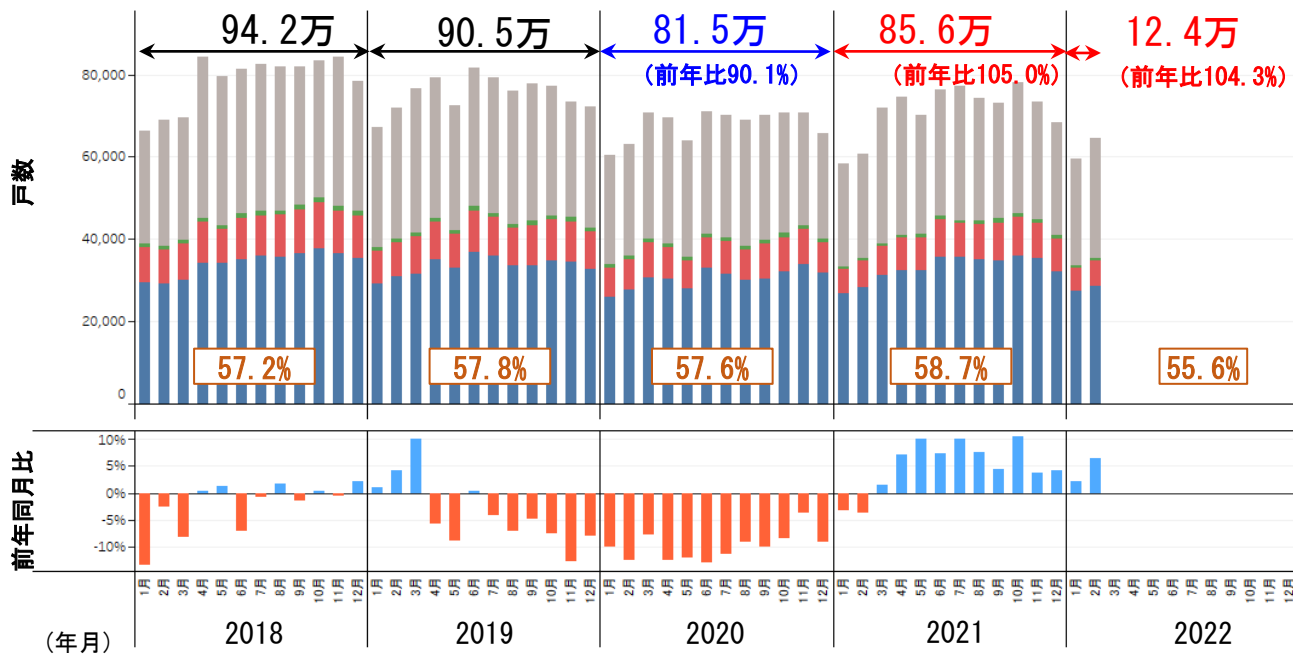
EU森林戦略2030については、次のURLをご覧ください。

[https://www.rinya.maff.go.jp/j/boutai/yunyuu/kakkoku\\_jyoho.html](https://www.rinya.maff.go.jp/j/boutai/yunyuu/kakkoku_jyoho.html)



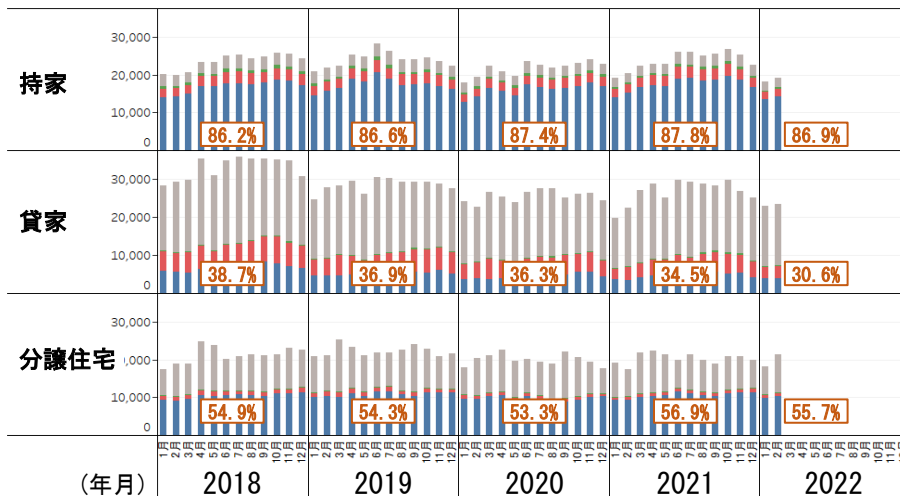
# 基礎的指標-1 新設住宅着工戸数

- 2021年の新設住宅着工戸数は、85.6万戸（前年比105.0%）、このうち木造住宅は50.2万戸（同107.0%）
- 2022年1～2月の新設住宅着工戸数は、12.4万戸（前年同期比104.3%）、このうち木造住宅は6.9万戸（同100.4%）。



構造別の着工戸数	2022年 1～2月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	124,304	119,212	104.3%	123,446	100.7%
■非木造	55,183	50,364	109.6%	53,773	102.6%
木造	69,121	68,848	100.4%	69,673	99.2%
■木造プレハブ	1,263	1,349	93.6%	1,542	81.9%
■2×4	12,048	12,508	96.3%	14,298	84.3%
■在来軸組	55,810	54,991	101.5%	53,833	103.7%
□木造率	55.6%	57.8%		56.4%	

(参考) 利用関係別の着工戸数 (ただし、「給与住宅」を除く。)



資料：国土交通省「住宅着工統計」

○新設住宅着工戸数（構造別）

（単位：千戸、％）

年・月	合計		木造									非木造		木造率	戸数	
			計	在来軸組		2×4		プレハブ		年率	季節調整値					
	前年比	前年比		前年比	前年比	前年比	前年比	前年比								
2018年	1	66	87	39	100	29	99	8.6	103	0.9	86	27	73	58.7	856	86
	2	69	97	38	97	29	97	8.3	97	1.0	96	31	98	55.5	926	99
	3	70	92	40	96	30	96	8.7	96	0.9	96	30	87	57.1	895	91
	4	84	100	45	100	34	100	10.2	101	0.9	82	39	101	53.7	992	99
	5	80	101	43	97	34	100	8.5	88	0.9	82	36	107	54.6	996	100
	6	81	93	46	97	35	98	10.1	93	1.2	93	35	88	56.9	915	91
	7	83	99	47	98	36	99	9.8	95	1.1	104	36	100	56.8	958	98
	8	82	102	47	100	36	100	10.2	101	1.0	99	35	104	57.4	957	102
	9	82	99	48	100	37	102	10.6	95	1.1	93	33	96	59.1	943	99
	10	83	100	50	102	38	103	11.3	100	1.3	108	33	97	60.3	950	100
	11	84	99	48	96	37	96	10.3	96	1.1	94	36	104	57.1	957	100
	12	78	102	47	103	35	103	10.4	104	1.1	98	32	101	59.7	961	103
2019年	1	67	101	38	98	29	99	7.9	91	1.0	105	29	106	56.8	872	102
	2	72	104	40	104	31	106	8.3	100	0.9	85	32	104	55.6	967	104
	3	77	110	41	104	31	104	9.1	105	0.9	95	35	118	54.1	989	110
	4	79	94	45	100	35	103	9.0	88	1.1	120	34	88	56.9	931	94
	5	73	91	42	97	33	97	8.2	97	1.0	115	30	84	58.2	900	90
	6	82	100	48	104	37	105	10.0	99	1.2	104	33	96	59.0	922	101
	7	79	96	46	99	36	100	9.4	96	1.1	95	33	92	58.5	910	95
	8	76	93	44	93	34	94	9.0	88	1.0	92	32	93	57.4	891	93
	9	78	95	44	92	34	91	9.9	93	1.0	95	33	100	57.0	897	95
	10	77	93	46	91	35	92	9.9	87	1.1	82	31	95	59.3	879	93
	11	74	87	45	94	34	94	9.8	95	1.1	93	28	78	61.6	834	87
	12	72	92	43	91	33	92	9.2	89	1.0	89	29	93	59.3	852	89
2020年	1	60	90	34	89	26	89	7.0	89	0.8	82	26	91	56.1	813	93
	2	63	88	36	90	28	90	7.3	88	0.8	88	27	85	56.8	871	90
	3	71	92	40	97	31	97	8.7	95	0.9	102	31	87	56.8	905	92
	4	70	88	39	86	30	86	7.7	86	0.8	75	31	90	55.8	801	86
	5	64	88	36	84	28	85	6.8	83	0.9	96	28	93	55.8	809	90
	6	71	87	41	86	33	90	7.3	73	1.0	79	30	89	58.0	790	86
	7	70	89	40	87	32	88	7.8	84	0.9	89	30	91	57.6	828	91
	8	69	91	38	88	30	89	7.5	83	1.0	102	31	95	55.6	819	92
	9	70	90	40	90	30	91	8.6	87	1.0	92	30	90	56.9	815	91
	10	71	92	41	91	32	93	8.2	84	0.9	89	29	93	58.6	802	91
	11	71	96	43	96	34	98	8.6	87	1.0	92	27	97	61.3	820	98
	12	66	91	40	94	32	97	7.6	82	0.9	92	25	87	61.3	784	92
2021年	1	58	97	33	99	27	103	5.9	85	0.6	82	25	95	57.1	801	99
	2	61	96	35	99	28	101	6.6	90	0.7	93	25	93	58.3	808	93
	3	72	101	39	97	31	102	7.0	81	0.8	93	33	107	54.3	880	97
	4	75	107	41	106	32	107	7.8	101	0.8	96	33	109	55.1	883	110
	5	70	110	41	115	33	116	7.9	116	0.8	80	29	103	58.6	875	108
	6	76	107	46	111	36	109	8.9	122	1.1	111	31	102	60.0	866	110
	7	77	110	45	110	36	112	8.3	106	0.8	86	33	109	57.9	926	112
	8	74	108	45	116	35	117	8.7	116	1.0	98	30	97	60.0	855	104
	9	73	104	45	113	35	115	9.2	108	1.1	117	28	93	61.7	845	104
	10	78	110	46	112	36	112	9.4	114	1.1	114	32	108	59.5	892	111
	11	73	104	45	103	35	104	8.5	100	1.0	101	29	104	61.1	848	103
	12	68	104	41	102	32	102	7.8	103	0.8	91	28	108	59.7	838	107
2022年	1	60	102	34	101	27	102	5.9	99	0.6	87	26	104	56.5	820	102
	2	65	106	35	100	29	101	6.2	94	0.7	100	29	115	54.8	872	108
2018年計		942	98	539	99	410	99	117	97	13	94	403	96	57.2	942	97
2019年計		905	96	523	97	402	98	110	94	12	97	382	95	57.8	904	96
2020年計		815	90	469	90	365	91	93	85	11	89	346	91	57.6	821	91
2021年計		856	105	502	107	396	108	96	103	11	97	354	102	58.7	860	105
2018年	第1四半期	205	92	117	97	89	97	26	99	2.8	93	88	85	57.1	892	92
	第2四半期	245	98	135	98	103	100	29	94	2.9	86	110	98	55.1	968	97
	第3四半期	246	100	142	100	108	100	31	97	3.3	98	104	100	57.8	953	100
	第4四半期	246	101	145	100	110	101	32	100	3.5	100	101	101	59.0	956	101
2019年	第1四半期	216	105	120	102	92	103	25	99	2.7	94	96	109	55.4	942	106
	第2四半期	234	95	135	100	105	102	27	95	3.3	112	98	89	58.0	918	95
	第3四半期	233	95	134	94	103	95	28	92	3.1	94	99	95	57.7	899	94
	第4四半期	223	91	134	92	102	93	29	90	3.1	88	89	88	60.1	855	89
2020年	第1四半期	194	90	110	92	84	92	23	91	2.4	90	84	88	56.6	863	92
	第2四半期	205	88	116	85	91	87	22	80	2.7	83	89	91	56.6	800	87
	第3四半期	210	90	119	88	92	89	24	85	2.9	94	91	92	56.7	821	91
	第4四半期	207	93	125	93	98	96	24	84	2.8	91	82	92	60.4	802	94
2021年	第1四半期	191	98	108	98	86	102	20	85	2.2	89	83	99	56.5	830	96
	第2四半期	221	108	128	111	101	110	25	113	2.6	95	93	105	57.9	875	109
	第3四半期	225	107	134	113	105	114	26	110	2.9	100	90	99	59.8	876	107
	第4四半期	220	106	132	106	104	106	26	105	2.9	102	88	107	60.1	859	107

資料：国土交通省「住宅着工統計」

○新設住宅着工戸数（利用関係別・資金別）

（単位：千戸、％）

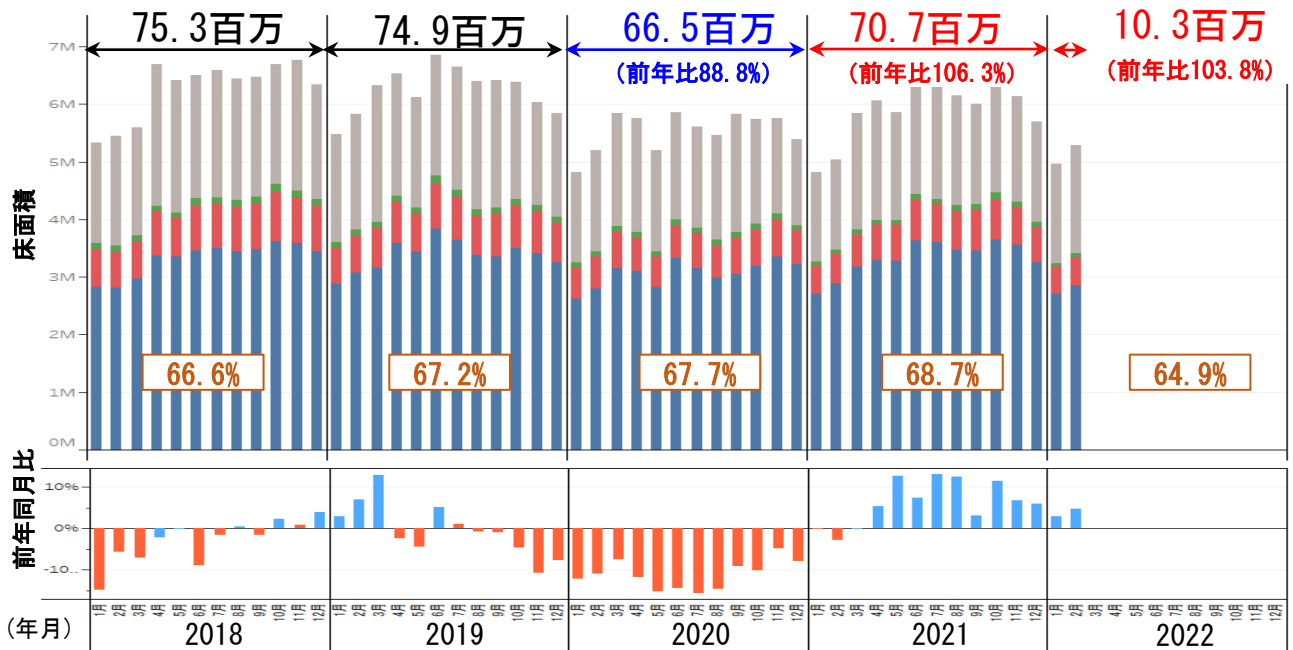
年・月	合計	利用関係別											資金別						
		持家		貸家		給与		分譲		一戸建		共同住宅		民間		公的			
		前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比			
2018年	1	66	87	20	100	28	89	0.4	78	17	73	11	99	7	51	59	85	7	99
	2	69	97	20	94	29	95	0.6	176	19	103	11	99	8	109	62	98	8	94
	3	70	92	21	96	30	88	0.3	36	19	96	11	99	8	93	63	92	7	89
	4	84	100	23	98	35	98	0.6	180	25	105	12	107	13	103	75	99	9	108
	5	80	101	23	98	31	94	1.2	359	24	112	12	106	12	121	72	102	7	95
	6	81	93	25	97	35	97	1.0	202	20	81	12	101	8	64	72	93	9	93
	7	83	99	25	100	36	99	0.4	94	21	99	12	103	9	95	73	98	9	109
	8	82	102	24	100	35	101	0.7	135	21	103	12	104	9	101	73	101	9	111
	9	82	99	25	100	35	94	0.6	118	21	104	12	105	9	104	74	98	8	105
	10	83	100	26	105	35	93	0.8	118	21	109	13	106	9	114	74	100	9	101
	11	84	99	26	103	35	93	0.6	138	23	106	13	100	11	114	75	98	9	109
	12	78	102	24	105	31	92	0.4	83	23	116	13	108	10	129	70	101	8	114
2019年	1	67	101	21	103	25	88	0.5	118	21	120	11	104	10	145	60	102	7	95
	2	72	104	22	110	28	95	0.9	140	21	111	12	112	9	110	64	104	8	105
	3	77	110	22	109	28	96	0.4	162	25	133	12	107	14	169	69	110	8	110
	4	79	94	25	109	30	83	1.0	176	23	94	13	103	11	85	71	95	8	88
	5	73	91	25	106	26	84	0.4	31	21	89	12	100	9	77	64	89	8	112
	6	82	100	28	113	31	88	0.6	66	22	108	13	110	9	105	73	102	8	91
	7	79	96	26	103	30	85	0.6	143	22	105	13	109	9	100	71	97	8	86
	8	76	93	24	98	29	83	0.2	36	23	106	12	102	10	110	68	93	8	91
	9	78	95	24	97	29	83	0.5	75	24	114	12	100	12	133	70	95	8	97
	10	77	93	24	94	29	84	0.3	41	23	107	13	101	10	116	69	93	8	90
	11	74	87	24	93	29	82	0.3	48	21	90	13	101	8	76	65	87	8	93
	12	72	92	22	91	28	90	0.7	167	22	95	12	96	9	94	65	92	8	90
2020年	1	60	90	18	86	24	97	0.3	63	18	85	11	97	7	72	54	89	7	98
	2	63	88	20	89	23	81	0.5	63	20	96	11	92	9	102	56	88	7	86
	3	71	92	22	100	27	93	0.6	145	21	84	12	99	10	71	63	91	8	105
	4	70	88	21	83	25	86	0.6	60	23	96	12	92	11	102	62	88	7	86
	5	64	88	20	79	24	92	0.3	92	20	93	10	87	9	101	58	90	6	70
	6	71	87	24	83	27	87	0.6	94	20	92	12	89	8	97	64	88	7	82
	7	70	89	23	86	28	91	0.5	77	19	88	11	83	8	96	63	89	7	88
	8	69	91	22	91	28	95	0.6	248	19	84	9	77	9	92	63	92	6	81
	9	70	90	22	93	25	85	0.6	137	22	92	10	84	12	100	64	92	6	73
	10	71	92	23	94	26	89	0.9	293	21	90	11	84	10	98	64	93	6	78
	11	71	96	24	102	26	92	0.8	292	20	94	11	90	8	101	64	98	7	83
	12	66	91	23	102	24	88	0.8	115	18	82	11	91	6	69	59	91	7	87
2021年	1	58	97	19	106	20	82	0.4	121	19	107	10	94	9	128	53	99	5	80
	2	61	96	20	104	23	100	0.4	77	17	85	10	96	7	73	55	97	6	88
	3	72	101	22	100	27	103	0.4	59	22	103	11	97	10	110	65	104	7	81
	4	75	107	23	109	29	114	0.3	55	22	100	12	99	11	100	68	109	7	93
	5	70	110	23	116	25	104	0.8	230	21	108	12	114	10	103	63	109	7	119
	6	76	107	26	111	30	112	0.5	81	20	98	13	109	7	84	70	109	7	96
	7	77	110	26	115	29	106	0.4	83	21	111	12	113	9	108	70	111	7	96
	8	74	108	25	115	29	104	0.5	92	20	105	12	125	8	86	67	107	7	113
	9	73	104	26	115	28	113	0.4	64	19	85	12	115	7	61	67	104	6	104
	10	78	110	27	117	30	115	0.5	55	21	101	12	115	9	85	71	110	7	112
	11	73	104	25	105	27	101	0.5	57	21	106	13	110	8	102	67	105	6	91
	12	68	104	23	100	25	103	0.5	66	20	113	13	112	7	114	63	106	6	88
2022年	1	60	102	18	94	23	117	0.3	88	18	95	11	108	7	80	55	103	5	92
	2	65	106	19	94	24	105	0.3	76	21	123	12	111	10	142	59	108	5	87
2018年計		942	98	283	100	396	95	7.5	129	255	100	142	103	112	96	842	97	100	102
2019年計		905	96	289	102	342	86	6.4	86	268	105	148	104	119	106	810	96	95	95
2020年計		815	90	261	90	307	90	7.2	113	240	90	131	89	109	91	735	91	80	84
2021年計		856	105	286	109	321	105	5.6	77	244	102	141	108	102	94	779	106	77	96
2018年	第1四半期	205	92	61	97	87	91	1.3	79	55	89	32	99	23	78	183	92	22	94
	第2四半期	245	98	72	97	101	96	2.7	242	69	99	36	105	33	93	219	98	26	98
	第3四半期	246	100	75	100	107	98	1.7	116	63	102	36	104	27	100	220	99	26	109
	第4四半期	246	101	76	104	101	93	1.7	112	67	110	38	105	29	119	220	100	26	108
2019年	第1四半期	216	105	65	107	81	93	1.8	138	67	121	35	108	32	140	193	105	23	104
	第2四半期	234	95	79	110	86	85	2.0	74	66	96	38	104	29	87	209	95	25	96
	第3四半期	233	95	74	99	89	83	1.3	77	68	108	37	104	31	114	209	95	24	91
	第4四半期	223	91	70	93	86	85	1.3	73	65	97	38	99	27	94	199	91	24	91
2020年	第1四半期	194	90	60	92	73	90	1.5	84	59	88	33	96	26	80	172	89	22	96
	第2四半期	205	88	64	82	76	88	1.6	76	63	94	34	89	29	100	185	89	20	79
	第3四半期	210	90	67	90	80	90	1.7	128	60	88	30	81	30	96	190	91	19	80
	第4四半期	207	93	70	99	77	90	2.5	198	58	89	33	88	24	89	187	94	20	83
2021年	第1四半期	191	98	62	103	70	95	1.2	78	58	98	32	96	26	101	173	100	18	83
	第2四半期	221	108	72	112	84	110	1.6	104	64	102	36	107	28	96	201	109	20	102
	第3四半期	225	107	77	115	86	107	1.3	79	60	100	36	117	25	82	205	108	20	104
	第4四半期	220	106	75	107	82	106	1.5	59	62	106	38	113	24	98	201	107	19	97

資料：国土交通省「住宅着工統計」



## 基礎的指標-2 新設住宅着工床面積

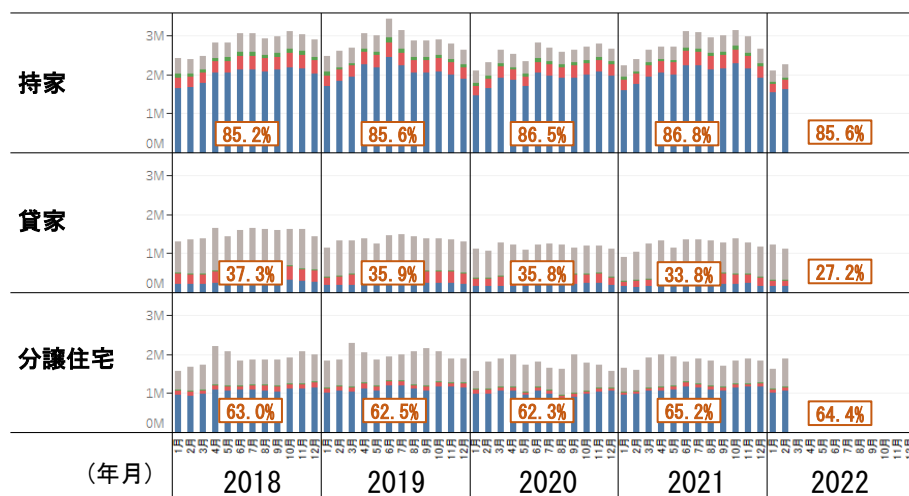
- 2021年の新設住宅着工床面積は、70.7百万m<sup>2</sup>（前年比106.3%）、このうち木造住宅は48.6百万m<sup>2</sup>（同107.9%）。
- 2022年1～2月の新設住宅着工床面積は、10.3百万m<sup>2</sup>（前年同期比103.8%）、このうち木造住宅は6.6百万m<sup>2</sup>（同98.6%）。



（単位：千m<sup>2</sup>）

構造別の着工床面積	2022年 1～2月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	10,250	9,870	103.8%	10,015	102.3%
■ 非木造	3,602	3,132	115.0%	3,324	108.4%
木造	6,648	6,739	98.6%	6,691	99.4%
■ 木造プレハブ	130	139	93.6%	165	79.0%
■ 2×4	957	1,014	94.4%	1,110	86.2%
■ 在来軸組	5,561	5,586	99.6%	5,416	102.7%
□ 木造率	64.9%	68.3%		66.8%	

（参考）利用関係別の着工床面積（ただし、「給与住宅」を除く。）



資料：国土交通省「住宅着工統計」

○新設住宅着工床面積（構造別）

（単位：千㎡、％）

年・月	合計		木造								非木造		木造率	木造1戸 当りの 床面積 (㎡/戸)	
			計		在来軸組		2×4		プレハブ						
			前年 比	前年 比	前年 比	前年 比	前年 比	前年 比	前年 比	前年 比					
2018年	1	5,325	85	3,594	99	2,833	99	660	104	101	89	1,731	66	67.5	92.2
	2	5,444	94	3,542	96	2,809	95	624	98	110	93	1,903	92	65.1	92.4
	3	5,600	93	3,718	96	2,968	95	652	97	99	95	1,882	88	66.4	93.6
	4	6,696	98	4,240	101	3,373	101	766	102	101	92	2,456	94	63.3	93.8
	5	6,415	100	4,122	99	3,347	101	677	91	98	86	2,292	103	64.3	95.0
	6	6,510	91	4,362	97	3,463	98	774	94	125	93	2,147	81	67.0	94.3
	7	6,590	98	4,379	99	3,497	100	759	95	123	102	2,211	97	66.4	93.3
	8	6,450	101	4,338	101	3,443	101	781	103	114	100	2,113	100	67.2	92.3
	9	6,478	98	4,397	100	3,481	100	799	99	117	96	2,080	96	67.9	90.8
	10	6,690	102	4,607	103	3,624	103	852	103	131	109	2,083	100	68.9	91.8
	11	6,768	101	4,491	100	3,584	100	790	98	117	95	2,277	103	66.4	93.4
	12	6,343	104	4,353	104	3,438	104	795	105	120	102	1,990	103	68.6	93.0
2019年	1	5,484	103	3,607	100	2,892	102	611	93	105	104	1,877	108	65.8	94.6
	2	5,828	107	3,818	108	3,077	110	645	103	95	87	2,011	106	65.5	95.4
	3	6,320	113	3,954	106	3,169	107	690	106	95	96	2,366	126	62.6	95.4
	4	6,532	98	4,413	104	3,592	106	708	92	112	112	2,119	86	67.6	97.7
	5	6,126	95	4,210	102	3,441	103	666	98	103	105	1,916	84	68.7	99.7
	6	6,849	105	4,760	109	3,840	111	787	102	133	106	2,089	97	69.5	99.0
	7	6,656	101	4,508	103	3,652	104	738	97	118	95	2,148	97	67.7	97.3
	8	6,397	99	4,175	96	3,378	98	696	89	102	89	2,221	105	65.3	95.6
	9	6,412	99	4,204	96	3,359	96	740	93	104	89	2,208	106	65.6	92.6
	10	6,386	95	4,357	95	3,505	97	743	87	109	83	2,030	97	68.2	93.2
	11	6,036	89	4,253	95	3,411	95	735	93	108	92	1,783	78	70.5	93.8
	12	5,850	92	4,040	93	3,258	95	683	86	99	83	1,810	91	69.1	94.3
2020年	1	4,821	88	3,249	90	2,620	91	547	90	81	78	1,572	84	67.4	96.0
	2	5,194	89	3,442	90	2,796	91	563	87	83	87	1,752	87	66.3	96.1
	3	5,848	93	3,886	98	3,142	99	653	95	92	96	1,962	83	66.4	96.8
	4	5,758	88	3,779	86	3,111	87	584	82	83	74	1,980	93	65.6	97.3
	5	5,195	85	3,441	82	2,833	82	516	77	92	89	1,754	92	66.2	96.6
	6	5,861	86	3,997	84	3,325	87	569	72	104	78	1,864	89	68.2	97.0
	7	5,616	84	3,857	86	3,153	86	606	82	97	83	1,760	82	68.7	95.3
	8	5,466	85	3,643	87	2,982	88	567	81	94	93	1,823	82	66.6	94.8
	9	5,825	91	3,784	90	3,040	90	647	87	97	93	2,040	92	65.0	94.8
	10	5,735	90	3,919	90	3,200	91	627	84	92	85	1,816	89	68.3	94.6
	11	5,750	95	4,097	96	3,351	98	645	88	101	94	1,653	93	71.3	94.4
	12	5,385	92	3,899	96	3,218	99	588	86	93	93	1,486	82	72.4	97.0
2021年	1	4,825	100	3,266	101	2,705	103	492	90	69	85	1,559	99	67.7	97.8
	2	5,045	97	3,473	101	2,881	103	522	93	70	84	1,572	90	68.8	98.0
	3	5,838	100	3,818	98	3,176	101	558	85	85	93	2,020	103	65.4	97.9
	4	6,064	105	3,990	106	3,297	106	610	104	83	100	2,074	105	65.8	97.2
	5	5,852	113	3,983	116	3,282	116	623	121	78	85	1,869	107	68.1	96.8
	6	6,295	107	4,445	111	3,635	109	703	124	107	103	1,849	99	70.6	97.2
	7	6,352	113	4,344	113	3,603	114	656	108	85	87	2,008	114	68.4	97.3
	8	6,147	112	4,251	117	3,476	117	675	119	100	106	1,897	104	69.1	95.3
	9	6,012	103	4,267	113	3,463	114	700	108	104	107	1,746	86	71.0	94.6
	10	6,390	111	4,464	114	3,641	114	716	114	108	116	1,925	106	69.9	96.2
	11	6,143	107	4,310	105	3,556	106	656	102	98	97	1,833	111	70.2	96.0
	12	5,702	106	3,953	101	3,258	101	611	104	84	91	1,749	118	69.3	96.7
2022年	1	4,968	103	3,232	99	2,710	100	464	94	58	84	1,736	111	65.1	95.9
	2	5,282	105	3,416	98	2,851	99	493	94	72	103	1,867	119	64.7	96.5
2018年計		75,309	97	50,144	100	39,860	100	8,929	99	1,356	96	25,165	93	66.6	93.0
2019年計		74,876	99	50,298	100	40,571	102	8,443	95	1,284	95	24,578	98	67.2	95.7
2020年計		66,454	89	44,991	89	36,770	91	7,111	84	1,110	86	21,463	87	67.7	95.9
2021年計		70,666	106	48,564	108	39,972	109	7,523	106	1,070	96	22,102	103	68.7	96.7
2018年	第1四半期	16,369	91	10,854	97	8,609	96	1,935	100	309	92	5,515	80	66.3	92.7
	第2四半期	19,621	96	12,725	99	10,184	100	2,217	96	324	90	6,896	92	64.9	94.3
	第3四半期	19,518	99	13,114	100	10,421	100	2,339	99	354	100	6,404	97	67.2	92.1
	第4四半期	19,802	102	13,452	102	10,646	103	2,438	102	368	102	6,350	102	67.9	92.7
2019年	第1四半期	17,632	108	11,378	105	9,137	106	1,947	101	295	95	6,254	113	64.5	95.2
	第2四半期	19,507	99	13,383	105	10,873	107	2,161	97	349	108	6,124	89	68.6	98.8
	第3四半期	19,465	100	12,887	98	10,388	100	2,175	93	324	91	6,578	103	66.2	95.2
	第4四半期	18,272	92	12,650	94	10,173	96	2,161	89	316	86	5,622	89	69.2	93.8
2020年	第1四半期	15,863	90	10,577	93	8,558	94	1,763	91	256	87	5,286	85	66.7	96.3
	第2四半期	16,815	86	11,216	84	9,269	85	1,669	77	279	80	5,598	91	66.7	96.9
	第3四半期	16,907	87	11,283	88	9,175	88	1,820	84	289	89	5,623	85	66.7	95.0
	第4四半期	16,870	92	11,915	94	9,769	96	1,859	86	286	91	4,955	88	70.6	95.3
2021年	第1四半期	15,708	99	10,557	100	8,761	102	1,572	89	224	87	5,152	97	67.2	97.9
	第2四半期	18,211	108	12,419	111	10,215	110	1,936	116	268	96	5,792	103	68.2	97.1
	第3四半期	18,512	109	12,862	114	10,541	115	2,031	112	289	100	5,651	100	69.5	95.7
	第4四半期	18,235	108	12,727	107	10,454	107	1,983	107	289	101	5,508	111	69.8	96.3

資料：国土交通省「住宅着工統計」

○新設住宅着工床面積（利用關係別・資金別）

（単位：千㎡、％）

年・月		合計		利用關係別										資金別			
		前年 比	持家	前年 比	貸家	前年 比	給与		分譲	前年 比	一戸建		民間	前年 比	公的	前年 比	
							前年 比	前年 比			前年 比	前年 比					
2018年	1	5,325	85	2,412	100	1,304	87	35	103	1,573	68	1,111	98	4,684	84	640	95
	2	5,444	94	2,387	93	1,343	92	53	163	1,662	97	1,096	98	4,757	95	687	91
	3	5,600	93	2,475	94	1,386	87	21	60	1,717	96	1,129	98	4,970	94	630	86
	4	6,696	98	2,821	97	1,635	95	35	134	2,205	100	1,273	106	5,905	98	791	100
	5	6,415	100	2,824	97	1,435	94	81	360	2,075	106	1,230	105	5,724	101	691	95
	6	6,510	91	3,042	96	1,603	95	45	138	1,821	80	1,230	100	5,722	91	788	90
	7	6,590	98	3,063	100	1,642	97	24	68	1,860	98	1,239	102	5,783	97	807	106
	8	6,450	101	2,934	100	1,617	101	38	116	1,862	101	1,239	104	5,729	100	721	103
	9	6,478	98	2,980	99	1,597	90	34	80	1,867	106	1,228	105	5,754	98	723	100
	10	6,690	102	3,098	104	1,630	93	51	128	1,911	109	1,295	105	5,895	102	795	103
	11	6,768	101	3,041	102	1,629	95	37	133	2,061	104	1,299	100	6,000	100	768	106
	12	6,343	104	2,889	104	1,424	93	25	79	2,005	114	1,346	108	5,601	103	742	110
2019年	1	5,484	103	2,477	103	1,144	88	32	92	1,831	116	1,154	104	4,871	104	613	96
	2	5,828	107	2,603	109	1,317	98	53	100	1,855	112	1,229	112	5,139	108	689	100
	3	6,320	113	2,675	108	1,326	96	29	135	2,290	133	1,218	108	5,629	113	692	110
	4	6,532	98	3,052	108	1,392	85	48	140	2,040	93	1,316	103	5,799	98	733	93
	5	6,126	95	2,991	106	1,255	87	32	40	1,848	89	1,238	101	5,392	94	734	106
	6	6,849	105	3,415	112	1,458	91	43	95	1,934	106	1,359	111	6,084	106	765	97
	7	6,656	101	3,147	103	1,482	90	39	162	1,988	107	1,356	110	5,884	102	772	96
	8	6,397	99	2,868	98	1,447	89	20	53	2,062	111	1,271	103	5,691	99	706	98
	9	6,412	99	2,857	96	1,377	86	32	95	2,146	115	1,237	101	5,690	99	722	100
	10	6,386	95	2,894	93	1,385	85	23	46	2,084	109	1,331	103	5,657	96	729	92
	11	6,036	89	2,791	92	1,349	83	23	61	1,873	91	1,323	102	5,331	89	705	92
	12	5,850	92	2,619	91	1,295	91	46	183	1,889	94	1,296	96	5,179	92	671	90
2020年	1	4,821	88	2,110	85	1,127	99	17	52	1,567	86	1,135	98	4,254	87	566	92
	2	5,194	89	2,299	88	1,057	80	31	58	1,807	97	1,133	92	4,601	90	593	86
	3	5,848	93	2,640	99	1,276	96	54	187	1,878	82	1,207	99	5,135	91	714	103
	4	5,758	88	2,512	82	1,214	87	34	70	1,998	98	1,210	92	5,108	88	650	89
	5	5,195	85	2,343	78	1,092	87	29	91	1,732	94	1,082	87	4,644	86	551	75
	6	5,861	86	2,816	82	1,212	83	36	84	1,797	93	1,208	89	5,239	86	622	81
	7	5,616	84	2,694	86	1,253	85	28	71	1,642	83	1,121	83	5,005	85	611	79
	8	5,466	85	2,589	90	1,220	84	33	166	1,624	79	984	77	4,911	86	555	79
	9	5,825	91	2,631	92	1,152	84	50	154	1,992	93	1,042	84	5,288	93	537	74
	10	5,735	90	2,707	94	1,189	86	48	207	1,791	86	1,104	83	5,160	91	575	79
	11	5,750	95	2,801	100	1,198	89	36	160	1,715	92	1,180	89	5,159	97	591	84
	12	5,385	92	2,661	102	1,111	86	39	85	1,574	83	1,180	91	4,811	93	574	86
2021年	1	4,825	100	2,234	106	911	81	23	136	1,656	106	1,064	94	4,332	102	493	87
	2	5,045	97	2,388	104	1,031	97	29	94	1,598	88	1,089	96	4,467	97	579	98
	3	5,838	100	2,634	100	1,261	99	26	49	1,917	102	1,177	97	5,241	102	597	84
	4	6,064	105	2,709	108	1,339	110	24	70	1,992	100	1,202	99	5,477	107	587	90
	5	5,852	113	2,714	116	1,151	105	37	128	1,950	113	1,224	113	5,249	113	603	110
	6	6,295	107	3,104	110	1,351	111	31	88	1,808	101	1,317	109	5,687	109	608	98
	7	6,352	113	3,082	114	1,358	108	25	89	1,888	115	1,275	114	5,748	115	604	99
	8	6,147	112	2,941	114	1,323	108	38	114	1,846	114	1,228	125	5,518	112	629	113
	9	6,012	103	3,000	114	1,285	112	32	65	1,695	85	1,197	115	5,454	103	558	104
	10	6,390	111	3,141	116	1,384	116	35	72	1,829	102	1,278	116	5,763	112	627	109
	11	6,143	107	2,965	106	1,269	106	28	79	1,881	110	1,298	110	5,565	108	578	98
	12	5,702	106	2,647	99	1,175	106	36	92	1,844	117	1,316	112	5,177	108	525	91
2022年	1	4,968	103	2,108	94	1,216	133	23	101	1,620	98	1,135	107	4,513	104	454	92
	2	5,282	105	2,250	94	1,115	108	26	90	1,892	118	1,200	110	4,801	107	481	83
2018年計		75,309	97	33,967	99	18,245	93	477	122	22,619	97	14,714	103	66,523	97	8,786	98
2019年計		74,876	99	34,388	101	16,228	89	420	88	23,840	105	15,329	104	66,346	100	8,530	97
2020年計		66,454	89	30,803	90	14,101	87	434	103	21,116	89	13,585	89	59,315	89	7,139	84
2021年計		70,666	106	33,558	109	14,839	105	364	84	21,906	104	14,664	108	63,679	107	6,988	98
2018年	第1四半期	16,369	91	7,275	96	4,033	89	109	107	4,952	85	3,336	98	14,411	91	1,958	91
	第2四半期	19,621	96	8,687	97	4,673	95	160	198	6,101	95	3,732	104	17,351	96	2,270	95
	第3四半期	19,518	99	8,977	100	4,856	96	95	87	5,589	101	3,705	104	17,266	99	2,252	103
	第4四半期	19,802	102	9,028	103	4,683	94	113	114	5,977	109	3,940	104	17,496	102	2,306	106
2019年	第1四半期	17,632	108	7,756	107	3,787	94	114	104	5,976	121	3,602	108	15,638	109	1,994	102
	第2四半期	19,507	99	9,457	109	4,104	88	123	77	5,822	95	3,913	105	17,275	100	2,232	98
	第3四半期	19,465	100	8,872	99	4,306	89	91	96	6,196	111	3,865	104	17,266	100	2,199	98
	第4四半期	18,272	92	8,304	92	4,030	86	92	81	5,846	98	3,950	100	16,166	92	2,106	91
2020年	第1四半期	15,863	90	7,049	91	3,460	91	102	89	5,252	88	3,476	96	13,990	89	1,873	94
	第2四半期	16,815	86	7,671	81	3,518	86	99	80	5,527	95	3,499	89	14,992	87	1,823	82
	第3四半期	16,907	87	7,914	89	3,625	84	110	121	5,258	85	3,147	81	15,204	88	1,703	77
	第4四半期	16,870	92	8,169	98	3,498	87	123	135	5,080	87	3,463	88	15,130	94	1,740	83
2021年	第1四半期	15,708	99	7,256	103	3,204	93	78	77	5,171	98	3,330	96	14,040	100	1,668	89
	第2四半期	18,211	108	8,526	111	3,841	109	93	94	5,751	104	3,743	107	16,413	109	1,798	99
	第3四半期	18,512	109	9,023	114	3,966	109	95	86	5,429	103	3,700	118	16,720	110	1,792	105
	第4四半期	18,235	108	8,753	107	3,828	109	99	80	5,554	109	3,891	112	16,505	109	1,730	99

資料：国土交通省「住宅着工統計」



<参考>非居住用建築物着工床面積

(単位:千m<sup>2</sup>、%)

年次	月	合計		構造別			
				木造		非木造	
			前年比		前年比		前年比
2019年	1	3,970	101	259	84	3,711	102
	2	3,700	85	243	96	3,457	84
	3	3,334	81	294	105	3,040	79
	4	4,440	96	354	105	4,085	95
	5	4,170	99	327	103	3,844	99
	6	4,641	102	377	102	4,264	102
	7	4,980	100	452	122	4,527	99
	8	3,987	95	479	131	3,508	91
	9	3,609	82	431	96	3,179	80
	10	3,922	85	409	99	3,513	84
	11	3,750	90	386	102	3,364	89
	12	4,184	97	330	92	3,854	98
2020年	1	2,973	75	228	88	2,745	74
	2	3,605	97	230	95	3,374	98
	3	3,718	112	280	95	3,437	113
	4	4,086	92	312	88	3,774	92
	5	4,078	98	259	79	3,818	99
	6	3,798	82	347	92	3,451	81
	7	3,855	77	323	71	3,532	78
	8	3,662	92	371	77	3,291	94
	9	3,891	108	416	97	3,476	109
	10	3,635	93	400	98	3,235	92
	11	3,371	90	346	90	3,025	90
	12	3,565	85	308	93	3,257	85
2021年	1	3,364	113	246	108	3,118	114
	2	3,345	93	241	105	3,104	92
	3	4,272	115	287	103	3,984	116
	4	4,207	103	347	111	3,861	102
	5	4,277	105	307	119	3,970	104
	6	4,275	113	327	94	3,948	114
	7	4,082	106	344	107	3,738	106
	8	3,127	85	299	81	2,828	86
	9	3,700	95	307	74	3,394	98
	10	5,328	147	341	85	4,987	154
	11	3,737	111	293	85	3,444	114
	12	4,747	133	281	91	4,465	137
2022年	1	3,237	96	214	87	3,023	97
	2	3,711	111	223	93	3,488	112
2019年計		48,687	93	4,341	103	44,346	92
2020年計		44,237	91	3,820	88	40,415	91
2021年計		48,461	110	3,620	95	44,841	111
2019年	第1四半期	11,004	89	796	94	10,208	88
	第2四半期	13,251	99	1,058	103	12,193	99
	第3四半期	12,576	93	1,362	115	11,214	90
	第4四半期	11,856	91	1,125	98	10,731	90
2020年	第1四半期	10,296	94	738	93	9,556	94
	第2四半期	11,962	90	918	87	11,043	91
	第3四半期	11,408	91	1,110	81	10,299	92
	第4四半期	10,571	89	1,054	94	9,517	89
2021年	第1四半期	10,981	107	774	105	10,206	107
	第2四半期	12,759	107	981	107	11,779	107
	第3四半期	10,909	96	950	86	9,960	97
	第4四半期	13,812	131	915	87	12,896	136

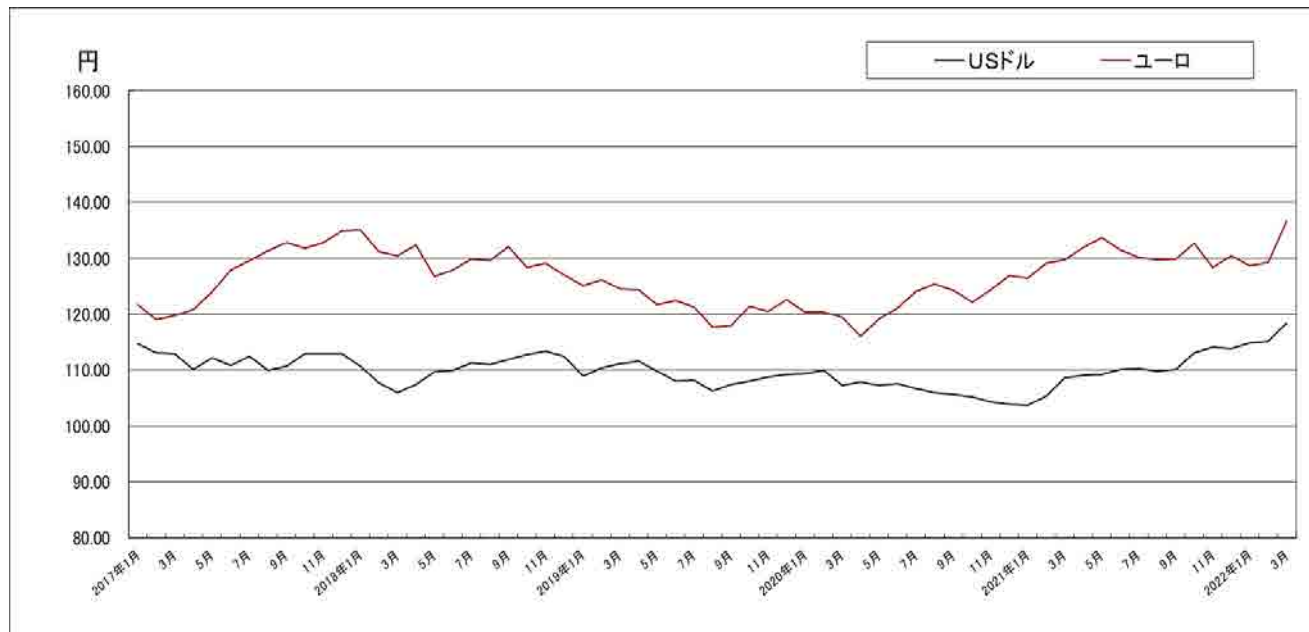
資料：国土交通省「建築着工統計調査報告」

- 2021年は、木材産業の倒産件数が19件（前年比70.3%）、負債金額が4,313百万円（同112.0%）。
- 2022年1～2月は、木材産業の倒産件数が1件（前年同期比50.0%）、負債金額が13百万円（同7.2%）

年・月		企業倒産状況							
		全 企 業				木材・木製品業			
		件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)	件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)
2019年	1	666	105	168,374	161	0	-	0	-
	2	589	95	195,534	217	1	100	10	2
	3	662	84	97,114	73	1	33	532	51
	4	645	99	106,916	112	2	50	797	111
	5	695	91	107,465	103	3	100	795	313
	6	734	106	86,957	40	1	25	59	8
	7	802	114	93,400	83	5	500	347	694
	8	678	98	87,149	72	3	300	278	150
	9	702	113	112,985	61	6	300	959	3,197
	10	780	107	88,578	75	2	100	91	1
	11	727	101	122,452	101	2	200	470	904
	12	704	113	156,864	192	4	200	543	32
2020年	1	773	116	124,734	74	0	-	0	-
	2	651	111	71,283	36	0	-	0	-
	3	740	112	105,949	109	1	100	300	56
	4	743	115	144,990	136	10	500	1,280	161
	5	314	45	81,336	76	2	67	320	40
	6	780	106	128,816	148	4	400	444	753
	7	789	98	100,821	108	1	20	89	26
	8	667	98	72,416	83	2	67	150	54
	9	565	80	70,740	63	1	17	637	66
	10	624	80	78,342	88	2	100	57	63
	11	569	78	102,101	83	3	150	550	117
	12	558	79	138,518	88	1	25	25	5
2021年	1	474	61	81,388	65	2	-	180	-
	2	446	69	67,490	95	0	-	0	-
	3	634	86	141,453	134	3	300	327	109
	4	477	64	84,098	58	4	40	50	4
	5	472	150	168,664	207	1	50	120	38
	6	541	69	68,566	53	5	125	3,296	742
	7	476	60	71,465	71	0	-	0	-
	8	466	70	90,973	126	1	50	10	7
	9	505	89	90,860	128	2	200	230	36
	10	525	84	98,464	126	0	-	0	-
	11	510	90	94,101	92	0	-	0	-
	12	504	90	93,181	67	1	100	100	400
2022年	1	452	95	66,940	82	1	50	13	7
	2	459	103	70,989	105	0	-	0	-
2019年計		8,384	102	1,423,788	96	30	115	4,881	40
2020年計		7,773	93	1,220,046	86	27	90	3,852	79
2021年計		6,030	78	1,150,703	94	19	70	4,313	112
2019年	第1四半期	1,917	94	461,022	141	2	33	542	33
	第2四半期	2,074	98	301,338	72	6	55	1,651	99
	第3四半期	2,182	108	293,534	70	14	350	1,584	598
	第4四半期	2,211	107	367,894	115	8	160	1,104	13
2020年	第1四半期	2,164	113	301,966	65	1	50	300	55
	第2四半期	1,837	89	355,142	118	16	267	2,044	124
	第3四半期	2,021	93	243,977	83	4	29	876	55
	第4四半期	1,751	79	318,961	87	6	75	632	57
2021年	第1四半期	1,554	72	290,331	96	5	500	507	169
	第2四半期	1,490	81	321,328	90	10	63	3,466	170
	第3四半期	1,447	72	253,298	104	3	75	240	27
	第4四半期	1,539	88	285,746	90	1	17	100	16

資料：東京商工リサーチ「TSR情報（全国企業倒産状況）」

- 2022年3月の為替相場は、1ドル118.51円、1ユーロ136.70円。



年月	USDドル	ユーロ
2017年1月	114.73	121.75
2月	113.06	118.98
3月	113.01	119.79
4月	110.06	120.85
5月	112.21	123.95
6月	110.91	127.97
7月	112.44	129.65
8月	109.91	131.34
9月	110.68	132.85
10月	112.96	131.76
11月	112.92	132.81
12月	112.97	134.94
2018年1月	110.77	135.08
2月	107.82	131.28
3月	106.00	130.52
4月	107.43	132.39
5月	109.69	126.73
6月	110.03	127.91
7月	111.37	129.93
8月	111.06	129.56
9月	111.89	132.14
10月	112.78	128.43
11月	113.37	129.19
12月	112.45	127.00
2019年1月	108.95	125.15
2月	110.36	126.09
3月	111.21	124.56
4月	111.66	124.38
5月	109.83	121.74
6月	108.06	122.49
7月	108.22	121.19
8月	106.27	117.63
9月	107.41	118.02
10月	108.12	121.46
11月	108.86	120.59
12月	109.18	122.54

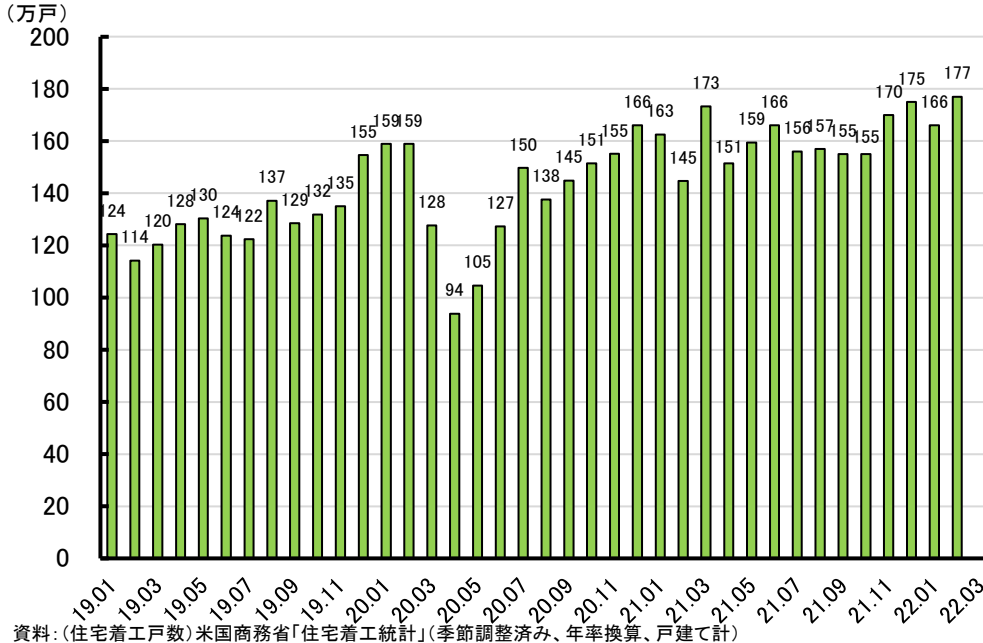
年月	USDドル	ユーロ
2020年1月	109.34	120.30
2月	109.96	120.32
3月	107.29	119.55
4月	107.93	116.00
5月	107.31	119.13
6月	107.56	121.08
7月	106.78	124.13
8月	106.04	125.47
9月	105.74	124.17
10月	105.24	122.14
11月	104.40	124.38
12月	103.82	126.95
2021年1月	103.70	126.48
2月	105.36	129.15
3月	108.65	129.80
4月	109.13	131.99
5月	109.19	133.74
6月	110.11	131.58
7月	110.29	130.11
8月	109.84	129.69
9月	110.17	129.86
10月	113.10	132.77
11月	114.13	128.41
12月	113.87	130.51
2022年1月	114.83	128.66
2月	115.20	129.34
3月	118.51	136.70

資料：USドルは日銀 主要時系列統計データ表 為替相場（東京市場 スポットレート 中心相場 月中平均）、ユーロは日銀「金融経済統計月報」対顧客為替相場。



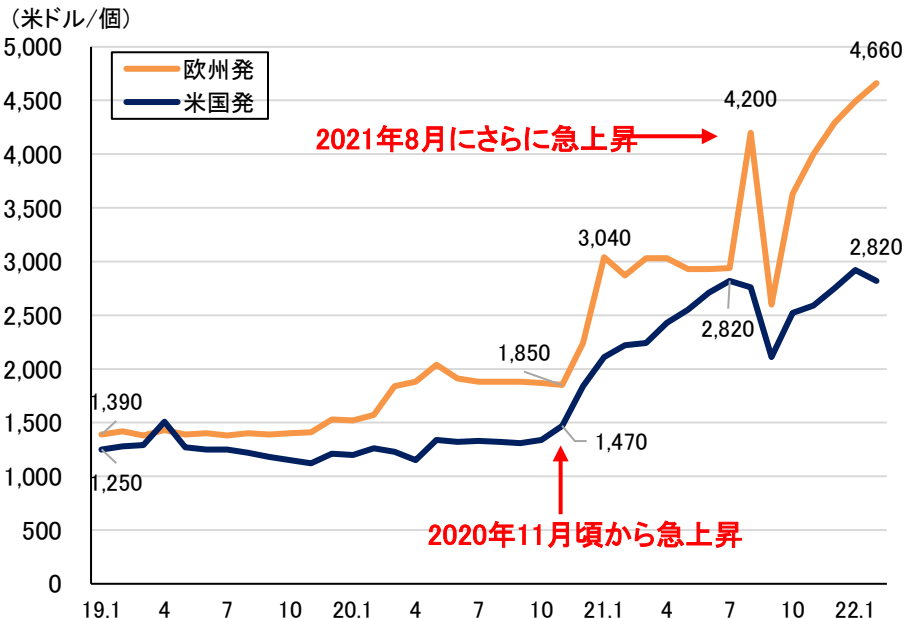
- 米国の住宅着工戸数（戸建て計）は、コロナ禍による在宅需要の増加と住宅ローンの低金利により、2020年5月から急増。2021年3月に173万戸（年率換算）を記録。2022年2月は、前月比+7%増の177万戸。
- 2021年秋以降、中国から北米へのコンテナの急増による他国でのコンテナ不足と、コロナ禍による中国での港湾作業員不足が深刻化。
- 世界的なコンテナ不足により、海上輸送運賃が急激に上昇。日本向けコンテナ運賃は、2021年9月に一時大きく下落したものの、同年10月以降は欧州発、米国発ともに再度上昇傾向。

○米国における住宅着工戸数



資料：(住宅着工戸数)米国商務省「住宅着工統計」(季節調整済み、年率換算、戸建て計)

○日本向けコンテナ運賃の推移



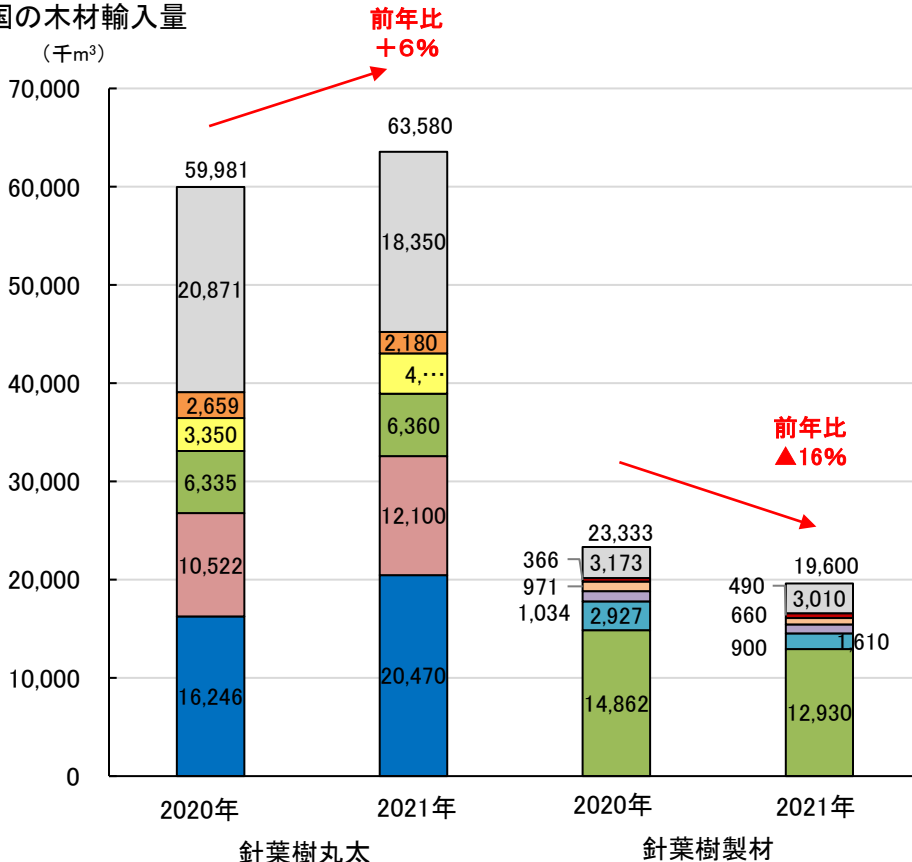
資料：日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

(注) 40ftコンテナ。「米国発」はLos Angeles発横浜着、「欧州発」はRotterdam発横浜着。

(出典) Drewry「Container Freight Rate Insight」

- 中国では、木材需要の増加が継続。2021年の針葉樹丸太輸入量は、前年同期比+6%増の6,358万m<sup>3</sup>。一方、針葉樹製材輸入量は、前年同期比▲16%減の1,960万m<sup>3</sup>。木材輸入の形態が製材から丸太へシフト。
- EUでは、コロナ禍により、一昨年春に建設活動が急落したが、同年夏以降は回復して、以後、堅調に推移。

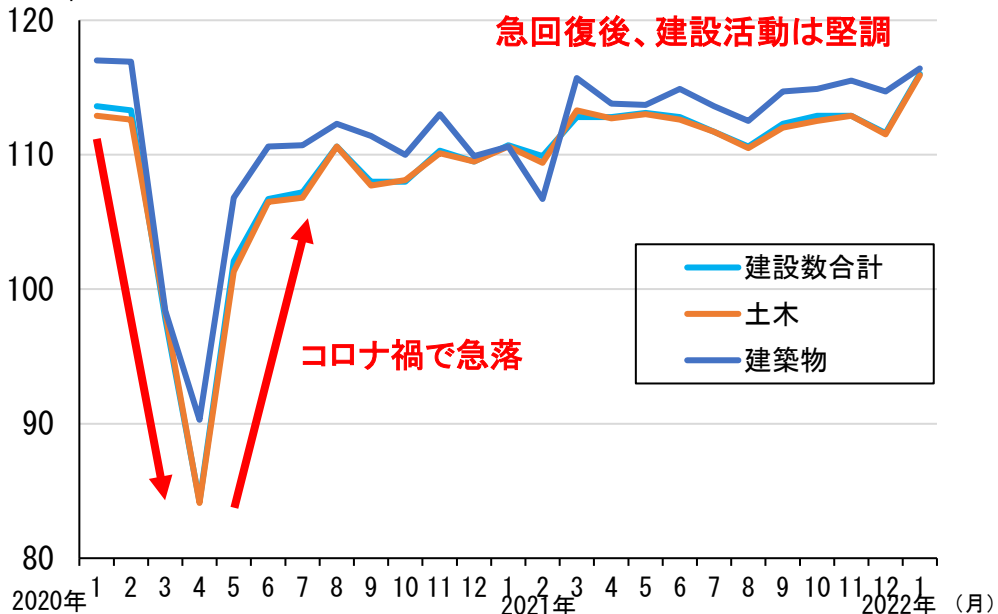
○中国の木材輸入量  
(千m<sup>3</sup>)



資料: ITTO (Tropical Timber Market Report, Vol.26 (3) (5))

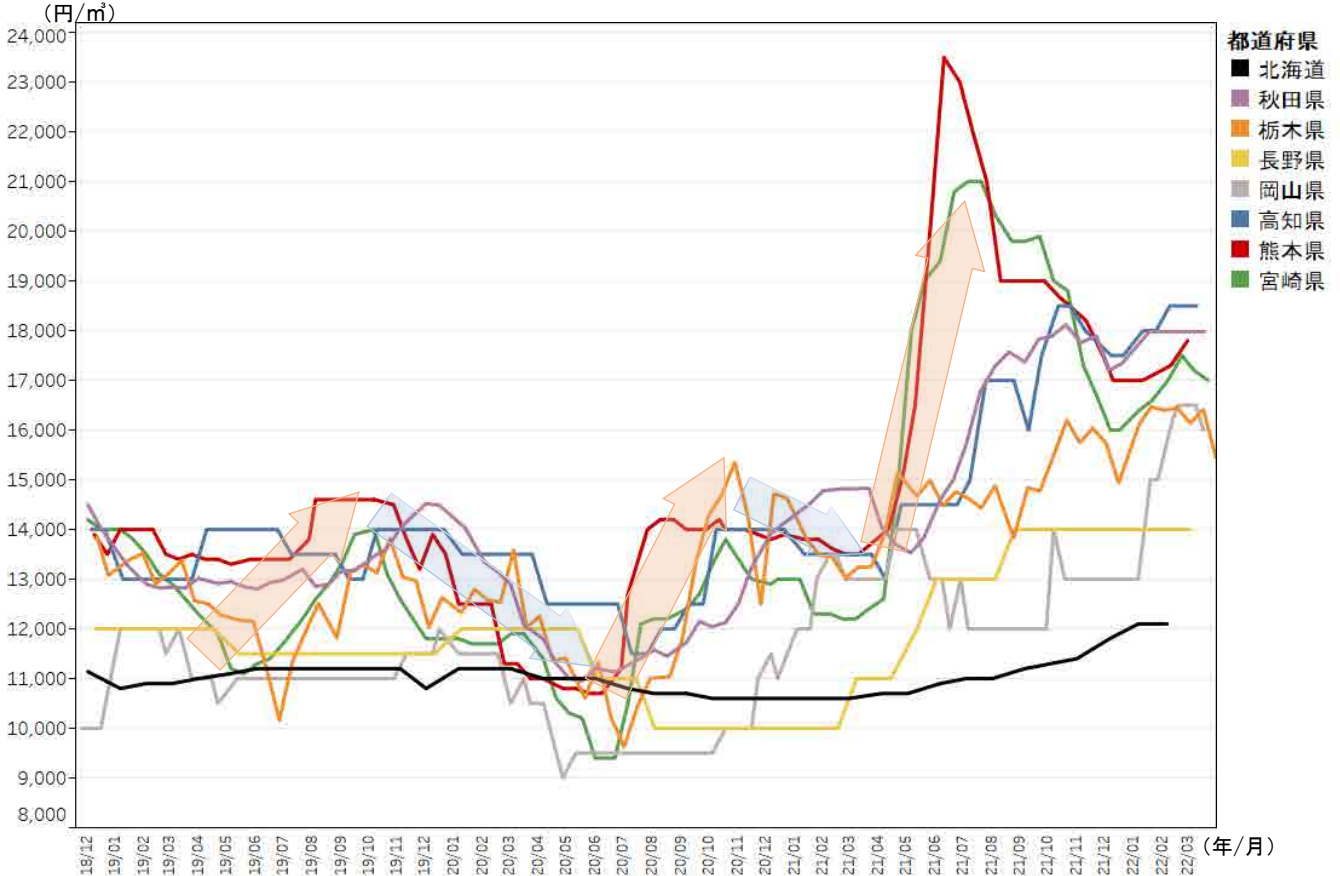
○EUにおける建設活動水準 (2015年比)

2015年=100



資料: Eurostat (Production in construction - monthly data)

- 例年であれば春から梅雨時期にかけては原木価格が下落する時期にもかかわらず、2021年に入ってから4月以降、価格が上昇。その後も高い水準で推移。
- 直近のスギ原木価格は、前年同期比116%から137%となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。

注2：径24cm程度、長さ3.65～4.0m（2018年12月～）。

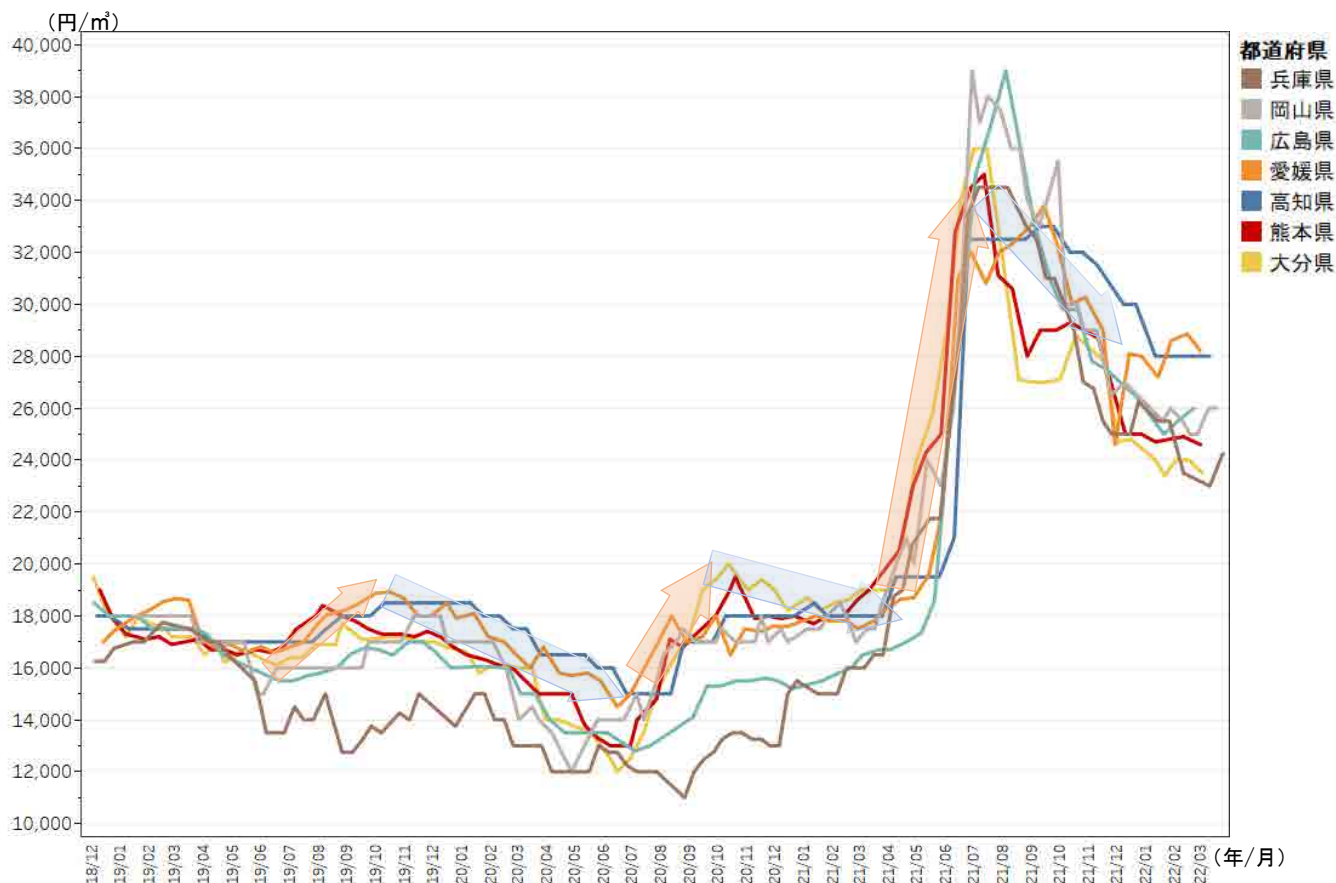
注3：都道府県が選定した特定の本市場・共販所の価格。

都道府県	2022年直近*	前年同期	前年同期比
北海道	12,100	10,600	114%
秋田県	17,980	14,830	121%
栃木県	15,420	13,250	116%
長野県	14,000	11,000	127%
岡山県	16,000	13,000	123%
高知県	18,500	13,500	137%
熊本県	17,800	13,500	132%
宮崎県	17,000	12,400	137%

※秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県及び宮崎県については3月、北海道及び熊本県については2月の値を使用。

## 木材価格情報-1 ヒノキ原木の主要市場価格

- ヒノキにおいてもスギと同様の傾向にあり、例年であれば春から梅雨時期にかけては原木価格が下落する時期にもかかわらず、2021年に入ってから4月以降、価格が大きく上昇。その後も、高い水準で推移。
- 直近のヒノキ原木価格は、前年同期比124%から163%となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

都道府県	2022年直近※	前年同期	前年同期比
兵庫県	24,250	16,500	147%
岡山県	26,000	17,500	149%
広島県	26,000	16,000	163%
愛媛県	28,200	17,500	161%
高知県	28,000	18,000	156%
熊本県	24,600	18,600	132%
大分県	23,500	19,000	124%

※兵庫県、岡山県、高知県及び大分県については3月、広島県、愛媛県及び熊本県については2月の値を使用。



- 輸入材の丸太及び製品価格は、北米における住宅着工戸数の増加、中国の木材需要拡大、世界的なコンテナ不足による運送コストの増大等により高騰した。
- 国産材の代替需要が発生し、国産材の丸太及び製品価格も上昇した。
- 直近では、一部の品目で値下がり傾向となる。

年次	月	丸太										製品										合板	
		スギ		ヒノキ		カラマツ		スギ		スギ		スギ		ヒノキ		ヒノキ		米ツガ		針葉樹合板			
		中丸太(製材用)		中丸太(製材用)		中丸太(製材用)		丸太(合板用)		正角		正角		正角		正角		正角		1.2×91.0cm			
		14-22cm 3.65-4m (円/m <sup>3</sup> )	対前 年比 (%)	14-22cm 3.65-4m (円/m <sup>3</sup> )	対前 年比 (%)	14-28cm 3.65-4m (円/m <sup>3</sup> )	対前 年比 (%)	18cm上	対前 年比 (%)	10.5cm角 3.0m (円/m <sup>2</sup> )	対前 年比 (%)	10.5cm角 3.0m (円/m <sup>2</sup> )	対前 年比 (%)	10.5cm角 3.0m (円/m <sup>2</sup> )	対前 年比 (%)	10.5cm角 3.0m (円/m <sup>2</sup> )	対前 年比 (%)	10.5cm角 4.0m (円/m <sup>2</sup> )	対前 年比 (%)	1.2m (円/枚)	対前 年比 (%)		
2019年	1	14,100	100	19,000	109	12,100	105	11,300	104	61,600	101	67,000	101	76,500	100	85,700	100			1,290	102		
	2	13,900	101	18,800	106	12,100	105	11,300	104	61,600	101	67,000	101	76,500	100	85,700	100			1,290	102		
	3	13,700	101	18,600	101	12,400	108	11,300	103	61,600	101	66,400	100	76,500	100	85,700	100			1,290	100		
	4	13,400	102	18,200	99	12,100	104	11,300	103	61,600	101	66,400	100	76,500	100	85,700	100			1,290	100		
	5	13,200	102	17,800	97	12,200	103	11,300	103	61,600	101	66,300	100	76,500	100	85,500	100			1,280	99		
	6	12,900	100	17,400	97	12,300	104	11,300	104	61,600	101	66,300	100	76,500	100	85,500	100			1,290	100		
	7	12,900	98	17,500	97	12,300	104	11,200	102	61,600	101	66,300	100	76,500	100	85,400	100			1,290	100		
	8	13,200	99	17,400	96	12,600	107	11,200	102	61,600	101	66,300	100	76,500	100	85,400	100			1,290	100		
	9	13,400	98	17,500	95	12,600	107	11,200	102	61,600	101	66,300	99	76,500	100	85,400	100			1,290	100		
	10	13,700	98	18,100	95	12,800	108	11,400	103	62,700	103	67,500	101	77,900	102	87,000	102			1,310	102		
	11	13,600	96	18,700	96	12,800	106	11,400	103	62,700	102	67,500	101	78,100	102	87,000	102			1,310	102		
	12	13,500	96	18,700	96	12,800	106	11,400	101	62,700	102	67,500	101	78,100	102	87,000	102			1,310	102		
2020年	1	13,000	92	18,700	98	12,700	105	11,400	101	62,700	102	67,700	101	79,000	103	87,000	102	79,900		1,310	102		
	2	13,100	94	18,500	98	12,800	106	11,400	101	62,700	102	67,700	101	79,000	103	87,000	102	79,900		1,310	102		
	3	12,800	93	17,800	96	12,700	102	11,300	100	62,700	102	67,500	102	79,000	103	86,800	101	79,800		1,300	101		
	4	12,300	92	16,800	92	12,700	105	11,200	99	62,700	102	67,400	102	77,400	101	86,600	101	79,800		1,280	99		
	5	12,000	91	16,200	91	12,600	103	11,200	99	62,500	101	67,300	102	77,400	101	86,100	101	79,700		1,280	100		
	6	11,600	90	15,900	91	12,500	102	11,100	98	62,500	101	67,300	102	78,600	103	85,900	101	79,600		1,260	98		
	7	11,900	92	15,400	88	12,400	101	11,000	98	62,200	101	66,700	101	77,200	101	84,400	99	79,500		1,220	95		
	8	12,800	97	16,000	92	12,400	98	10,800	96	62,200	101	66,700	101	76,700	100	84,400	99	79,500		1,220	95		
	9	12,800	96	17,000	97	12,500	99	10,700	96	62,200	101	65,100	98	76,700	100	84,000	98	79,300		1,200	93		
	10	13,100	96	17,500	97	12,400	97	10,800	95	62,200	99	65,500	97	76,700	98	84,300	97	79,300		1,200	92		
	11	13,400	99	18,200	97	12,400	97	10,900	96	62,200	99	65,600	97	76,700	98	84,400	97	79,300		1,210	92		
	12	13,400	99	18,300	98	12,400	97	10,900	96	62,200	99	65,600	97	77,200	99	84,500	97	79,300		1,220	93		
2021年	1	13,500	104	18,100	97	12,400	98	10,900	96	62,200	99	65,800	97	77,400	98	85,100	98	79,600	100	1,230	94		
	2	13,300	102	18,700	101	12,500	98	11,000	96	62,200	99	65,900	97	77,400	98	85,100	98	79,800	100	1,230	94		
	3	13,400	105	18,900	106	12,400	98	11,100	98	62,500	100	66,700	99	79,200	100	86,300	99	81,300	102	1,230	95		
	4	13,600	111	19,800	118	12,400	98	11,300	101	64,500	103	75,300	112	79,400	103	93,500	108	87,500	110	1,250	98		
	5	15,500	129	21,400	132	12,500	99	11,400	102	65,400	105	86,600	129	83,700	108	101,800	118	94,300	118	1,270	99		
	6	17,500	151	25,200	158	13,100	105	11,900	107	70,100	112	111,800	166	87,900	112	126,100	147	103,600	130	1,290	102		
	7	17,800	150	30,100	195	13,400	108	12,000	109	71,400	115	126,700	190	98,000	127	151,200	179	118,200	149	1,330	109		
	8	18,100	141	32,100	201	13,500	109	12,300	114	68,900	120	130,600	196	93,700	120	162,300	192	126,700	159	1,360	111		
	9	18,100	141	32,300	190	13,800	110	12,400	116	68,900	-	133,500	205	99,700	-	172,000	205	135,300	171	1,410	118		
	10	18,000	137	33,000	189	13,900	112	12,700	118	69,000	-	135,500	207	96,200	-	175,700	208	136,600	172	1,490	124		
	11	17,500	131	32,000	176	14,000	113	13,400	123	68,900	-	135,300	206	96,200	-	179,000	212	136,100	172	1,540	127		
	12	17,200	128	29,100	159	14,000	113	13,300	128	67,800	-	134,900	206	95,500	-	172,300	204	136,100	172	1,730	142		
2022年	1	16,900	125	29,100	161	14,400	116	14,200	130	67,600	-	131,000	199	94,800	-	168,000	197	139,200	175	1,890	154		
	2	17,600	132	27,900	149	14,500	116	15,500	141	65,800	-	130,900	199	94,100	-	164,600	193	139,300	175	1,980	161		
	3	17,800	133	27,600	146	14,800	119	15,700	141	65,800	-	130,800	196	93,400	-	161,100	187	139,300	171	2,070	168		
2019年		13,500	99	18,100	98	12,400	105	11,300	103	61,900	101	66,700	100	76,900	100	85,900	100			1,290	100		
2020年		12,700	94	17,200	95	12,500	101	11,100	98	62,400	101	66,700	100	77,600	101	85,500	100	79,600		1,250	97		
2021年		16,100	127	25,900	151	13,200	106	12,000	108	68,900	-	105,700	158	98,000	-	132,500	155	109,600	138	1,360	109		
2019年	第1四半期	13,900	101	18,800	105	12,200	106	11,300	104	61,600	101	66,800	101	76,500	100	85,700	100			1,290	101		
	第2四半期	13,200	102	17,800	98	12,200	104	11,300	103	61,600	101	66,300	100	76,500	100	85,500	100			1,290	100		
	第3四半期	13,200	99	17,500	96	12,500	106	11,200	102	61,600	101	66,300	100	76,500	100	85,400	100			1,290	100		
	第4四半期	13,600	96	18,500	96	12,800	107	11,400	102	62,700	102	67,500	101	78,000	102	87,000	102			1,310	102		
2020年	第1四半期	13,000	94	18,300	97	12,700	104	11,400	101	62,700	102	67,600	101	79,000	103	86,900	101	79,800		1,310	102		
	第2四半期	12,000	91	16,300	92	12,600	103	11,200	99	62,600	102	67,300	102	77,800	102	86,200	101	79,700		1,270	98		
	第3四半期	12,500	95	16,100	92	12,400	99	10,800	96	62,200	101	66,200	100	76,900	101	84,300	98	79,400		1,210	94		
	第4四半期	13,300	98	18,000	97	12,400	97	10,900	96	62,200	99	65,600	97	76,900	99	84,400	97	79,300		1,210	92		
2021年	第1四半期	13,400	103	18,600	102	12,400	98	11,000	96	62,300	99	66,100	98	78,000	99	85,500	98	80,200	101	1,230	94		
	第2四半期	15,500	129	22,100	136	12,700	101	11,500	103	66,700	107	91,200	136	83,700	108	107,100	124	95,100	119	1,2			

年次	月	構造用集成材						チップ							
		スギ集成管柱			ホワイトウッド集成管柱			チップ用素材(丸太)			木材チップ				
		国産、無化粧			国産、無化粧			針葉樹		広葉樹		針葉樹		広葉樹	
		10.5角×2.98~3m JAS		対前 年比 (%)	10.5角×2.98~3m JAS		対前 年比 (%)	(円/m <sup>3</sup> )	対前 年比 (%)	(円/m <sup>3</sup> )	対前 年比 (%)	(円/t)	対前 年比 (%)	(円/t)	対前 年比 (%)
(円/m <sup>3</sup> )	(円/本)	(円/m <sup>3</sup> )	(円/本)												
2019年	1							6,200	103	9,200	101	14,200	102	19,000	102
	2							6,200	103	9,300	101	14,200	102	19,000	102
	3							6,200	102	9,300	101	14,200	101	19,000	102
	4							6,200	103	9,300	101	14,500	104	19,000	102
	5							6,300	105	9,300	101	14,500	104	19,000	102
	6							6,300	105	9,300	101	14,500	104	19,000	102
	7							6,300	105	9,300	101	14,500	104	19,000	102
	8							6,300	105	9,300	101	14,500	104	19,000	102
	9							6,300	103	9,300	101	14,500	103	19,000	101
	10							6,400	103	9,500	103	14,700	104	19,300	103
	11							6,500	105	9,500	103	14,800	104	19,300	102
	12							6,500	105	9,500	102	14,800	103	19,300	102
2020年	1	60,469	2,000		60,469	2,000		6,500	105	9,500	103	14,900	105	19,400	102
	2	60,469	2,000		60,469	2,000		6,500	105	9,500	102	14,900	105	19,400	102
	3	63,492	2,100		60,469	2,000		6,500	105	9,400	101	14,900	105	19,400	102
	4	60,469	2,000		60,469	2,000		6,500	105	9,500	102	14,900	103	19,400	102
	5	60,469	2,000		60,469	2,000		6,500	103	9,500	102	14,900	103	19,400	102
	6	60,469	2,000		60,469	2,000		6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	7	63,492	2,100		60,469	2,000		6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	8	63,492	2,100		60,469	2,000		6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	9	63,492	2,100		60,469	2,000		6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	10	60,469	2,000		60,469	2,000		6,500	102	9,500	100	14,800	101	19,300	100
	11	60,469	2,000		60,469	2,000		6,500	100	9,500	100	14,800	100	19,200	99
	12	60,469	2,000		57,445	1,900		6,500	100	9,500	100	14,800	100	19,200	99
2021年	1	63,492	2,100	105	57,445	1,900	95	6,500	100	9,500	100	14,800	99	19,400	100
	2	60,469	2,000	100	57,445	1,900	95	6,500	100	9,500	100	14,600	98	19,300	99
	3	60,469	2,000	95	60,469	2,000	100	6,500	100	9,500	101	14,600	98	19,300	99
	4	63,492	2,100	105	66,515	2,200	110	6,500	100	9,500	100	14,600	98	19,300	99
	5	66,515	2,200	110	72,562	2,400	120	6,700	103	9,500	100	14,600	98	19,300	99
	6	72,562	2,400	120	84,656	2,800	140	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,300	99
	7	75,586	2,500	119	96,750	3,200	160	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,300	99
	8	90,703	3,000	143	117,914	3,900	195	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	100
	9	96,750	3,200	152	142,101	4,700	235	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	100
	10	105,820	3,500	175	154,195	5,100	255	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	101
	11	108,844	3,600	180	154,195	5,100	255	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,300	101
	12	111,867	3,700	185	154,195	5,100	268	6,700	103	9,500	100	14,600	99	19,400	101
2022年	1	111,867	3,700	176	157,218	5,200	274	6,700	103	9,500	100	15,000	101	19,400	100
	2	114,890	3,800	190	157,218	5,200	274	6,700	103	9,600	101	15,000	103	19,400	101
	3	111,867	3,700	185	154,195	5,100	255	6,800	105	9,600	101	15,100	103	19,400	101
2019年								6,300	103	9,300	101	14,500	103	19,100	102
2020年		60,469	2,000		60,469	2,000		6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
2021年		81,633	2,700	135	102,797	3,400	170	6,600	102	9,500	100	14,700	99	19,300	99
2019年	第1四半期							6,200	103	9,300	101	14,200	102	19,000	102
	第2四半期							6,300	105	9,300	101	14,500	104	19,000	102
	第3四半期							6,300	105	9,300	101	14,500	103	19,000	101
	第4四半期							6,500	105	9,500	103	14,800	104	19,300	102
2020年	第1四半期	60,469	2,000		60,469	2,000		6,500	105	9,500	102	14,900	105	19,400	102
	第2四半期	60,469	2,000		60,469	2,000		6,500	103	9,500	102	14,900	103	19,400	102
	第3四半期	63,492	2,100		60,469	2,000		6,500	103	9,500	102	14,800	102	19,400	102
	第4四半期	60,469	2,000		60,469	2,000		6,500	100	9,500	100	14,800	100	19,200	99
2021年	第1四半期	60,469	2,000	100	57,445	1,900	95	6,500	100	9,500	100	14,700	99	19,300	99
	第2四半期	66,515	2,200	110	75,586	2,500	125	6,800	102	9,500	100	14,600	98	19,300	99
	第3四半期	87,680	2,900	138	117,914	3,900	195	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	100
	第4四半期	108,844	3,600	180	154,195	5,100	255	6,700	103	9,500	100	14,700	99	19,400	101
2022年	第1四半期	111,867	3,700	185	157,218	5,200	274	6,700	103	9,600	101	15,000	102	19,400	101

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注：1 構造用集成材価格、木材チップ用丸太価格及び木材チップ価格は、それぞれ集成管柱工場から販売先への出荷時の販売価格、木材チップ工場における工場着購入価格、パルプ向けチップ工場における工場渡し価格である。

2 構造用集成材のm3当たりの価格は、1本を0.033075m3に換算して算出した。

3 2021年及び2022年は「木材価格」に拠る速報値、2020年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。  
(速報値は今後修正される可能性がある)

<参考>都道府県別データ ※農林水産省統計部による調査結果

○スギ中丸太（製材用、径14.0~22.0cm、長3.65~4.0m）

・2021年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
青森	10,500	10,500	10,500	10,500	11,600	11,600	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100
岩手	11,800	11,700	11,800	12,600	13,000	13,400	13,800	13,800	14,100	14,400	14,800	15,100
宮城	11,300	11,500	11,700	11,900	12,100	12,700	12,700	12,300	12,400	12,400	13,400	14,100
秋田	11,100	11,400	11,500	11,500	11,600	11,700	11,900	12,800	13,100	13,600	13,500	13,500
山形	11,200	11,200	11,200	11,500	11,900	11,900	14,200	14,300	14,400	16,300	16,300	16,300
福島	12,800	12,100	12,100	11,400	12,600	12,700	13,000	12,400	13,000	13,000	13,600	14,200
栃木	13,800	13,800	13,800	13,800	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	16,500
岐阜	13,300	13,300	13,300	13,300	13,300	15,000	15,000	16,100	16,100	16,600	16,600	16,600
静岡	13,600	13,600	13,800	14,100	14,700	16,100	17,200	17,500	17,900	17,900	18,300	18,000
三重	12,700	12,500	12,900	13,300	14,300	15,300	15,800	16,100	17,100	17,100	17,200	17,200
奈良	11,600	12,600	12,600	13,100	13,200	15,200	15,200	15,200	15,200	15,300	15,300	15,300
岡山	11,100	11,500	12,100	13,200	13,200	13,700	14,300	14,300	13,900	13,900	13,900	14,300
徳島	14,500	14,500	14,500	14,800	14,800	16,600	16,600	17,200	17,200	17,600	17,600	17,600
愛媛	15,900	15,900	15,400	15,900	15,900	18,100	19,900	20,000	20,000	19,900	19,800	18,600
佐賀	13,800	14,100	14,100	14,600	15,400	17,600	23,100	23,100	21,400	19,800	19,200	17,600
熊本	14,900	14,900	14,900	14,900	18,300	21,900	18,000	21,800	21,700	21,700	21,400	21,000
大分	15,000	14,400	14,400	14,900	16,000	20,700	21,800	19,900	18,700	18,300	18,500	18,800
宮崎	14,000	13,600	13,700	13,800	17,400	19,800	20,600	20,500	20,900	20,600	18,700	17,900
鹿児島	13,900	13,600	13,400	13,900	18,700	21,200	22,200	22,200	21,500	21,500	21,000	19,900

・2022年

都道府県	1月	2月	3月
青森	12,100	12,100	14,300
岩手	15,400	16,100	16,400
宮城	15,400	15,600	16,200
秋田	13,500	14,600	14,700
山形	17,100	17,200	17,200
福島	14,600	14,600	14,600
栃木	16,500	16,500	16,500
岐阜	16,600	16,600	16,600
静岡	18,200	18,500	18,800
三重	17,100	17,300	17,400
奈良	16,800	16,800	16,800
岡山	13,800	13,800	13,800
徳島	17,600	17,600	17,600
愛媛	18,600	20,800	22,900
佐賀	17,000	17,000	17,600
熊本	19,400	21,400	21,400
大分	18,800	19,500	18,600
宮崎	17,200	17,800	18,000
鹿児島	18,800	18,300	18,300

○ヒノキ中丸太（製材用、径14.0~22.0cm、長3.65~4.0m）

・2021年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
福島	22,900	20,500	20,800	26,000	30,200	30,600	30,900	30,900	31,300	33,000	34,800	35,800
茨城	21,200	20,400	20,400	21,700	25,600	26,100	26,500	26,500	27,300	29,000	29,600	29,600
栃木	20,100	20,100	20,000	20,300	24,700	28,900	28,900	28,800	28,800	28,900	29,100	30,100
岐阜	17,700	17,700	18,100	17,700	18,400	27,000	27,900	30,800	31,200	31,700	32,600	29,100
静岡	20,000	19,900	20,300	21,000	21,600	27,000	31,500	36,700	38,600	40,800	40,300	39,300
三重	13,700	13,900	14,100	14,500	15,800	20,600	21,800	25,200	26,500	27,200	25,500	24,800
兵庫	20,700	20,700	22,900	24,000	24,100	30,700	35,500	33,100	32,900	32,900	33,000	33,000
奈良	14,700	15,800	15,800	16,400	16,400	20,000	20,000	22,000	27,000	30,000	30,000	28,800
和歌山	15,900	15,900	15,900	16,800	19,600	21,600	21,600	21,900	21,900	27,000	27,700	27,700
岡山	21,400	21,500	21,700	22,600	23,500	24,500	31,700	30,800	30,600	30,100	29,600	27,200
愛媛	21,100	21,100	21,100	21,900	22,400	26,100	39,100	42,700	44,300	45,700	39,700	31,400
高知	17,500	19,100	19,000	19,100	20,400	21,900	26,200	33,800	31,600	31,300	32,700	28,800
熊本	20,800	21,100	21,100	21,900	27,300	33,500	37,500	36,700	33,000	33,600	35,700	28,700
大分	12,100	14,300	15,300	17,200	17,900	24,400	29,200	30,800	30,600	29,200	28,900	28,600
宮崎	19,300	19,100	18,600	19,800	22,000	27,500	31,900	37,300	34,100	34,100	33,200	32,400

・2022年

都道府県	1月	2月	3月
福島	35,500	34,900	34,400
茨城	29,400	28,300	28,000
栃木	31,100	31,000	30,000
岐阜	30,500	28,900	28,900
静岡	33,300	31,000	29,400
三重	25,600	26,900	27,000
兵庫	33,000	32,900	30,700
奈良	29,900	29,900	30,000
和歌山	25,900	25,900	25,900
岡山	22,300	22,000	26,200
広島	35,900	28,900	28,600
愛媛	30,100	29,000	28,200
高知	29,900	29,100	27,200
熊本	30,300	27,600	27,500
大分	27,300	25,100	23,400
宮崎	31,200	30,100	27,500

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

○カラマツ中丸太（製材用、径14.0～28.0cm、長3.65～4.0m）

・2021年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	11,900	12,000	11,900	11,900	11,900	12,500	12,700	12,800	13,100	13,200	13,300	13,300
岩手	17,600	17,600	17,600	17,700	18,300	18,800	20,100	20,100	20,800	20,900	21,000	21,100

・2022年

都道府県	1月	2月	3月
北海道	13,700	13,600	13,800
岩手	21,200	23,900	25,300

○スギ丸太（合板用、径18.0cm上）

・2021年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
岩手	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,900	10,600	11,300	11,700	12,400
宮城	10,900	10,900	10,900	10,900	10,900	11,100	11,100	11,100	11,600	11,900	13,300	14,400
秋田	10,300	10,300	10,300	10,600	10,500	10,600	10,600	11,200	11,400	11,500	12,900	13,300
島根	11,900	12,700	12,800	12,800	12,900	13,000	13,200	13,800	14,300	14,800	14,900	14,900

・2022年

都道府県	1月	2月	3月
岩手	12,600	13,300	14,100
宮城	15,300	16,400	16,400
秋田	14,100	16,700	17,200
島根	14,300	14,900	15,000

○スギ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2021年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉	52,900	52,900	52,900	66,800	72,000	98,700	98,700	98,700	98,700	98,700	98,500	88,000
東京	x	x	x	x	66,000	66,000	66,000	61,200	61,200	61,200	61,200	61,200
大阪	55,000	55,000	58,100	61,900	65,000	80,500	92,900	105,800	105,800	105,800	105,800	105,800
福岡	38,900	38,900	38,900	41,800	44,000	53,600	56,900	57,200	57,200	59,300	58,600	58,600

・2022年

都道府県	1月	2月	3月
千葉	/		88,000
東京			58,800
大阪			103,100
福岡			58,600

○スギ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2021年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	60,900	61,000	64,100	86,000	97,800	132,500	137,600	138,800	143,200	143,000	142,700	142,300
千葉	69,100	69,400	70,100	86,300	99,000	125,500	147,100	152,300	153,100	153,100	146,900	142,900
東京	71,400	71,400	71,400	71,500	85,900	115,400	142,600	142,900	148,300	148,300	148,300	148,300
神奈川	66,300	68,100	68,500	77,400	79,400	111,200	131,700	152,000	153,000	153,100	153,100	153,100
愛知	71,300	71,300	71,300	80,700	89,100	107,500	121,800	121,800	121,800	121,800	121,600	116,100
大阪	70,600	70,600	70,900	76,800	82,500	99,000	111,200	111,200	111,200	112,500	112,500	112,500
兵庫	70,200	70,200	71,500	79,300	91,500	113,300	128,000	142,700	142,700	142,700	142,700	142,700
福岡	62,000	62,000	62,000	67,400	77,800	93,100	103,900	112,900	113,600	120,400	120,400	120,400

・2022年

都道府県	1月	2月	3月
埼玉	125,700	125,200	125,200
千葉	146,100	146,100	146,100
東京	148,900	148,900	148,900
神奈川	153,100	153,000	153,000
愛知	116,100	116,100	114,800
大阪	111,900	111,900	111,900
兵庫	142,900	142,900	142,900
福岡	120,400	120,400	120,400

資料：農林水産省「木材価格」

注1：2021年8月より、東京都の調査対象が変更になったことから、2021年7月及び8月の東京都のスギ正角の数値は接続しない。

注2：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注3：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注4：スギ正角の価格は、2022年1月より四半期ごとの公表となった（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。



○ヒノキ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2021年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉県	71,900	71,900	71,900	73,900	84,800	86,000	98,200	98,200	98,200	98,200	98,200	98,200
東京都	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
愛知県	85,400	85,400	85,400	86,700	88,000	92,500	96,100	96,100	96,100	96,100	96,100	96,100
大阪府	62,400	62,400	71,300	67,900	72,000	83,200	108,700	118,200	145,700	129,000	129,000	125,800
兵庫県	66,800	66,800	67,200	69,500	76,400	79,600	87,400	99,300	120,700	120,400	120,400	116,100
福岡県	50,300	50,300	50,300	50,300	55,800	66,000	82,500	82,500	82,500	82,500	82,500	82,500

・2022年

都道府県	1月	2月	3月
千葉県			98,200
東京都			x
愛知県			94,800
大阪府			119,700
兵庫県			116,300
福岡県			82,500

○ヒノキ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2021年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉県	78,200	78,200	79,000	91,400	100,900	138,900	147,000	148,000	164,300	168,700	167,900	160,200
千葉県	94,000	94,900	95,800	105,500	114,200	131,500	149,300	161,300	161,300	165,900	163,800	164,900
東京都	98,900	98,900	98,900	98,900	104,500	121,000	142,900	143,100	159,500	175,800	175,800	175,800
神奈川県	78,700	79,000	84,100	94,800	110,500	146,200	178,800	184,700	186,300	187,400	187,400	187,400
愛知県	94,700	94,700	94,700	97,500	102,900	113,500	128,100	129,400	142,400	142,900	165,700	161,900
大阪府	80,100	80,100	82,800	90,600	98,000	128,900	169,100	192,900	193,800	193,800	193,800	181,100
兵庫県	78,900	78,900	79,700	88,600	101,800	113,800	152,600	179,600	188,800	188,400	188,400	180,800

・2022年

都道府県	1月	2月	3月
埼玉県	145,600	142,500	142,500
千葉県	171,400	169,100	169,100
東京都	175,500	175,400	175,400
神奈川県	187,400	185,300	185,300
愛知県	159,400	159,400	151,900
大阪府	176,400	169,900	163,600
兵庫県	184,800	178,400	173,900

○米ツガ正角・防腐処理材（厚10.5cm、幅10.5cm、長4.0m、2級）

・2021年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉県	78,900	78,900	79,900	85,600	98,600	104,600	116,100	129,300	139,300	139,300	141,300	141,300
千葉県	78,200	78,500	78,500	85,600	91,900	100,300	119,100	129,800	139,400	139,400	139,400	138,500
神奈川県	81,000	82,000	84,500	86,500	95,700	105,600	117,700	133,300	137,400	139,700	139,700	142,200
愛知県	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	145,500	136,900
大阪府	79,200	79,200	84,200	93,500	96,200	104,500	121,000	121,000	121,000	121,000	121,000	121,000
兵庫県	79,200	79,200	80,500	88,000	93,500	103,300	107,700	114,300	121,000	121,000	121,000	121,000

・2022年

都道府県	1月	2月	3月
北海道			135,700
埼玉県			144,700
千葉県			139,800
東京都			154,400
神奈川県			142,200
愛知県			158,300
大阪府			121,000
兵庫県			138,500

○針葉樹合板（厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類）

・2021年

単位：円/枚

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉県	1,180	1,180	1,190	1,190	1,260	1,320	1,360	1,390	1,510	1,520	1,590	1,760
東京都	1,360	1,360	1,360	1,360	1,390	1,410	1,440	1,460	1,510	1,580	1,640	1,760
大阪府	1,030	1,030	1,030	1,030	1,060	1,060	1,110	1,150	1,170	1,290	1,330	1,660

・2022年

都道府県	1月	2月	3月
埼玉県			2,220
東京都			2,140
大阪府			1,840

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注3：ヒノキ正角、米ツガ正角・防腐処理材及び針葉樹合板の価格は、2022年1月より四半期ごとの公表となった（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○スギ集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98～3.0m、1等）

・2021年

単位：円/本

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
宮崎	1,800	1,900	1,900	2,000	2,200	2,700	2,900	3,000	3,200	3,800	4,400	4,400

・2022年

都道府県	1月	2月	3月
秋田	x	4,700	4,400
宮崎	4,200	4,300	4,300

○ホワイトウッド集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98～3.0m、1等）

・2021年

単位：円/本

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
岡山	2,000	2,000	2,100	2,300	2,300	2,800	2,900	3,500	4,400	5,100	5,100	5,100

・2022年

都道府県	1月	2月	3月
岡山	5,100	5,100	5,100

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

## ○チップ用丸太（針葉樹）

・2021年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	7,000
青森	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400
岩手	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100
宮城	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600
秋田	6,600	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700
山形	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200
福島	6,700	6,900	6,700	6,500	6,200	6,000	6,100	6,100	6,200	5,900	6,100	5,900
栃木	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
山梨	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,700	5,700	5,700	5,900	6,400	6,500
長野	6,000	6,000	6,000	6,000	6,100	6,200	6,400	6,400	6,400	6,400	6,500	6,800
京都	7,900	8,000	8,000	8,000	8,100	8,300	8,300	8,400	8,400	8,600	8,600	8,600
兵庫	6,300	6,300	6,800	6,800	6,300	6,400	6,500	6,500	6,500	6,600	6,600	6,600
島根	9,200	8,000	9,200	9,300	9,700	9,700	9,700	9,500	9,900	9,600	9,900	9,200
広島	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
高知	5,600	5,700	5,500	5,500	5,700	5,800	5,900	5,600	5,500	5,400	5,300	5,500
熊本	6,200	6,800	6,400	6,300	6,600	6,300	6,600	6,400	7,200	6,500	6,600	6,900
宮崎	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	8,000	7,900	7,800	7,700
鹿児島	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700

・2022年

都道府県	1月	2月	3月
北海道	7,000	7,000	7,000
青森	6,500	6,500	6,500
岩手	7,100	7,100	7,100
宮城	5,600	5,600	5,600
秋田	6,700	6,700	6,700
山形	6,200	6,200	6,200
福島	5,400	5,400	6,100
栃木	5,000	5,000	5,000
山梨	6,800	6,600	7,000
長野	6,800	6,700	6,700
京都	8,600	8,600	8,900
兵庫	6,600	6,600	6,600
島根	9,700	9,200	9,200
広島	5,000	5,000	5,000
高知	5,400	5,600	5,500
熊本	7,300	7,100	7,000
宮崎	7,400	7,400	7,700
鹿児島	7,700	7,700	7,700

## ○チップ用丸太（広葉樹）

・2021年

単位：円/m<sup>3</sup>

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600
青森	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600
岩手	10,700	10,700	10,500	10,600	10,700	10,700	10,700	10,900	10,900	10,900	10,900	10,900
宮城	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700
秋田	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800
山形	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700
福島	8,900	8,900	8,800	8,900	8,900	8,900	8,800	8,900	8,800	8,800	8,800	8,900
山梨	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	6,000	6,000	6,000	6,200	6,400	6,500
島根	10,600	10,400	10,500	10,500	10,700	10,600	10,500	10,400	10,400	10,300	10,200	10,400
広島	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900
熊本	8,000	8,400	8,300	8,300	8,600	8,800	8,700	8,600	8,700	8,300	8,500	8,300
宮崎	8,600	8,300	8,600	8,400	8,400	8,400	8,500	8,600	8,500	8,400	8,400	8,200
鹿児島	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700

・2022年

都道府県	1月	2月	3月
北海道	9,600	9,600	9,600
青森	11,600	11,600	11,600
岩手	11,000	11,000	11,000
宮城	8,700	8,700	8,700
秋田	11,800	11,800	11,800
山形	9,700	9,700	9,700
福島	8,700	8,900	8,900
山梨	6,600	6,600	6,500
島根	10,500	10,300	10,400
広島	6,000	6,100	6,100
熊本	8,200	8,500	8,400
宮崎	8,200	8,200	8,200
鹿児島	9,700	9,700	9,700

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

## ○木材チップ（針葉樹）

・2021年

単位：円／t

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	14,700	14,900	14,900	14,900	14,900	15,000	15,000	14,900	14,900	14,900	14,900	14,900
青森	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600
岩手	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800
宮城	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600
秋田	16,100	15,900	16,000	15,900	15,900	15,900	15,900	15,900	16,200	16,200	15,900	15,900
福島	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,100
茨城	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200	7,200
栃木	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
富山	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	22,400	24,600	22,400	20,900	20,900	20,900
静岡	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900	17,900
京都	17,500	17,500	17,500	17,500	17,500	18,100	18,100	19,200	19,200	19,200	19,200	19,200
兵庫	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100
岡山	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400
広島	13,400	11,500	11,400	11,500	11,500	11,600	11,600	11,600	11,700	11,700	11,600	11,500
愛媛	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900	12,900
高知	19,100	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300	19,300
熊本	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
大分	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600
宮崎	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100	11,100

・2022年

都道府県	1月	2月	3月
北海道	14,900	14,900	14,900
青森	15,600	15,600	15,600
岩手	15,800	15,800	15,800
宮城	18,600	18,600	18,600
秋田	15,900	16,400	16,400
福島	18,100	18,100	18,100
茨城	7,200	7,200	7,200
栃木	12,000	12,000	12,000
富山	18,100	18,100	18,100
静岡	17,900	17,900	17,900
京都	19,200	19,500	19,700
兵庫	17,100	17,100	17,100
岡山	14,000	14,000	14,000
広島	15,300	15,300	15,600
徳島	20,900	20,900	20,900
愛媛	12,900	12,900	12,900
高知	19,300	19,300	19,300
熊本	18,000	18,000	18,000
大分	11,600	11,600	11,600
宮崎	11,100	11,100	11,100
鹿児島	13,000	13,000	13,000

## ○木材チップ（広葉樹）

・2021年

単位：円／t

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400	20,400
青森	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500	18,500
岩手	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,300	18,600	18,600	18,600	18,600	18,600
宮城	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600
秋田	20,300	20,300	20,300	20,300	20,300	20,300	20,300	20,700	20,700	20,700	20,300	20,300
福島	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,100
栃木	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400	15,400
山梨	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	16,000	16,000
鳥根	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800
広島	20,800	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500
熊本	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000
宮崎	19,700	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
鹿児島	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700	15,700

・2022年

都道府県	1月	2月	3月
北海道	20,400	20,400	20,400
青森	18,500	18,500	18,500
岩手	18,600	18,600	18,600
宮城	19,600	19,600	19,600
秋田	20,300	20,300	20,300
福島	20,100	20,100	20,100
栃木	15,400	15,400	15,400
山梨	15,200	15,600	15,600
鳥根	20,800	20,800	20,800
広島	19,700	19,800	19,800
熊本	21,300	21,300	21,300
宮崎	20,000	20,000	20,000
鹿児島	15,700	15,700	15,700

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「X」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「X」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。



- 木材の総需要量は、74,439千<sup>3</sup>mで前年に比べ7,466千<sup>3</sup>m（9.1%）減少。用材は、61,392千<sup>3</sup>mで前年に比べ9,877千<sup>3</sup>m（13.9%）減少。しいたけ原木も242千<sup>3</sup>mで前年に比べ9千<sup>3</sup>m（3.6%）減少。燃料材は、12,805千<sup>3</sup>mで前年に比べ2,419千<sup>3</sup>m（23.3%）増加。
- 国内消費量は、71,430千<sup>3</sup>mで前年に比べ7,760千<sup>3</sup>m（9.8%）減少。この中で、前年に比べて増加したのは、燃料材の2,418千<sup>3</sup>m（23.3%）であり、その他は減少。
- 輸出量は、3,009千<sup>3</sup>mで前年に比べ294千<sup>3</sup>m（10.8%）増加。この中で、前年に比べて増加したのは、丸太の254千<sup>3</sup>m（22.5%）、製材品の39千<sup>3</sup>m（16.5%）、木材パルプ・チップ等（用材）の18千<sup>3</sup>m（1.6%）、燃料材の1千<sup>3</sup>m（25.0%）。

木 材 需 要 の 動 向

区 分		令和2年		令和元年		対前年 増減量 (千 <sup>3</sup> m)	対前年 増減率 (%)	
		数量 (千 <sup>3</sup> m)	構成比 (%)	数量 (千 <sup>3</sup> m)	構成比 (%)			
総 需 要 量	用 材	製材用材	24,597	33.0	27,619	33.7	△ 3,022	△ 10.9
		パルプ・チップ用材	26,064	35.0	31,579	38.6	△ 5,515	△ 17.5
		合板用材	8,919	12.0	10,474	12.8	△ 1,555	△ 14.8
		その他用材	1,812	2.4	1,597	1.9	215	13.5
		小計	61,392	82.5	71,269	87.0	△ 9,877	△ 13.9
	しいたけ原木	242	0.3	251	0.3	△ 9	△ 3.6	
	燃料材	12,805	17.2	10,386	12.7	2,419	23.3	
	計	74,439	100.0	81,905	100.0	△ 7,466	△ 9.1	
国 内 消 費	用 材	製材用材	24,321	34.0	27,383	34.6	△ 3,062	△ 11.2
		パルプ・チップ用材	24,900	34.9	30,433	38.4	△ 5,533	△ 18.2
		合板用材	8,741	12.2	10,280	13.0	△ 1,539	△ 15.0
		その他用材	426	0.6	462	0.6	△ 36	△ 7.8
		小計	58,387	81.7	68,558	86.6	△ 10,171	△ 14.8
	しいたけ原木	242	0.3	251	0.3	△ 9	△ 3.6	
	燃料材	12,800	17.9	10,382	13.1	2,418	23.3	
	計	71,430	100.0	79,190	100.0	△ 7,760	△ 9.8	
輸 出	用 材	丸太	1,384	46.0	1,130	41.6	254	22.5
		製材品等	275	9.2	236	8.7	39	16.5
		木材パルプ・チップ等	1,164	38.7	1,146	42.2	18	1.6
		合板等	179	5.9	194	7.2	△ 15	△ 7.7
		その他	3	0.1	4	0.2	△ 1	△ 25.0
	小計	3,005	99.8	2,711	99.8	294	10.8	
	燃料材	5	0.2	4	0.2	1	25.0	
	計	3,009	100.0	2,715	100.0	294	10.8	

資料：林野庁「木材需給表」

注：1) 燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。

2) 輸出の用材の合板等は、合板、薄板・単板、ブロックボード等である。

3) 輸出の用材のその他は、改良木材、枕木、のこくず・木くずである。

4) 数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

※ 令和2年から、「用材」の内訳について、貿易統計により把握する集成材、構造用集成材、セルラーウッドパネル及び加工材の数量は「製材用材」（輸出は「製材品等」）に、再生木材の数量は「パルプ・チップ用材」（輸出は「木材パルプ・チップ等」）に計上することとした。なお、比較のため令和元年の数値についても同様の再集計を行った（従来はいずれも「その他用材」（輸出は「その他」）に計上）。

- 木材の総供給量は、74,439千<sup>3</sup>mで前年に比べ7,466千<sup>3</sup>m（9.1%）減少。用材は61,392千<sup>3</sup>mとなり、前年に比べ9,877千<sup>3</sup>m（13.9%）減少。しいたけ原木も242千<sup>3</sup>mで前年に比べ9千<sup>3</sup>m（3.6%）減少。燃料材は12,805千<sup>3</sup>mとなり、前年に比べ2,419千<sup>3</sup>m（23.3%）増加。
- 国内生産量は、31,149千<sup>3</sup>mで前年に比べ161千<sup>3</sup>m（0.5%）増加。この中で、前年に比べて増加したのは、燃料材の1,995千<sup>3</sup>m（28.8%）であり、その他は減少。
- 輸入量は、43,290千<sup>3</sup>mで前年に比べ7,627千<sup>3</sup>m（15.0%）減少。この中で、前年に比べ増加量が最も大きかったものは燃料材の424千<sup>3</sup>m（12.3%）。

木材供給の動向

区 分		令和2年		令和元年		対前年 増減量 (千 <sup>3</sup> m)	対前年 増減率 (%)		
		数量 (千 <sup>3</sup> m)	構成比 (%)	数量 (千 <sup>3</sup> m)	構成比 (%)				
総供給量	用材	丸太	25,180	33.8	27,804	33.9	△ 2,624	△ 9.4	
		林地残材	106	0.1	119	0.1	△ 13	△ 10.9	
		輸入木材製品	36,106	48.5	43,346	52.9	△ 7,240	△ 16.7	
		小計	61,392	82.5	71,269	87.0	△ 9,877	△ 13.9	
	しいたけ原木	242	0.3	251	0.3	△ 9	△ 3.6		
	燃料材	12,805	17.2	10,386	12.7	2,419	23.3		
	計	74,439	100.0	81,905	100.0	△ 7,466	△ 9.1		
国内生産	用材	丸太	21,874	70.2	23,686	76.4	△ 1,812	△ 7.7	
		林地残材	106	0.3	119	0.4	△ 13	△ 10.9	
		小計	21,980	70.6	23,805	76.8	△ 1,825	△ 7.7	
	しいたけ原木	242	0.8	251	0.8	△ 9	△ 3.6		
	燃料材	8,927	28.7	6,932	22.4	1,995	28.8		
	計	31,149	100.0	30,988	100.0	161	0.5		
輸入	用材	木材製品	丸太	3,306	7.6	4,118	8.1	△ 812	△ 19.7
			製材品等	10,121	23.4	11,345	22.3	△ 1,224	△ 10.8
			木材パルプ	4,997	11.5	5,580	11.0	△ 583	△ 10.4
			木材チップ等	16,646	38.5	21,347	41.9	△ 4,701	△ 22.0
			合板等	4,293	9.9	5,026	9.9	△ 733	△ 14.6
			その他	49	0.1	47	0.1	2	4.3
	小計	36,106	83.4	43,346	85.1	△ 7,240	△ 16.7		
	燃料材	3,878	9.0	3,454	6.8	424	12.3		
	計	43,290	100.0	50,917	100.0	△ 7,627	△ 15.0		

資料：林野庁「木材需給表」

注：1) 林地残材とは、立木を伐採した後の林地に残されている根株、枝条等のうち、利用を目的に木材チップ工場に搬入されたものである。

2) 燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。

3) 輸入の用材のその他は、改良木材、枕木、のこくず・木くずである。

4) 数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

※ 令和2年から、輸入の「木材製品」について、貿易統計により把握する集成材、構造用集成材、セラーウッドパネル及び加工材の数量は「製材品等」に、再生木材の数量は「木材チップ等」に計上することとした。なお、比較のため令和元年の数値についても同様の再集計を行った（従来はいずれも「その他」に計上）。

# 木材自給率の動向（令和2年木材需給表）

- 用材の自給率は、35.8%で前年に比べて2.4ポイント上昇し、平成23年から10年連続の上昇。
- 用材にしいたけ原木及び燃料材を加えた総量の自給率は、41.8%で前年に比べて4.0ポイント上昇し、平成23年から10年連続の上昇。昭和47年の42.7%以来、48年ぶりに40%台に回復。

【参考】木材自給率（%）＝ 国内生産量 ÷ 総需要量（※） × 100

※「総需要量」は「国内消費量」に「輸出货量」を加えたもの。

## 木材自給率の動向

区 分		令和2年	令和元年	対前年 増減量 (千m <sup>3</sup> )	対前年 増減率 (%)	
		数量 (千m <sup>3</sup> )	数量 (千m <sup>3</sup> )			
建築用材等	国内生産	15,810	17,620	△ 1,810	△ 10.3	
	輸 入	17,706	20,473	△ 2,767	△ 13.5	
	総需要量	33,516	38,093	△ 4,577	△ 12.0	
	自給率	47.2%	46.3%	0.9ポイント		
用材	製材材	国内生産	11,615	12,875	△ 1,260	△ 9.8
		輸 入	12,982	14,744	△ 1,762	△ 12.0
		総需要量	24,597	27,619	△ 3,022	△ 10.9
		自給率	47.2%	46.6%	0.6ポイント	
	合板材	国内生産	4,195	4,745	△ 550	△ 11.6
		輸 入	4,724	5,729	△ 1,005	△ 17.5
		総需要量	8,919	10,474	△ 1,555	△ 14.8
		自給率	47.0%	45.3%	1.7ポイント	
非建築用材等	国内生産	15,339	13,368	1,971	14.7	
	輸 入	25,584	30,444	△ 4,860	△ 16.0	
	総需要量	40,923	43,812	△ 2,889	△ 6.6	
	自給率	37.5%	30.5%	7.0ポイント		
用材	パルプ・チップ用材	国内生産	4,420	4,651	△ 231	△ 5.0
		輸 入	21,644	26,927	△ 5,283	△ 19.6
		総需要量	26,064	31,579	△ 5,515	△ 17.5
		自給率	17.0%	14.7%	2.3ポイント	
	その他用材	国内生産	1,750	1,534	216	14.1
		輸 入	62	63	△ 1	△ 1.6
		総需要量	1,812	1,597	215	13.5
		自給率	96.6%	96.0%	0.6ポイント	
しいたけ原木	国内生産	242	251	△ 9	△ 3.6	
	輸 入	-	-	-	-	
	総需要量	242	251	△ 9	△ 3.6	
	自給率	100.0%	100.0%	0.0ポイント		
燃料材	国内生産	8,927	6,932	1,995	28.8	
	輸 入	3,878	3,454	424	12.3	
	総需要量	12,805	10,386	2,419	23.3	
	自給率	69.7%	66.7%	3.0ポイント		
総 数	国内生産	31,149	30,988	161	0.5	
	輸 入	43,290	50,917	△ 7,627	△ 15.0	
	総需要量	74,439	81,905	△ 7,466	△ 9.1	
	自給率	41.8%	37.8%	4.0ポイント		
うち 用材の計	国内生産	21,980	23,805	△ 1,825	△ 7.7	
	輸 入	39,412	47,464	△ 8,052	△ 17.0	
	総需要量	61,392	71,269	△ 9,877	△ 13.9	
	自給率	35.8%	33.4%	2.4ポイント		

資料：林野庁「木材需給表」

注) 数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

※ 令和2年から、「用材」の内訳について、貿易統計により把握する集成材、構造用集成材、セラウウッドパネル及び加工材の数量は「製材用材」に、再生木材の数量は「パルプ・チップ用材」に計上することとした。なお、比較のため令和元年の数値についても同様に再集計を行った（従来はいずれも「その他用材」に計上）。

局	概況	主な地区の原木価格・出荷量の動向					
		樹種	価格 (円/m <sup>3</sup> )	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)	
北海道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例年であれば建築関係の需要が弱まる時期であるが、製品販売は依然好調で合板需要も旺盛なことから、トマツ原木は工場入荷量が増加しているものの、原木在庫は低水準。</li> <li>・トマツ以上にカラマツ原木は不足しているが、梱包材、ラミナ、パレット等の製材品需要は旺盛な状況で、注文は1ヶ月先まで入っている。</li> <li>・北海道からの移出については、トマツ・カラマツ原木ともに1月から25%前後価格が上昇している。</li> <li>・3月期の国有林材の素材委託販売におけるトマツの単価は高値を維持しており、カラマツ単価は、更に上昇している。</li> </ul>	原木価格	樹種	価格 (円/m <sup>3</sup> )	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)
		カラマツ(北海道) (14~28cm)	13,800	101%	116%	113%	
		区分	材積 (千m <sup>3</sup> )	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)	
		素材入荷量(北海道)	135	111%	119%	85%	
		製品出荷量(北海道)	67	114%	140%	140%	
東北	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スギは、集成材工場や合板工場では原木在庫が増加傾向にあるが、継続して原木集荷に努めており、引き合いは強く、価格は高値のまま保合で推移している。また、製材は不要期であることに加え、先行きも不透明感が強まっていることから荷動きは停滞気味だが、原木価格が高値になっていることから製材価格も横ばいで推移している。</li> <li>・スギ合板は、堅調な需要が続いており、製品価格も上がり続けている。原木在庫は増加傾向にあるが、スギ合板材の強い引き合いは継続しており、価格も高値のまま推移している。</li> <li>・カラマツは、合板用、製材用とも引き合いが強い状況が続いており、価格も高値で推移している。</li> <li>・広葉樹一般材は、例年よりも出材量が少なくなっており、ナラやクリ、サクラ、オニグルミの良材の引き合いが特に強くなっている。</li> <li>・低質材は、バイオマス向けの需要は安定しており、価格も横ばいで推移している。また、製紙用については需要は増加傾向にあるが、広葉樹低質材の出材量が少ない状況が続いており、在庫が少ない状況が続いている。</li> </ul>	原木価格	樹種	価格 (円/m <sup>3</sup> )	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)
		スギ(秋田県) (14~22cm)	14,700	101%	128%	129%	
		カラマツ(岩手県) (14~28cm)	25,300	106%	144%	139%	
		区分	材積 (千m <sup>3</sup> )	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)	
		素材入荷量(秋田県)	32	119%	84%	68%	
		製品出荷量(秋田県)	13	100%	93%	81%	
関東	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スギ、ヒノキ材は、工場側の原木在庫が充足しており、木材価格は下降傾向となっている。</li> <li>・カラマツ材については、東北地方からの引き合いが強く、合板用のB材価格が上昇し、これに伴いA材価格も上昇している。</li> <li>・輸入材については、需要に対して供給が不足していることに加え、ウクライナ情勢から供給が不透明なところがあり、需給動向を注視していく必要がある。</li> </ul>	原木価格	樹種	価格 (円/m <sup>3</sup> )	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)
		スギ(栃木県) (14~22cm)	16,500	100%	120%	136%	
		ヒノキ(栃木県) (14~22cm)	30,000	97%	150%	180%	
		区分	材積 (千m <sup>3</sup> )	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)	
		素材入荷量(栃木県)	47	104%	107%	102%	
		製品出荷量(栃木県)	23	85%	100%	105%	
中部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管内の概況は、樹種によっては原木価格を下けているものも見られるが、全体的には、原木・製品価格の高止まりや原木不足が続いている状況に変化はない。世界的な情勢不安による燃料価格等の高騰等、輸入材を取り巻く状況が不安視する声が多く聞かれる。</li> <li>・スギ、カラマツの需要増は続いており、原木購入意欲も高い。ヒノキ3m・4mの価格は先月に続き若干値を下げている。</li> <li>・カラマツについては、特に原木不足が顕著となっており、合板用、土土用杭、矢板などすべての用途で原木を求める声が大きく、川上からの生産量も年度末となり原木不足の状況は変わっていない。</li> </ul>	原木価格	樹種	価格 (円/m <sup>3</sup> )	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)
		スギ(岐阜県) (14~22cm)	16,600	100%	125%	151%	
		ヒノキ(岐阜県) (14~22cm)	28,900	100%	160%	161%	
		区分	材積 (千m <sup>3</sup> )	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)	
		素材入荷量(岐阜県)	23	110%	128%	115%	
		製品出荷量(岐阜県)	12	120%	109%	120%	
近畿中国	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸・京滋ブロック(石川、福井、滋賀、京都、大阪)スギ、ヒノキともに入荷量は地域差がある。また、価格については、スギは全体的に好調。ヒノキは地域差がある。</li> <li>・紀伊ブロック(三重、奈良、和歌山)スギの価格は全体的に不足感から買い気があり強保合。ヒノキは、全体的に保合。</li> <li>・瀬戸内ブロック(兵庫、岡山、広島、山口)スギの価格は全体的に品不足から強含み。ヒノキは全体的に需要の一般感から弱保合。</li> <li>・山陰ブロック(鳥取、島根)スギの価格は全体的に保合から強含み。ヒノキは鳥取東部では弱含み、鳥取西部、島根では保合。</li> <li>・製品の価格については、スギは全体的に不足感があり、価格は横ばいから強含み。ヒノキの価格については、北陸・京滋ブロックと瀬戸内ブロックでは荷動きが悪くなってきたことから弱含み。紀伊ブロックと山陰ブロックでは保合。</li> </ul>	原木価格	樹種	価格 (円/m <sup>3</sup> )	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)
		スギ(岡山県) (14~22cm)	13,800	100%	114%	125%	
		ヒノキ(岡山県) (14~22cm)	26,200	119%	121%	126%	
		区分	材積 (千m <sup>3</sup> )	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)	
		素材入荷量(岡山県)	25	104%	114%	125%	
		製品出荷量(岡山県)	13	108%	100%	100%	
四国	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで外材の入荷減少により国産材への代替需要の高まりで買方の引き合いは好調を維持してきたが、スギの引き合いは引き続き強いものの、ヒノキは弱まっている。</li> <li>・丸太価格は、全体的に概ね横ばいで推移しているが、ヒノキ3m柱適材を中心に弱気配が続いている。今後もヒノキは先行き下落傾向が見えるが、下げ止まり感が伺える市場も増えている。</li> </ul>	原木価格	樹種	価格 (円/m <sup>3</sup> )	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)
		スギ(愛媛県) (14~22cm)	22,900	110%	149%	172%	
		ヒノキ(高知県) (14~22cm)	27,200	93%	143%	149%	
		区分	材積 (千m <sup>3</sup> )	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)	
		素材入荷量(高知県)	32	110%	103%	94%	
		製品出荷量(高知県)	17	100%	106%	100%	
九州	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九州の木材需給動向については、スギは九州各地の製材工場の動向が好調な状況にあることから、秋からの下落傾向が落ち着いてきており、原木市場での取引価格は3m柱材適材で22,000~23,000円/m<sup>3</sup>、4m中目材も18,000~19,000円/m<sup>3</sup>と高値安定となっている。</li> <li>・一方、ヒノキについては4m土台用、柱材用ともに製品取引の鈍化により買い手が様子見の状況のため下げ傾向。4m土台適材はヒノキ価格の強い熊本県でも24,000円/m<sup>3</sup>程度、宮崎県や鹿児島県では20,000円/m<sup>3</sup>を切るような状況となっている。</li> <li>・合板用材としての需要については、ロシアへの経済制裁等の動向が見逃せない中ではあるが大きな動きはなく、ヒノキ原木の出荷も安定していることから、九州内の合板工場と近畿・中国圏の合板工場との競合により価格が高騰しそうな動きはみられない。</li> <li>・原木の供給状況は、令和2年の最下落時の原木価格よりも高い状態が続いていることや天候が良い日が続いていることから各地で順調に供給されており、各原木市場や製材工場では落ち着いた状況が続いている。</li> </ul>	原木価格	樹種	価格 (円/m <sup>3</sup> )	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)
		スギ(※)	18,292	101%	139%	159%	
		ヒノキ(※)	23,233	94%	131%	170%	
		区分	材積 (千m <sup>3</sup> )	前月比 (%)	前年比 (%)	前前年比 (%)	
		素材入荷量	354	102%	108%	100%	
		製品出荷量	168	104%	104%	100%	

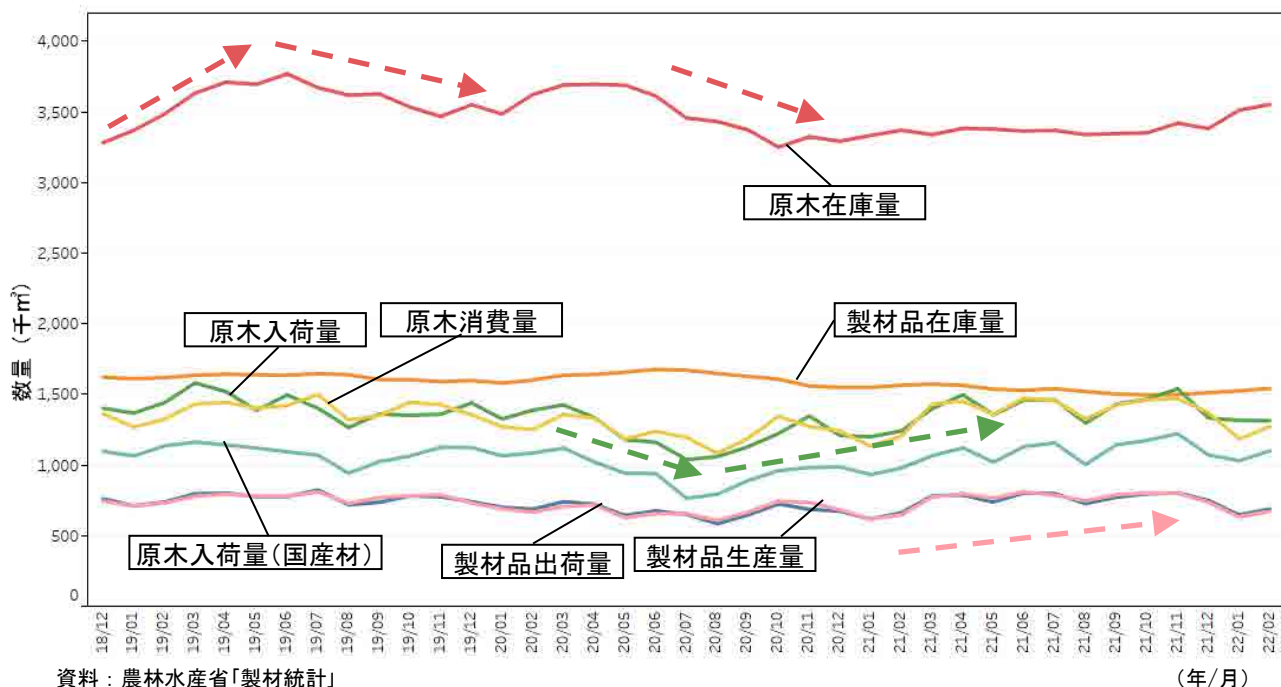
資料：農林水産省「木材価格」「製材統計」

※1 九州地区のスギ及びヒノキの原木価格は、九州管内6市場の3m16~18cm直材及び4m18~22cm直材の平均単価。

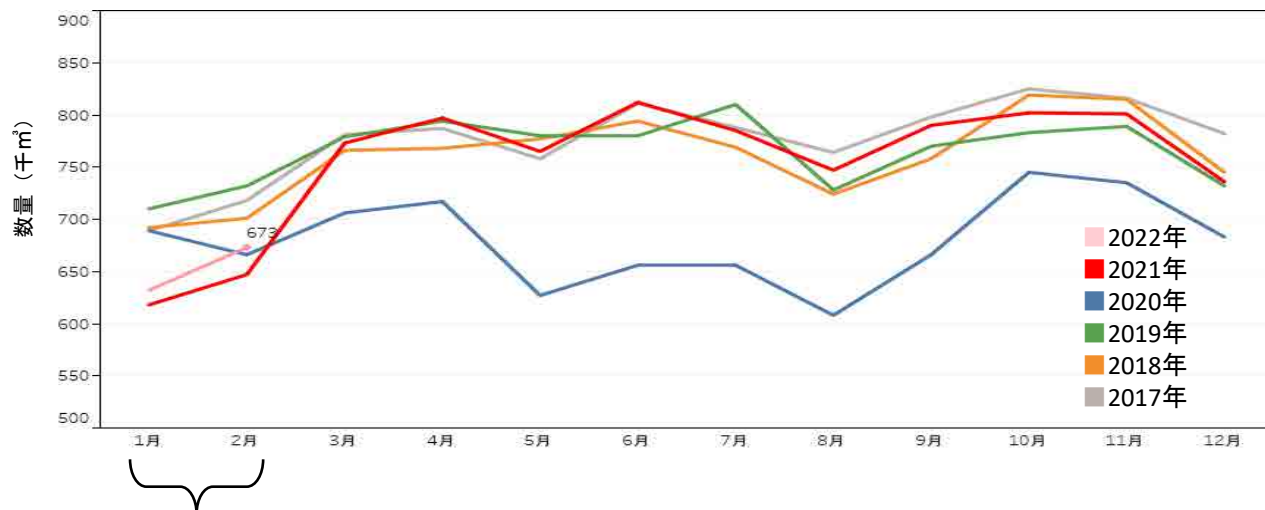
※2 九州地区の素材入荷量及び製品出荷量は、福岡県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県の合計。



- 2022年1～2月の原木の入荷量は2,630千 $m^3$ （2019年比94%）。
- 同様に製材品の出荷量は1,305千 $m^3$ （2019年比90%）、コロナ禍前の水準以下となっている。



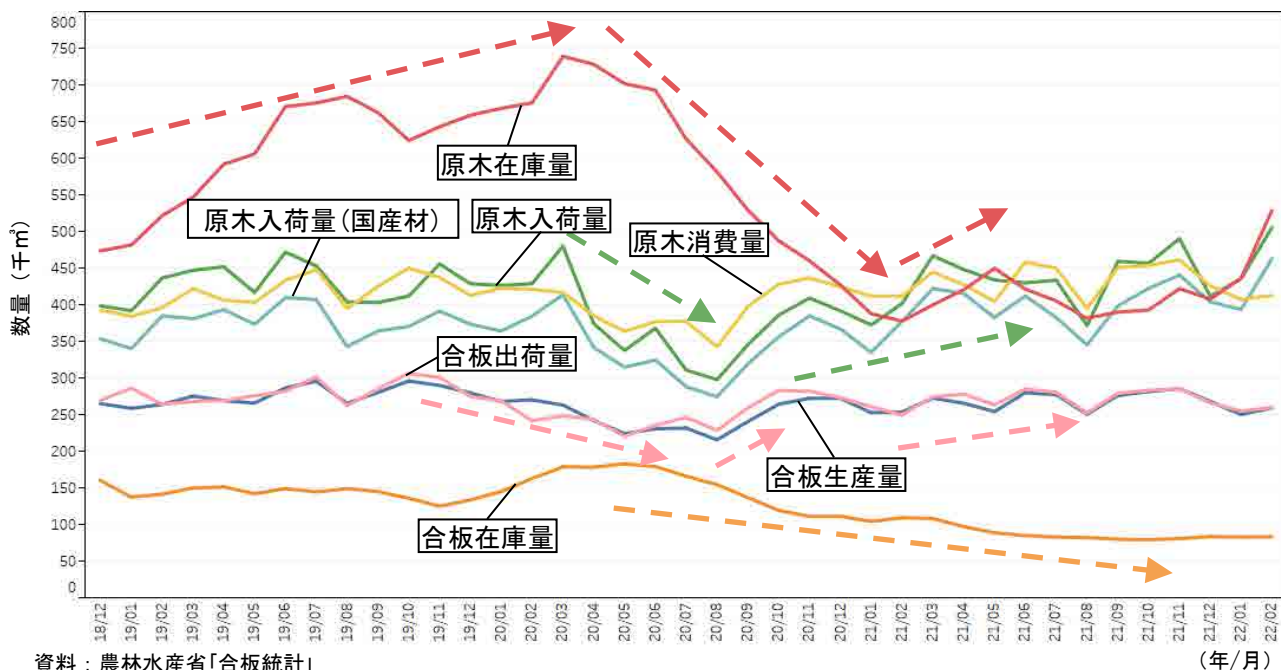
## ○製材品出荷量の月別推移（全国）



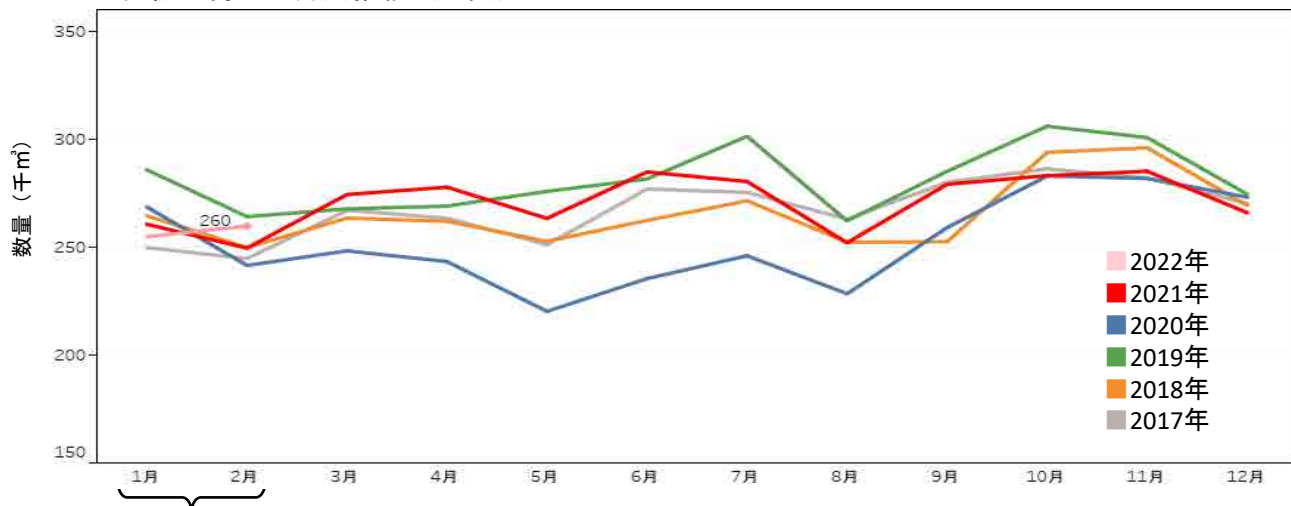
	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1～2月原木入荷量合計(千 $m^3$ )	2,666	2,622	2,808	2,715	2,441	2,630
2019年との比較*	95%	93%	—	97%	87%	94%
1～2月出荷量合計(千 $m^3$ )	1,407	1,393	1,442	1,355	1,265	1,305
2019年との比較*	98%	97%	—	94%	88%	90%

※2019年の数値を100%とした比較

- 2022年1～2月の原木の入荷量は941千 $m^3$ （2019年比114%）。在庫量は低い水準となっている。
- 同様に合板の出荷量は515千 $m^3$ （2019年比94%）、コロナ禍前の水準以下となっている。在庫量は2020年5月から減少傾向であったが、現在は低い水準で推移。



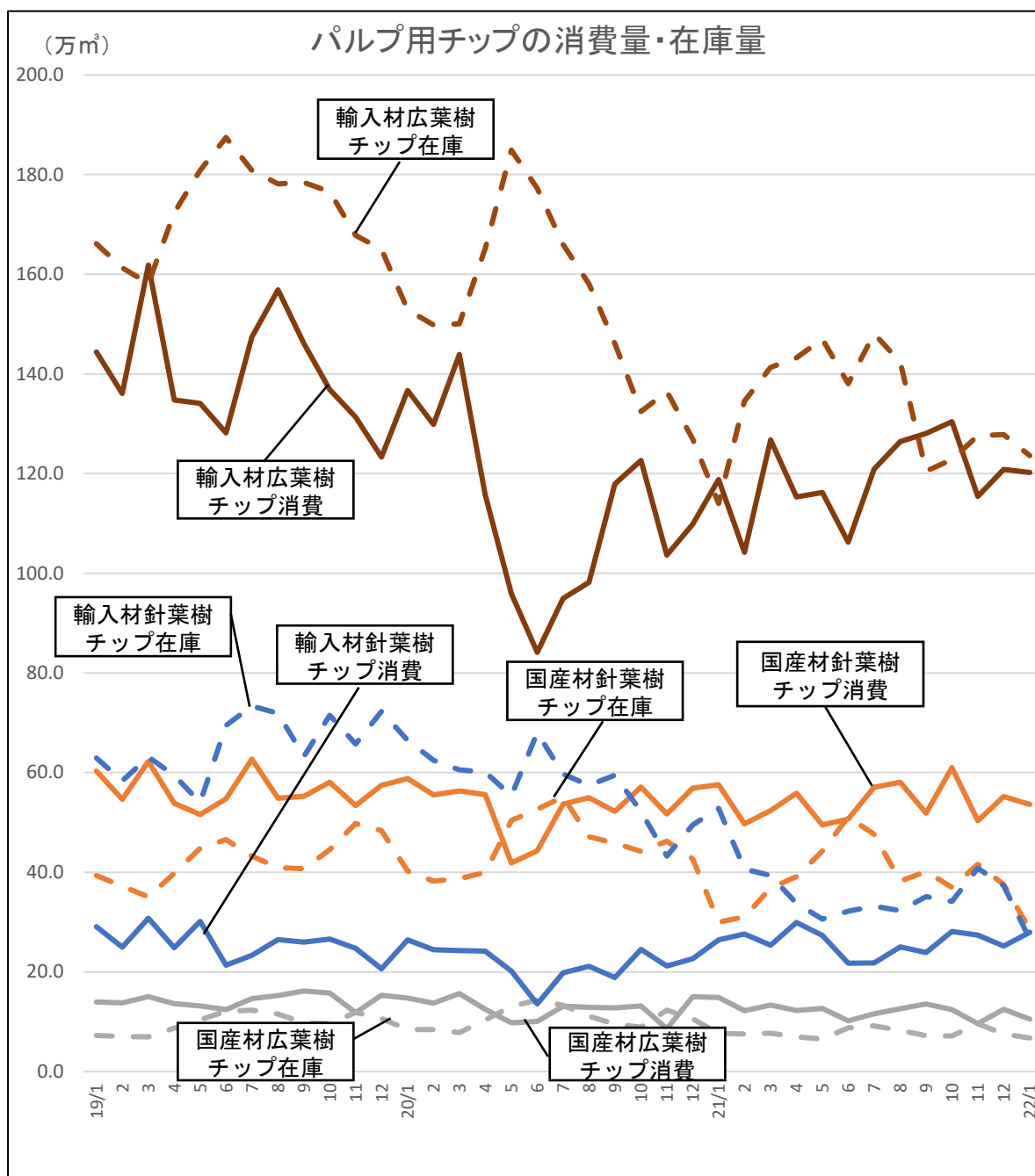
○合板出荷量の月別推移（全国）



	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1～2月原木入荷量 合計(千 $m^3$ )	664	764	828	855	774	941
2019年との比較*	80%	92%	—	103%	93%	114%
1～2月出荷量 合計(千 $m^3$ )	494	514	550	510	510	515
2019年との比較*	90%	93%	—	93%	93%	94%

※2019年の数値を100%とした比較

- パルプ用チップの消費について、輸入広葉樹チップの消費量は2020年4月から6月まで激減した。その後は回復傾向。国産針葉樹チップの消費量は、2020年5月に大きく減少したが、その後回復した。

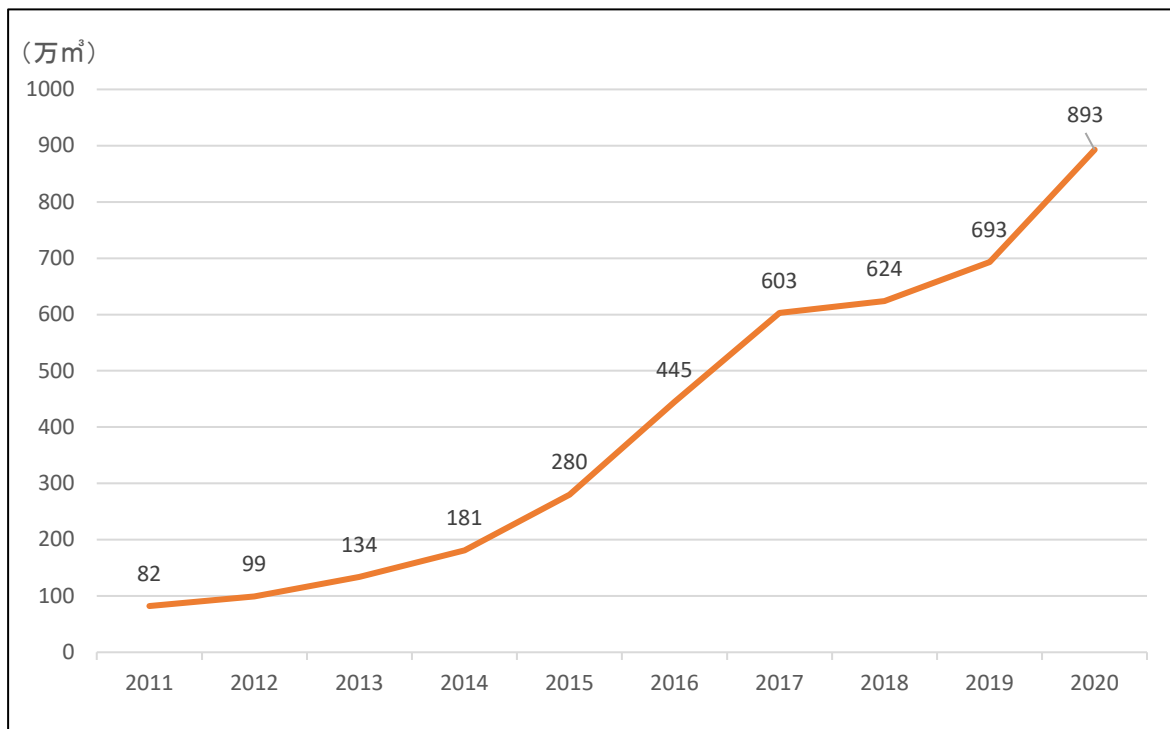


資料：経済産業省「経済産業省生産動態統計年報 紙・印刷・プラスチック製品・ゴム製品統計編」

## 木材需給情報-6 木質バイオマス燃料利用量、紙品種別生産高

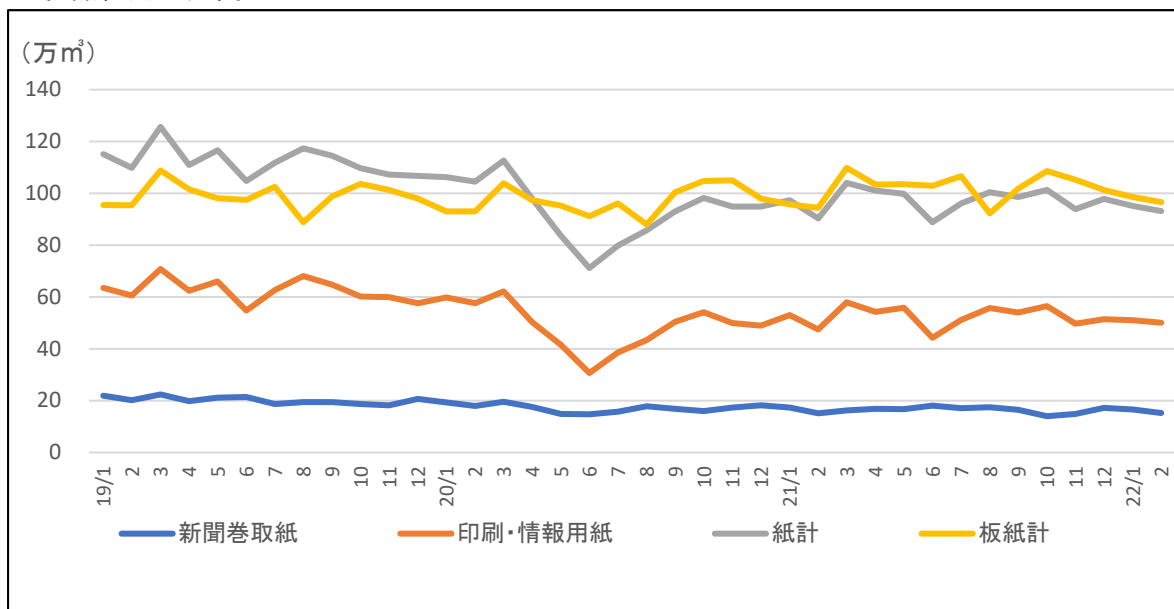
- 木質バイオマス発電用の需要増加の影響により、国内生産の燃料材利用量は一貫して増加傾向が続いている。
- 紙の生産高は2020年6月に減少したが、その後一定程度回復している。

### ○燃料材（国内生産）の利用量の推移



資料：木材利用課調べ（～平成26年）、林野庁「木材需給表」（平成27年～）

### ○紙品種別生産高



資料：経済産業省「経済産業省生産動態統計年報 紙・印刷・プラスチック製品・ゴム製品統計編」

- 令和2年の製材、合板及びチップ用材の素材生産量は1,988万m<sup>3</sup>。

単位：千m<sup>3</sup>

全 国 都道府県	計	製材用	合板等用	木材チップ用	針葉樹		広葉樹
					スギ		
全 国	19,882	11,615	4,195	4,072	18,037	11,663	1,845
北 海 道	2,850	1,455	563	832	2,314	46	536
青 森	894	318	327	249	831	701	63
岩 手	1,355	429	548	378	1,112	639	243
宮 城	576	167	256	153	530	478	46
秋 田	1,123	477	450	196	1,026	989	97
山 形	266	189	69	8	262	250	4
福 島	853	469	50	334	738	604	115
茨 城	423	347	4	72	387	294	36
栃 木	540	438	5	97	500	360	40
群 馬	208	132	37	39	203	145	5
埼 玉	63	30	0	33	38	25	25
千 葉	58	21	2	35	42	35	16
東 京	28	15	3	10	25	14	3
神 奈 川	11	9	0	2	10	6	1
新 潟	99	53	27	19	94	93	5
富 山	79	43	22	14	74	71	5
石 川	138	58	48	32	121	101	17
福 井	121	56	35	30	116	112	5
山 梨	144	22	48	74	116	31	28
長 野	466	171	202	93	453	91	13
岐 阜	364	234	67	63	355	196	9
静 岡	328	174	110	44	324	163	4
愛 知	208	103	85	20	205	104	3
三 重	274	168	63	43	267	130	7
滋 賀	59	16	18	25	50	41	9
京 都	141	48	39	54	122	87	19
大 阪	9	3	-	6	9	6	0
兵 庫	264	73	119	72	252	183	12
奈 良	107	88	4	15	107	69	0
和 歌 山	166	102	25	39	162	96	4
鳥 取	254	72	136	46	231	187	23
島 根	429	86	229	114	337	274	92
岡 山	339	283	31	25	326	99	13
広 島	295	131	49	115	219	115	76
山 口	228	123	31	74	194	141	34
徳 島	267	152	x	x	255	207	12
香 川	8	7	-	1	8	3	-
愛 媛	523	485	x	x	523	305	-
高 知	497	336	x	x	493	279	4
福 岡	177	149	1	27	164	124	13
佐 賀	113	91	1	21	100	62	13
長 崎	106	56	0	50	79	31	27
熊 本	964	754	131	79	923	687	41
大 分	1,014	818	171	25	1,004	824	10
宮 崎	1,879	1,772	40	67	1,839	1,739	40
鹿 児 島	572	391	31	150	497	426	75
沖 縄	2	1	-	1	0	-	2

資料：農林水産省「令和2年木材統計」

「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの



- 令和2年の木材生産の都道府県別木材生産の産出額の合計は1,944億円。

単位：1,000万円

都道府県	木材生産	針葉樹					広葉樹	竹材
		スギ	ヒノキ	アカマツ・クロマツ	カラマツ・エゾマツ・トドマツ			
北海道	2,793	2,318	30	-	-	2,260	475	-
青森	744	679	540	0	43	60	65	-
岩手	1,307	1,035	551	0	155	329	259	-
宮城	438	406	375	4	21	4	30	2
秋田	1,002	905	871	-	2	28	95	-
山形	245	240	228	0	2	9	5	0
福島	688	606	478	71	26	28	80	-
茨城	392	368	252	114	1	0	24	-
栃木	587	551	363	185	1	1	30	2
群馬	172	168	115	19	1	31	4	-
埼玉	45	28	18	10	0	0	17	-
千葉	41	26	21	4	-	-	12	3
東京	19	16	7	9	-	0	2	-
神奈川	11	10	5	5	-	0	1	-
新潟	103	96	96	0	0	0	6	0
富山	71	67	64	1	1	1	4	-
石川	132	115	93	6	8	1	16	0
福井	102	97	94	1	1	0	5	0
山梨	104	86	21	9	15	34	13	-
長野	463	436	59	95	32	240	17	-
岐阜	456	444	250	179	3	11	11	-
静岡	307	304	135	165	1	2	2	-
愛知	208	207	99	90	0	15	2	-
三重	320	316	131	182	0	-	4	-
滋賀	44	36	26	10	0	0	7	1
京都	116	94	66	23	0	-	17	5
大阪	5	5	3	2	0	-	0	-
兵庫	204	193	124	65	1	0	11	0
奈良	147	147	72	74	0	-	0	0
和歌山	140	134	73	61	0	-	4	2
鳥取	226	211	167	39	4	0	16	-
島根	397	321	255	52	14	0	76	-
岡山	446	435	68	363	3	-	8	3
広島	274	232	115	106	11	0	41	-
山口	230	209	140	67	2	-	20	1
徳島	281	275	214	60	1	-	6	0
香川	8	7	2	5	0	-	-	1
愛媛	550	549	260	287	2	-	-	0
高知	500	496	243	250	3	-	3	1
福岡	187	177	128	48	1	-	9	1
佐賀	125	115	67	48	0	-	9	0
長崎	100	81	30	52	-	-	18	-
熊本	1,142	1,108	739	366	3	-	26	8
大分	1,038	1,020	833	186	0	-	7	5
宮崎	1,977	1,950	1,814	131	4	-	26	-
鹿児島	548	475	405	62	1	-	58	15
沖縄	2	0	-	-	-	-	2	-
合計	19,437	17,796	10,739	3,506	364	3,055	1,541	49

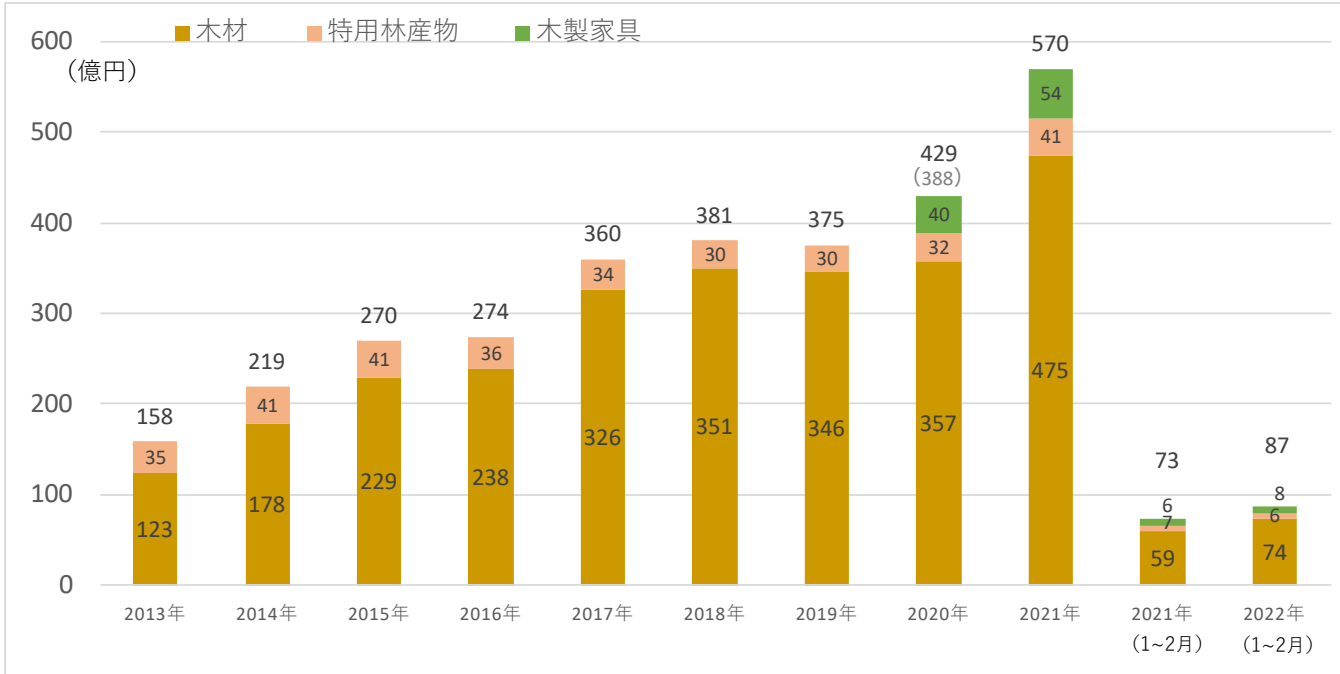
資料：農林水産省「令和2年林業産出額」

注：都道府県別産出額には、全国値には含まれる木材生産におけるパルプ工場に直接入荷されるパルプ用素材、輸出丸太及び燃料用チップ素材の産出額を含まない。

また、全国値には含まない木材生産における県外移出されたしいたけ原木の産出額を含む。

- 2022年2月の林産物の輸出額は50億円（前年同月比121%）となった。
  - 内訳としては木材が43億円（同121%）、特用林産物が3億円（同92%）、木製家具が4億円（同126%）となった。
- 2022年（1～2月）の累計は、87億円（対前年同期比120%）となった。

○林産物輸出の推移



資料:財務省貿易統計

※特用林産物のうち、きのこ類は、きのこ(はらたけ属以外)、乾しいたけ、きのこ類以外は、ロジン、植物性ろう等を計上。

※2020年の(388)は品目の見直しによる追加品目(木製家具、調整・保存処理したきのこ等)を含まない数字。

※四捨五入により、合計が合致しない場合がある。

○林産物の月別輸出額

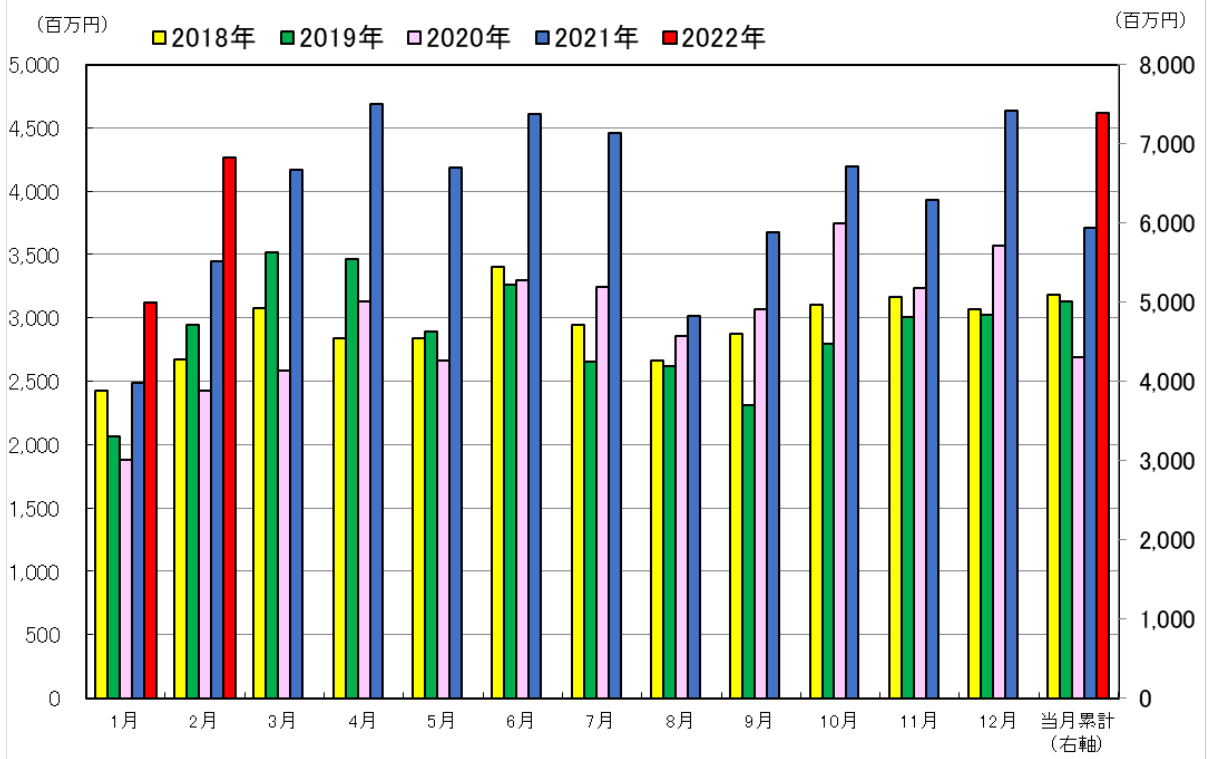
(億円)

	2021年				2022年					
	林産物	木材	特用林産物	木製家具	林産物	前年比	前々年比	木材	特用林産物	木製家具
1月	31	25	3	3	37	119%	157%	31	2	4
2月	41	34	4	3	50	121%	164%	43	3	4
3月	51	42	4	5						
4月	55	47	3	5						
5月	49	42	3	4						
6月	54	46	3	5						
7月	52	45	3	4						
8月	37	30	3	5						
9月	45	37	3	5						
10月	52	42	4	5						
11月	48	39	4	5						
12月	55	46	4	5						
2月累計	73	59	7	6	87	120%	160%	74	6	8

資料:財務省貿易統計

- 2022年2月の輸出額は42.7億円（前年同月比124%）となった。2022年（1～2月）の累計は74億円（前年同月比125%）となった。

○木材輸出額の推移（月別）



○木材輸出額の推移（主な国別・品目別）

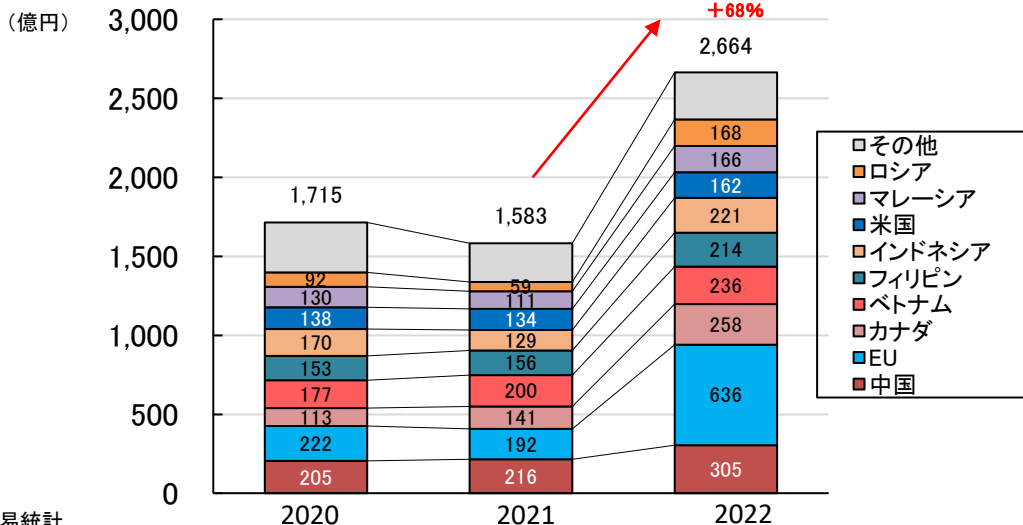
輸出先	単月 2月					累計 1～2月				
	輸出額 (百万円)	前年比 (%)	主要品目内訳(百万円) 前年比(%)			輸出額 (百万円)	前年比 (%)	主要品目内訳(百万円) 前年比(%)		
			丸太	製材	合板			丸太	製材	合板
中国	1,596	101%	1,194 92%	122 109%	22 53%	2,835	107%	2,173 104%	201 96%	39 55%
韓国	299	105%	163 115%	61 86%	5 208%	568	110%	319 110%	101 88%	7 156%
台湾	287	179%	190 208%	53 122%	0 -	455	140%	289 166%	93 86%	0 -
米国	766	231%	0 -	530 222%	0 -	1,021	162%	0 -	682 147%	0 -
フィリピン	1,039	143%	0 -	355 281%	603 105%	2,005	163%	0 -	653 304%	1,198 123%
その他	279	79%	13 22%	60 117%	14 62%	506	88%	20 27%	89 125%	14 60%
総計	4,266	124%	1,559 98%	1,181 184%	644 100%	7,390	125%	2,801 107%	1,819 154%	1,257 117%

※1月は当月実績と累計実績が同じであるため、累計実績は省略  
 ※資料：財務省貿易統計（第44類を集計）  
 ※四捨五入により、数値が合わないことがある。

- 2022年2月の木材輸入額は、前月比▲14%、前年同月比+52%の1,228億円となった。
- 国別に、前月比で見ると、EU（前年輸入額に占めるシェア14%）が▲8%、中国（同14%）が▲30%、カナダ（同12%）が▲22%、ベトナム（同10%）が▲29%、インドネシア（同8%）が▲18%、米国（同7%）が▲8%減少する一方、フィリピン（同9%）が+30%増加した。
- 前年同月比で見ると、EUが+211%、中国が+14%、カナダが+47%、フィリピンが+47%、インドネシアが+64%、米国が+13%増加する一方、ベトナムが▲14%減少した。

年	2021年 (1月～12月)	月別金額				累計金額		
		2022年 1月	2022年 2月	前月比	前年 同月比	2021年 1～2月	2022年 1～2月	前年 同期比
国名								
世界計	12,291	1,436	1,228	▲14%	+52%	1,583	2,664	+68%
E U	1,712	330	305	▲8%	+211%	192	636	+230%
（フィンランド）	557	111	106	▲4%	+226%	60	217	+264%
（スウェーデン）	399	81	64	▲22%	+191%	43	145	+236%
中 国	1,663	180	125	▲30%	+14%	216	305	+41%
カナダ	1,514	145	113	▲22%	+47%	141	258	+84%
ベトナム	1,268	138	98	▲29%	▲14%	200	236	+18%
フィリピン	1,123	93	121	+30%	+47%	156	214	+37%
インドネシア	1,029	121	99	▲18%	+64%	129	221	+71%
米 国	914	85	77	▲8%	+13%	134	162	+21%
マレーシア	769	91	75	▲17%	+43%	111	166	+49%
ロシア	634	91	77	▲15%	+149%	59	168	+184%
その他	1,664	162	136	▲16%	+18%	244	298	+22%
我が国の総輸入額	845,898	85,312	78,595	▲8%	▲26%	119,507	119,332	▲0%
我が国の総輸入額に 占める木材輸入額の割合	1.45%	1.68%	1.56%			1.32%	2.23%	

○2020～2022年の1～2月における木材輸入額



資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第44類（木材及びその製品並びに木炭）の合計（※次ページ以降に記載の品目の合計ではない）。

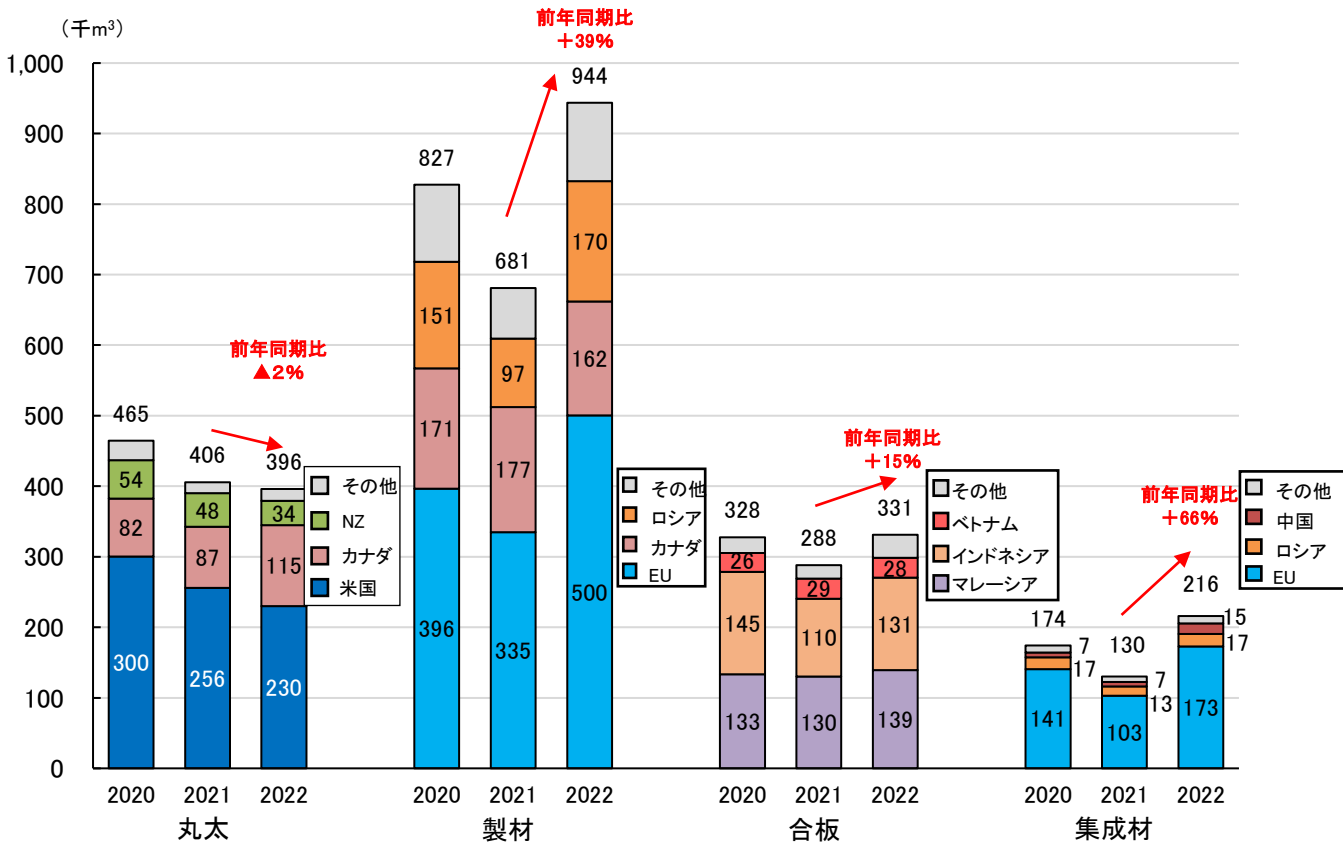
注2：EUに英国は含まない。

注3：EUは、フィンランド、スウェーデンの合計ではない。

## 林産物輸出入情報- 3 木材輸入量（累計）

- 2022年1～2月における品目別の輸入量を見ると、前年同期比で丸太が▲2%、製材が同+39%、合板が同+15%、集成材が同+66%と、軒並み増加。カナダの丸太、ロシアの製材、EUの製材・集成材、マレーシアとインドネシアの合板が増加。
- なお、2020年同期と比較すると、品目別では、丸太が同▲15%、製材が+14%、合板が同+1%、集成材が同+24%増加。

○2020～2022年の1～2月における品目別木材輸入量



資料：財務省貿易統計



## 林産物輸出入情報- 4 木材輸入量（丸太）

- 2022年2月の丸太輸入量は、前月比▲25%、前年同月比▲9%の17万m<sup>3</sup>となった。
- 国別に、前月比で見ると、米国（前年輸入量に占めるシェア57%）が▲22%、ニュージーランド（同12%）とロシア（同1%）が▲100%減少する一方、カナダ（同28%）が+21%増加した。
- 前年同月比で見ると、米国が▲31%減少する一方、カナダが+86%増加した。

（単位：千m<sup>3</sup>）

材種 国名	年 2021年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2022年 1月	2022年 2月	前月比	前年 同月比	2021年 1～2月	2022年 1～2月	前年 同期比
合計	[100%] 2,639	[100%] 226	[100%] 170	▲ 25%	▲ 9%	[100%] 406	[100%] 396	▲ 2%
米材	[86%] 2,257	[80%] 181	[96%] 164	▲ 10%	▲ 9%	[84%] 342	[87%] 345	+ 1%
米国	[57%] 1,511	[57%] 129	[59%] 101	▲ 22%	▲ 31%	[63%] 256	[58%] 230	▲ 10%
カナダ	[28%] 746	[23%] 52	[37%] 63	+ 21%	+ 86%	[21%] 87	[29%] 115	+ 32%
南洋材	[1%] 21	[1%] 3	[3%] 5	+ 88%	+ 54%	[1%] 3	[2%] 7	+ 132%
インドネシア	[0%] 0	-	-	-	-	-	-	-
マレーシア	[0%] 8	[1%] 3	[3%] 5	+ 88%	皆増	[0%] 0	[2%] 7	+ 14,218%
パプアニューギニア	[0%] 13	-	-	-	▲100%	[1%] 3	-	-
ロシア材	[1%] 35	[3%] 7	-	▲100%	▲100%	[2%] 8	[2%] 7	▲ 19%
ニュージーランド材	[12%] 306	[15%] 34	-	▲100%	-	[12%] 48	[9%] 34	▲ 28%
欧州材	[1%] 13	[0%] 1	[1%] 1	+ 99%	▲ 47%	[1%] 3	[0%] 2	▲ 49%
EU 計	[1%] 13	[0%] 1	[1%] 1	+ 94%	▲ 48%	[1%] 3	[0%] 1	▲ 50%
アフリカ材	[0%] 2	-	[0%] 0	皆増	▲ 25%	[0%] 0	[0%] 0	▲ 56%
中国	[0%] 1	[0%] 0	[0%] 0	▲ 53%	+ 139%	[0%] 0	[0%] 0	▲ 12%
その他	[0%] 3	[0%] 0	[0%] 0	▲ 17%	+ 154%	[0%] 0	[0%] 1	+ 109%

資料：財務省貿易統計

注1：丸太は輸入統計品目表第4403項の合計。

2：米材は米国、カナダより輸入された材。

3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シンガポール、ブルネイの7カ国より輸入された材。

4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

5：数量の上段の[ ]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

7：「-」は輸入実績なし等。

8：EUに英国は含まない。

9：2022年2月のエクアドルからの丸太（4403.99-990号）輸入量については、財務省に数値の確認中のため、集計からは除外している。

## 林産物輸出入情報-4 木材輸入量（製材）

- 2022年2月の製材輸入量は、前月比▲15%、前年同月比+21%の43万m<sup>3</sup>となった。
- 国別に、前月比で見ると、米国（前年輸入量に占めるシェア3%）+26%増加する一方、EU（同44%）が▲10%、カナダ（同25%）が▲15%、ロシア（同18%）が▲13%減少した。カナダは、7ヶ月連続の前月比減となった。
- 前年同月比で見ると、米国が▲12%、カナダが▲22%減少する一方、ロシアが+45%、EUが+33%増加した。

（単位：千m<sup>3</sup>）

材種 国名	年 2021年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2022年 1月	2022年 2月	前月比	前年 同月比	2021年 1～2月	2022年 1～2月	前年 同期比
合計	[100%] 4,830	[100%] 510	[100%] 434	▲15%	+21%	[100%] 681	[100%] 944	+39%
米材	[28%] 1,361	[19%] 97	[20%] 86	▲11%	▲20%	[29%] 201	[19%] 183	▲9%
米国	[3%] 135	[2%] 9	[3%] 12	+26%	▲12%	[3%] 23	[2%] 21	▲10%
カナダ	[25%] 1,226	[17%] 88	[17%] 74	▲15%	▲22%	[26%] 177	[17%] 162	▲9%
南洋材	[1%] 56	[1%] 6	[1%] 5	▲19%	+9%	[1%] 10	[1%] 11	+15%
インドネシア	[0%] 20	[0%] 2	[0%] 2	▲22%	+6%	[0%] 3	[0%] 4	+13%
マレーシア	[1%] 34	[1%] 4	[1%] 3	▲15%	+16%	[1%] 6	[1%] 7	+18%
パプアニューギニア	[0%] 0	[0%] 0	-	▲100%	-	-	[0%] 0	皆増
ロシア材	[18%] 846	[18%] 91	[18%] 79	▲13%	+45%	[14%] 97	[18%] 170	+75%
ニュージーランド材	[1%] 57	[1%] 5	[1%] 4	▲32%	+14%	[1%] 7	[1%] 9	+23%
チリ材	[5%] 226	[7%] 35	[2%] 10	▲70%	+269%	[3%] 18	[5%] 45	+144%
欧州材	[46%] 2,210	[53%] 269	[56%] 245	▲9%	+34%	[50%] 341	[54%] 514	+50%
EU計	[44%] 2,148	[52%] 263	[55%] 238	▲10%	+33%	[49%] 335	[53%] 500	+49%
(スウェーデン)	[16%] 756	[19%] 97	[19%] 81	▲17%	+31%	[18%] 119	[19%] 178	+49%
(フィンランド)	[15%] 729	[17%] 85	[17%] 74	▲12%	+16%	[17%] 118	[17%] 159	+35%
アフリカ材	[0%] 2	[0%] 0	[0%] 0	▲29%	▲48%	[0%] 0	[0%] 0	▲31%
中国	[1%] 64	[1%] 6	[1%] 3	▲42%	+77%	[1%] 4	[1%] 9	+123%
その他	[0%] 9	[0%] 1	[0%] 1	▲10%	+17%	[0%] 1	[0%] 2	+27%

資料：財務省貿易統計

注1：製材は輸入統計品目表第4407項の合計。

2：米材は米国、カナダより輸入された材。

3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シンガポール、ブルイの7カ国より輸入された材。

4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

5：数量の上段の〔 〕書きは、総輸入量に占める各国の割合。

6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

7：「-」は輸入実績なし等。

8：EUに英国は含まない。

- 2022年2月の合板輸入量は、前月比▲23%、前年同月比+15%の15万m<sup>3</sup>となった。
- 国別に、前月比で見ると、マレーシア（前年輸入量に占めるシェア43%）が▲23%、インドネシア（同38%）が▲23%など、軒並み減少した。
- 前年同月比で見ると、マレーシアが+14%、インドネシアが+12%増加した。

国名	年	月別数量					累計数量			(単位:千m <sup>3</sup> )
		2021年 (1月~ 12月)	2022年 1月	2022年 2月	前年同月比		2021年 1~2月	2022年 1~2月	前年 同期比	
					前月比	前年 同月比				
総輸入量	[100%] 1,865	[100%] 187	[100%] 145	▲23%	+15%	[100%] 288	[100%] 331	+15%		
マレーシア	[43%] 795	[42%] 79	[42%] 61	▲23%	+14%	[45%] 130	[42%] 139	+7%		
インドネシア	[38%] 715	[40%] 74	[39%] 57	▲23%	+12%	[38%] 110	[39%] 131	+19%		
ベトナム	[11%] 207	[9%] 17	[8%] 11	▲32%	▲12%	[10%] 29	[9%] 28	▲2%		
中国	[7%] 133	[8%] 16	[10%] 14	▲11%	+110%	[6%] 16	[9%] 30	+84%		
EU	[0%] 6	[0%] 1	[0%] 1	▲17%	▲25%	[0%] 1	[0%] 1	+7%		
その他	[0%] 9	[1%] 1	[1%] 1	▲1%	+20%	[1%] 2	[1%] 2	+22%		

注1：輸入統計品目表第4412.10号111~299、第4412.31号、第4412.33号、第4412.34号、第4412.39号の合計。

2：数量の上段の[ ]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

4：EUに英国は含まない。

- 2022年2月の木材チップ輸入量は、前月比▲18%、前年同月比▲21%の80万トンとなった。
- 国別に、前月比で見ると、ベトナム（前年輸入量に占めるシェア38%）が▲29%、オーストラリア（同18%）が▲54%、チリ（同10%）が▲14%など、軒並み減少した。
- 前年同月比で見ると、ベトナムが▲40%、オーストラリアが▲37%減少する一方、チリが+4%増加した。

国名	年	月別数量					累計数量			(単位:千トン)
		2021年 (1月~ 12月)	2022年 1月	2022年 2月	前年同月比		2021年 1~2月	2022年 1~2月	前年 同期比	
					前月比	前年 同月比				
総輸入量	[100%] 10,996	[100%] 982	[100%] 802	▲18%	▲21%	1,891	1,784	▲6%		
ベトナム	[38%] 4,132	[41%] 402	[36%] 285	▲29%	▲40%	724	687	▲5%		
オーストラリア	[18%] 1,947	[21%] 202	[12%] 92	▲54%	▲37%	411	294	▲28%		
チリ	[10%] 1,060	[12%] 118	[13%] 101	▲14%	+4%	180	220	+22%		
南アフリカ共和国	[9%] 1,026	[6%] 61	[8%] 67	+9%	▲23%	145	128	▲12%		
米国	[7%] 811	[6%] 63	[8%] 61	▲2%	+11%	137	124	▲9%		
その他	[18%] 2,020	[14%] 136	[24%] 195	+44%	+24%	294	332	+13%		

注1：輸入統計品目表第4401.21号と第4401.22号の合計。

2：数量の上段の[ ]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

資料：財務省貿易統計

# 木材輸入量（集成材）

- 2022年2月の集成材輸入量は、前月比▲9%、前年同月比+60%の10万m<sup>3</sup>となった。構造用集成材に限ると、前月比▲10%、前年同月比+62%の9万m<sup>3</sup>となった。
- 国別に、前月比で見ると、EU（前年輸入量に占めるシェア76%）が▲7%、中国（同10%）が▲46%、ロシア（同9%）が▲6%など、軒並み減少した。
- EUの国別内訳では、ルーマニア（同15%）が+11%増加する一方、フィンランド（同36%）が▲3%、オーストリア（同13%）が▲23%減少した。
- 前年同月比で見ると、EUが+67%、中国が+43%、ロシアが+26%増加した。

（単位：千m<sup>3</sup>）

年 国名	2021年 (1月~12月)	月別数量				累計数量		
		2022年 1月	2022年 2月	前月比	前年 同月比	2021年 1 ~2月	2022年 1~2月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 967	[100%] 113	[100%] 103	▲ 9%	+ 60%	[100%] 130	[100%] 216	+ 66%
うち 構造用集成材	[100%] 832	[100%] 101	[100%] 91	▲ 10%	+ 62%	[100%] 114	[100%] 192	+ 68%
E U	[76%] 733	[79%] 90	[81%] 83	▲ 7%	+ 67%	[79%] 103	[80%] 173	+ 68%
うち 構造用集成材	[85%] 709	[86%] 87	[89%] 81	▲ 7%	+ 67%	[88%] 100	[87%] 167	+ 68%
フィンランド	[36%] 349	[36%] 41	[38%] 40	▲ 3%	+ 54%	[35%] 46	[37%] 80	+ 73%
うち 構造用集成材	[41%] 345	[40%] 40	[43%] 39	▲ 2%	+ 58%	[40%] 45	[41%] 79	+ 76%
ルーマニア	[15%] 148	[14%] 16	[18%] 18	+ 11%	+ 161%	[15%] 19	[16%] 34	+ 79%
うち 構造用集成材	[17%] 139	[15%] 15	[18%] 16	+ 11%	+ 155%	[16%] 18	[16%] 31	+ 75%
オーストリア	[13%] 126	[12%] 14	[10%] 11	▲ 23%	+ 23%	[16%] 21	[11%] 25	+ 19%
うち 構造用集成材	[14%] 116	[13%] 13	[11%] 10	▲ 25%	+ 21%	[17%] 20	[12%] 23	+ 16%
中国	[10%] 93	[9%] 10	[5%] 5	▲ 46%	+ 43%	[5%] 7	[7%] 15	+ 129%
うち 構造用集成材	[6%] 52	[6%] 6	[3%] 3	▲ 51%	+ 75%	[3%] 3	[5%] 9	+ 178%
ロシア	[9%] 84	[0%] 9	[8%] 8	▲ 6%	+ 26%	[10%] 13	[8%] 17	+ 35%
うち 構造用集成材	[9%] 71	[8%] 8	[8%] 7	▲ 10%	+ 15%	[10%] 11	[8%] 15	+ 37%
その他	[6%] 57	[4%] 5	[6%] 6	+ 25%	+ 54%	[6%] 8	[5%] 11	+ 35%
うち 構造用集成材	[0%] 0	[0%] 0	-	▲100%	▲100%	[0%] 0	[0%] 0	+ 194%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.10号910、第4412.51号100、第4412.52号100、第4412.91号100、第4412.92号100、第4412.99号110、190と、第4418.81号（構造用集成材）の合計。

2：数量の上段の[ ]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

4：「-」は輸入実績なし等。

5：EUに英国は含まない。

6：EUはフィンランド、ルーマニア、オーストリアの合計ではない。

- 2022年2月の木質ペレット輸入量は、前月比▲33%、前年同月比▲14%の21万トンとなった。
- 国別に、前月比で見ると、ベトナム（前年輸入量に占めるシェア53%）が▲42%、カナダ（同34%）が▲49%減少した。
- 前年同月比で見ると、ベトナムが+0%増加する一方、カナダが▲48%減少した。

(単位:千トン)

国名	年 2021年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2022年 1月	2022年 2月	前月比	前年 同月比	2021年 1 ～2月	2022年 1～2月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 3,117	[100%] 321	[100%] 214	▲ 33%	▲ 14%	[100%] 489	[100%] 535	+ 9%
ベトナム	[53%] 1,647	[58%] 185	[50%] 107	▲ 42%	+ 0%	[53%] 258	[55%] 292	+ 13%
カナダ	[34%] 1,058	[37%] 118	[28%] 60	▲ 49%	▲ 48%	[33%] 159	[33%] 177	+ 11%
マレーシア	[5%] 156	[3%] 10	[6%] 12	+ 14%	▲ 56%	[9%] 44	[4%] 22	▲ 49%
その他	[8%] 256	[2%] 8	[17%] 36	+ 347%	+ 10,401%	[6%] 28	[8%] 44	+ 57%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4401.31号000を集計。

2：数量の上段の[ ]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

4：「-」は輸入実績なし等。

- 2022年2月のLVL輸入量は、前月比▲39%の3.2万m<sup>3</sup>となった。
- 国別に、前月比で見ると、中国が▲51%減少する一方、ベトナムが+9%増加した。

(単位:千m<sup>3</sup>)

国名	年 2021年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2022年 1月	2022年 2月	前月比	前年 同月比	2021年 1～2月	2022年 1～2月	前年 同期比
総輸入量		[100%] 53	[100%] 32	▲ 39%		[100%] 85		
中国		[83%] 44	[67%] 22	▲ 51%		[77%] 66		
ベトナム		[14%] 7	[24%] 8	+ 9%		[18%] 15		
インドネシア				+ 123%				
その他				▲ 8%				

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.41号000、4412.42号000、4412.49号を集計。

2：LVLは、HSコードの改定に伴い、2022年1月1日より集計可能となったため、2021年以前のデータは存在しない。

3：数量の上段の[ ]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

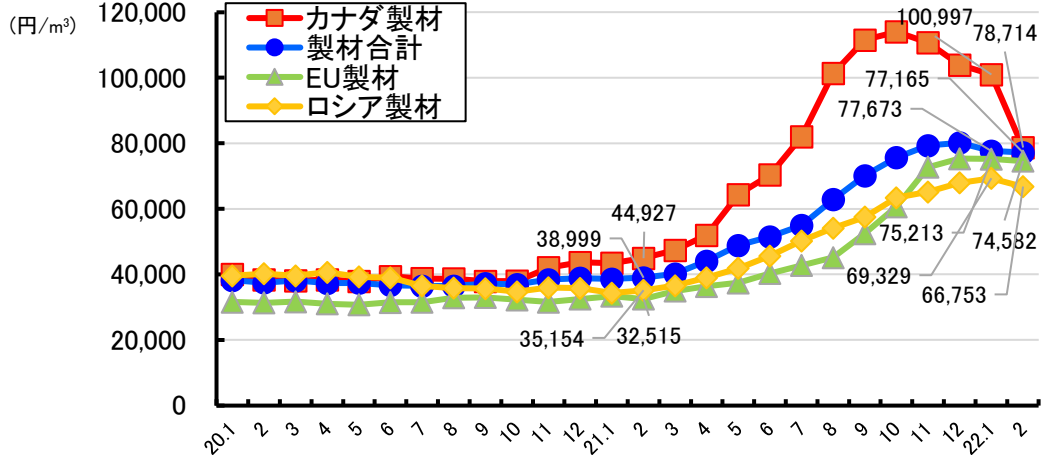
4：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

5：「-」は輸入実績なし等。

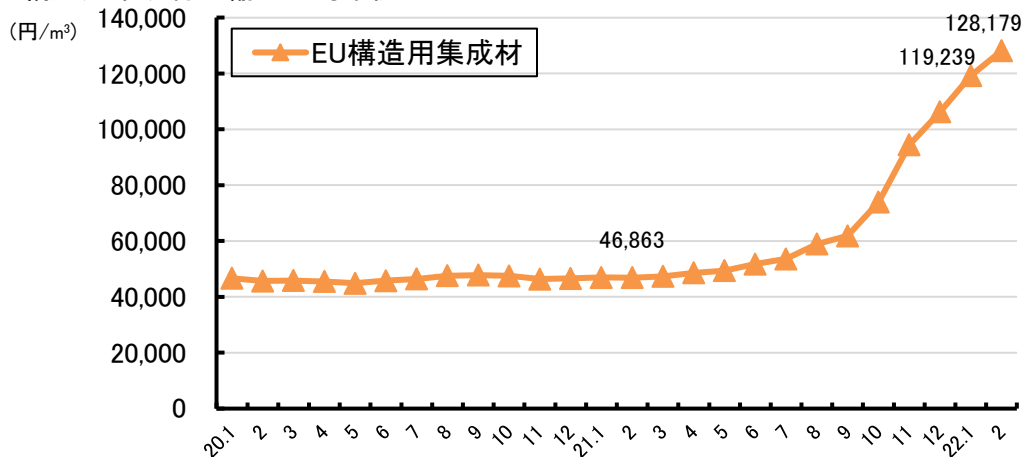


- 2022年2月の製材輸入平均単価（総輸入額／総輸入量）は、前月比▲1%減の77,165円/m<sup>3</sup>（前年同月比+98%増）。うち、カナダの製材は、前月比▲22%減の78,714円/m<sup>3</sup>（前年同月比+75%増）、EUの製材は、前月比▲1%減の74,582円/m<sup>3</sup>（前年同月比+129%増）、ロシアの製材は、前月比▲4%減の66,753円/m<sup>3</sup>（前年同月比+90%増）。
- 同月のEUからの構造用集成材輸入平均単価は、前月比+7%増の128,179円/m<sup>3</sup>（前年同月比+174%増）。
- 同月の合板輸入平均単価は、前月比▲1%減の82,179円/m<sup>3</sup>（前年同月比+53%増）。

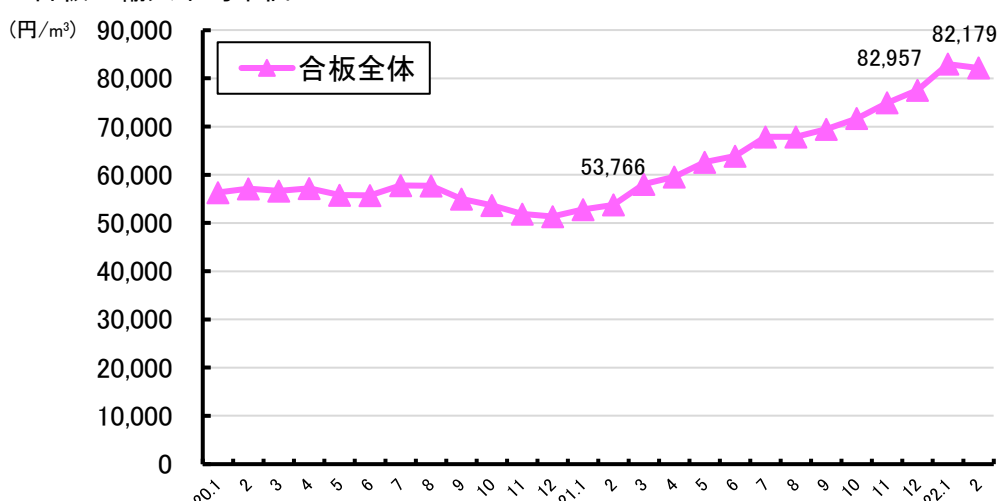
○製材の輸入平均単価



○構造用集成材の輸入平均単価



○合板の輸入平均単価



注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

資料：財務省貿易統計

- 2020年の食用きのこ類の生産量は46万2,277tで、前年に比べ6,588t（1.4%）増加した。
- たけのこの生産量は2万6,449tで、前年に比べ4,164t（18.7%）増加した。
- 木炭の生産量は1万2,925tで、前年に比べ1,468t（10.2%）減少した。

## 〇きのこ類

単位：t

年次	品目	きのこ類													
		しいたけ計	乾しいたけ	乾しいたけ (生換算値)	生しいたけ	きのこ類		なめこ	えのきたけ	ひらたけ	ぶなしめじ	まいたけ	エリンギ	きくらげ類	まつたけ
						原木栽培	菌床栽培								
2011	平成23	97,125	3,696	25,871	71,254	10,735	60,519	25,426	143,189	2,082	118,006	44,453	38,055	643	36
2012	24	92,414	3,705	25,938	66,476	8,426	58,050	25,816	134,097	1,883	122,276	43,251	38,163	819	16
2013	25	92,437	3,499	24,491	67,946	7,707	60,239	23,383	133,647	2,290	117,363	45,453	40,200	765	38
2014	26	89,093	3,175	22,222	66,872	7,437	59,435	21,796	135,919	2,327	115,751	49,541	39,645	894	42
2015	27	86,284	2,631	18,415	67,869	7,611	60,258	22,897	131,683	3,263	116,152	48,852	39,692	1,182	71
2016	28	88,241	2,735	19,141	69,100	7,324	61,778	22,935	133,297	3,449	116,271	48,523	40,475	1,278	69
2017	29	86,767	2,544	17,807	68,961	6,393	62,568	22,946	135,615	3,828	117,712	47,728	39,088	1,710	18
2018	30	88,196	2,635	18,442	69,754	5,965	63,789	22,809	140,038	4,001	117,916	49,670	39,413	2,309	56
2019	令和元	87,971	2,414	16,901	71,071	5,914	65,157	23,285	128,974	3,862	118,597	51,108	37,635	2,315	14
2020	2	86,394	2,302	16,115	70,280	5,396	64,884	22,835	127,914	3,824	122,802	54,993	38,500	3,132	32

注：まつたけの昭和47年までの生産量は、『農林省統計表』による。

## 〇その他食品

単位：t

年次	品目	その他食用		
		くり	たけのこ	わさび (根茎+葉柄)
2011	平成23	19,100	32,217	2,703
2012	24	20,900	39,244	2,670
2013	25	21,000	24,203	2,381
2014	26	21,400	36,364	2,429
2015	27	16,300	28,980	2,213
2016	28	16,500	35,592	2,266
2017	29	18,700	23,582	2,214
2018	30	16,500	25,364	2,080
2019	令和元	15,700	22,285	1,973
2020	2	16,900	26,449	2,017

注：くりの平成22年～令和2年の生産量は、農林水産省大臣官房統計部『果樹生産出荷統計』、『令和2年西洋なし、かき、くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量』による。

## 〇非食品

年次	品目	非食用																
		生うるし	もろう	竹材	桐材	木炭	竹炭	オガ炭	オガライト	薪	木質粒状燃料	つばき油	しきみ	さかき	煉炭	豆炭	木酢液	竹酢液
		kg	t	千束	m	t	t	t	t	層積m	t	kl	千本、t	千本、t	t	t	kl	kl
2011	平成23	1,345	16	1,181	631	22,124	1,058	8,044	1,225	87,760	78,258	80	2,214	832	11,160	11,567	2,141	287
2012	24	1,438	18	1,199	589	22,646	1,002	6,615	1,051	62,071	98,184	44	2,176	860	10,840	11,567	2,136	242
2013	25	1,045	24	1,196	647	21,409	1,119	7,060	435	74,683	110,092	36	1,960	854	7,446	8,831	2,134	232
2014	26	1,003	28	1,178	669	20,281	599	6,869	318	84,659	126,035	50	1,750	832	7,841	10,742	2,100	213
2015	27	1,182	19	1,235	599	17,723	499	7,643	261	72,493	119,570	47	1,892	1,016	6,104	8,235	2,497	185
2016	28	1,294	24	1,272	492	16,769	411	6,553	185	82,584	120,162	70	1,875	1,091	5,123	7,262	2,774	203
2017	29	1,434	15	1,196	465	15,942	526	6,628	88	82,839	126,532	61	1,881	945	6,615	7,306	2,410	193
2018	30	1,845	41	1,143	404	14,699	534	6,479	79	76,659	131,401	45	1,586	811	5,936	6,846	2,450	197
2019	令和元	1,997	26	1,071	264	14,393	447	6,481	66	73,739	147,321	40	1,524	935	4,728	6,093	2,087	193
2020	2	2,051	21	1,030	200	12,925	451	6,363	31	83,536	148,726	42	1,672	866	4,054	5,735	1,743	151

注：1 木炭、薪の昭和47年までの生産量は『農林省統計表』による。  
 2 木炭は平成3年から粉炭を含み、平成9年から竹炭を除く。  
 3 煉炭、豆炭の生産量は日本煉炭工業会調べによる。  
 4 しきみ、さかきの単位を平成22年より千本からtに変更した。

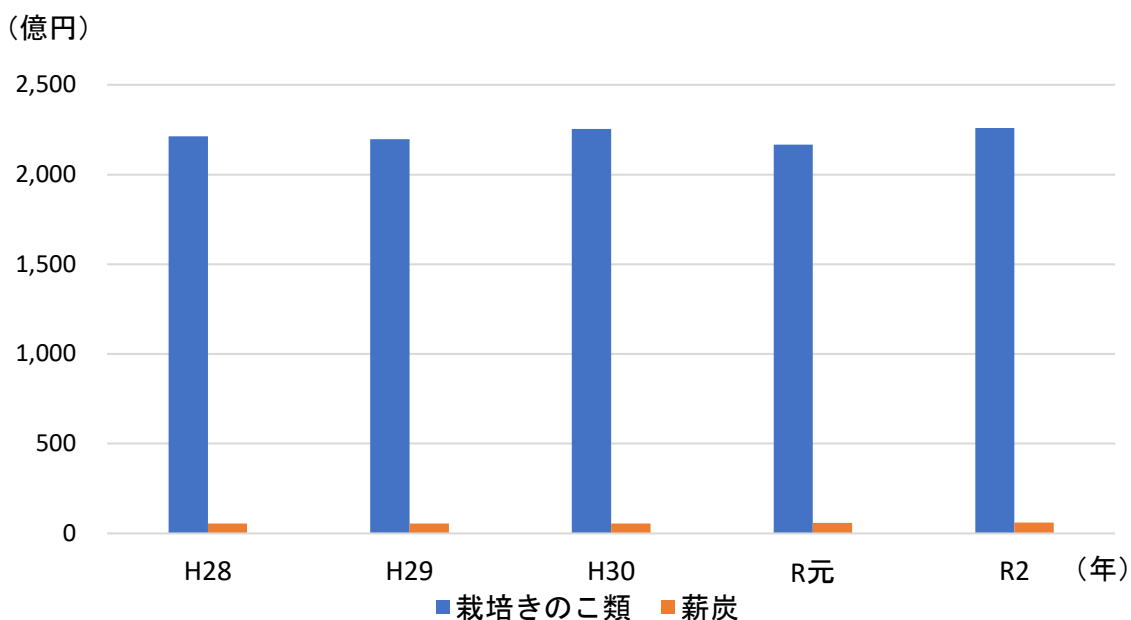
資料：特用林産基礎資料

- 令和2年のきのご類の林業産出額は、前年に比べ93億円増加し、2,259.6億円（対前年比4.3%増加）となった。
- 薪炭の林業産出額は、前年に比べ1.5億円増加し、59.6億円（対前年比2.6%増加）となった。

（単位：億円）

	H28	H 29	H30	R元	R 2
栽培きのご類	2,213.9	2,197.6	2,253.7	2,166.7	2,259.6
薪炭	54.9	54.4	55.4	58.1	59.6

資料：農林水産省「令和2年林業産出額」



- 令和2年のきのこ類の輸出量は47トン（対前年比61.5%減少）、輸入量は29,958トン（対前年比8.9%減少）。
- 令和2年の木炭の輸出量は439トン（対前年比4.6%減少）、輸入量は79,739トン（対前年比44.6%減少）。

品目	単位	H28		H29		H30		R元		R2	
		輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量
乾しいたけ	トン	30	5,134	26	5,050	24	4,998	33	4,869	33	4,354
生しいたけ	トン	…	2,015	…	2,108	…	1,942	…	1,835	…	1,785
なめこ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
えのきたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ひらたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ぶなしめじ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
まいたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
エリンギ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きくらげ類	トン	66	24,112	28	24,735	46	26,696	89	25,320	14	23,190
まつたけ	トン	…	981	…	787	…	798	…	849	…	629
くり	トン	…	10,500	…	10,837	…	9,781	…	9,019	…	7,371
くるみ	トン	…	51,450	…	57,536	…	56,389	…	52,236	…	56,478
たけのこ	トン	…	168,578	…	172,499	…	167,868	…	157,296	…	142,544
ねまがりたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
わさび	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
おうれん	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きはだ皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
木ろう	トン	8	…	14	…	3	19	7	10	4	9
生うるし	kg	…	43,324	…	40,925	…	35,879	…	36,254	…	30,165
つばき油	kl	…	314	…	154	…	177	…	180	…	220
竹皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹材	千束	0	256	…	244	1	251	0	215	0	194
桐材	m <sup>3</sup>	…	11,707	…	12,527	…	10,750	…	10,099	…	9,726
木炭	トン	616	146,538	521	141,662	442	144,462	460	143,953	439	79,739
竹炭	トン	1	7,689	…	8,061	…	8,744	…	9,414	12	7,605
木酢液	kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹酢液	kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
薪	層積m <sup>3</sup>	1	1	753	351	833	476	788	1,830	468	2,326
オガライト	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
オガ炭	トン	…	56,525	…	56,135	…	53,679	…	54,183	…	44,499
煉炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
豆炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…

資料：特用林産基礎資料

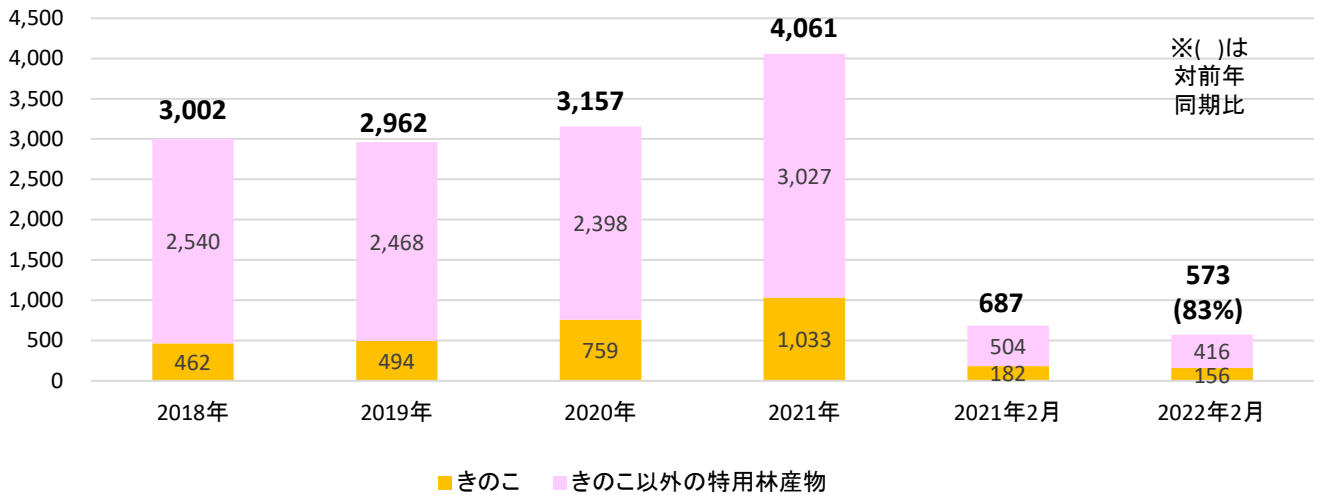
「…」は事実不詳又は調査を欠くもの。

# 特用林産物の輸出額①

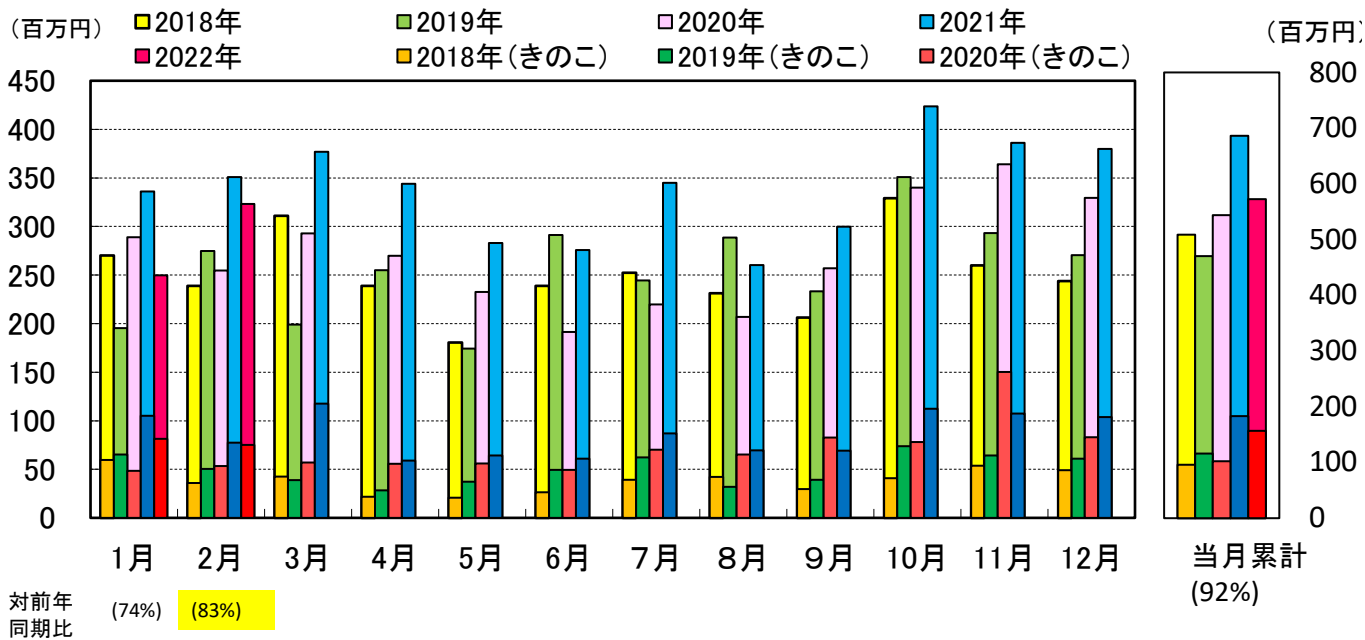
- 2月末までの特用林産物輸出額は573百万円（前年同期比83%）となった。  
内訳としては、きのこ（乾しいたけ含む）は、156百万円（対前年同期比86%）、きのこ以外は、416百万円（対前年同期比83%）となった。
- 2月の輸出額は323百万円（対前年同月比92%）となった。  
内訳としては、きのこ（乾しいたけ含む）は75百万円（対前年同月比97%）、きのこ以外の特用林産物は248百万円（対前年同月比91%）となった。

○特用林産物輸出額全体の推移（累計）

（百万円）



○特用林産物輸出額全体の推移（月別）



資料：財務省貿易統計

※生鮮きのこ、乾しいたけのほか、ロジン、植物性ろう等を含み、木質ペレット、チップ、薪、木炭は含まず。

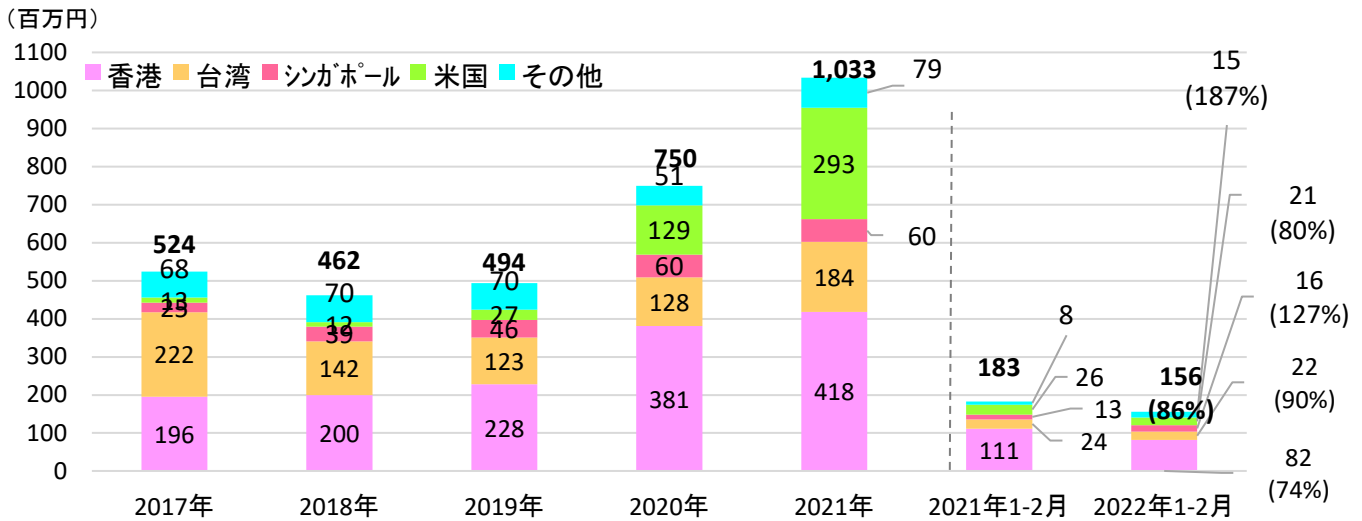
※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ、しいたけ以外の乾燥きのこを計上した。



## 特用林産物の輸出額②

- きのこの2月末迄の輸出額は156百万円で、対前年同期比86%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比74%、台湾が90%、シンガポールが127%、米国が80%となっている。
- 輸出量で見ると2月末迄の合計は231トンで、対前年同期比100%となっている。主要な輸出先では、香港が対前年同期比84%、台湾が109%、シンガポールが117%、米国が94%となっている。

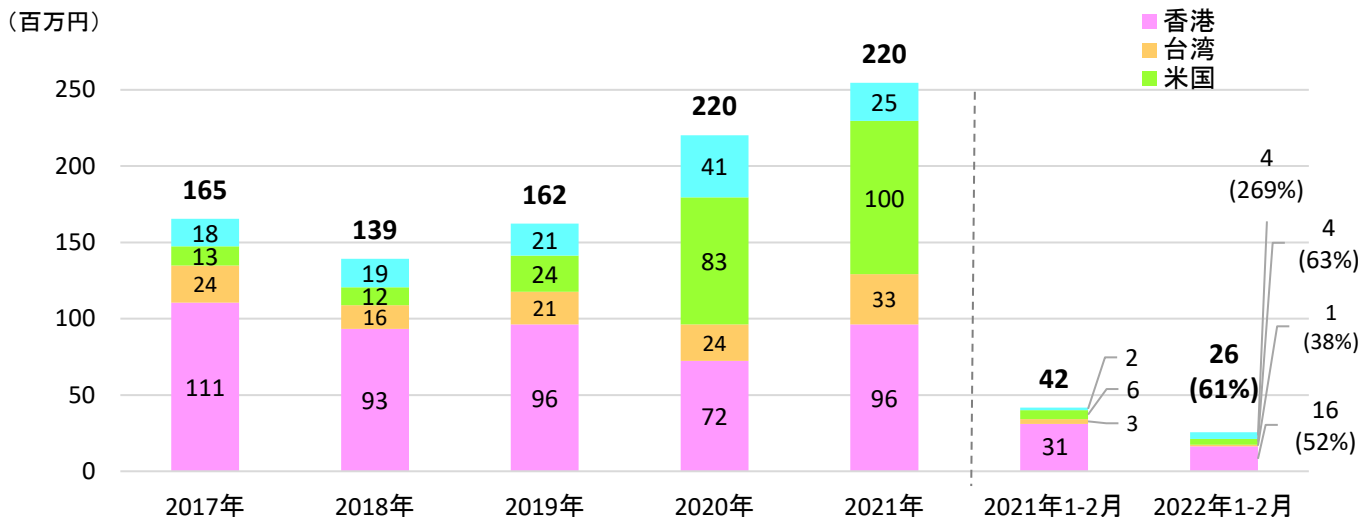
○きのこ（乾しいたけ含む）輸出額の推移（累計）



※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ、しいたけ以外の乾燥きのこを計上した。

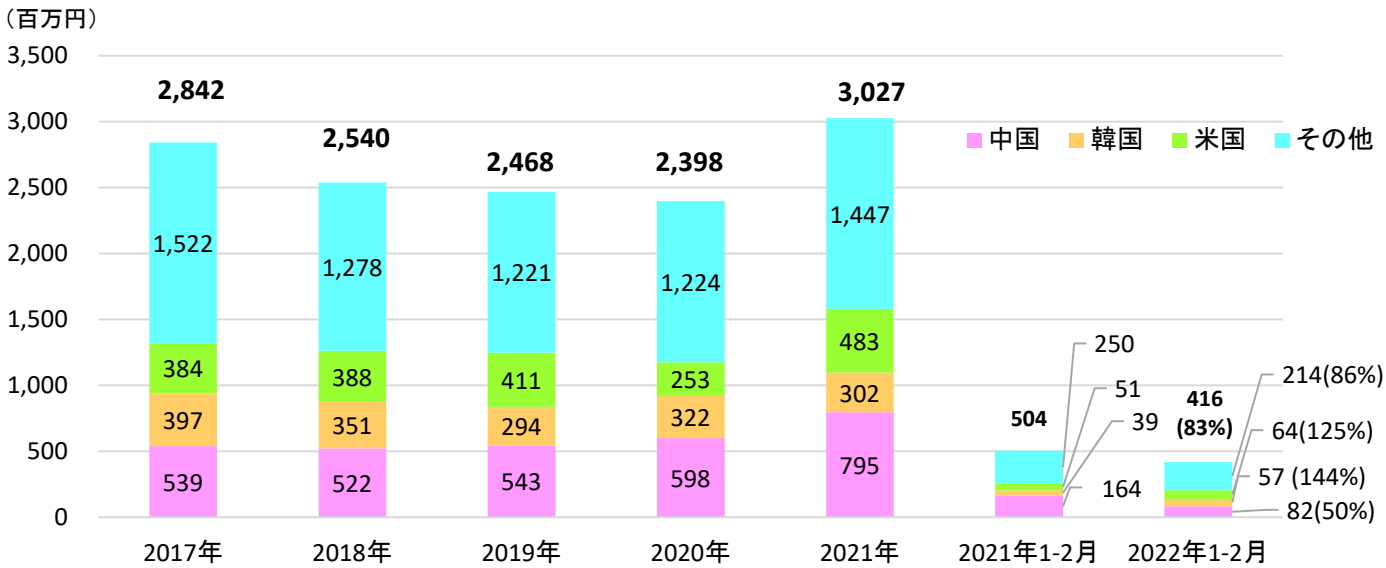
- 乾しいたけの2月末迄の輸出額は26百万円で、対前年同期比61%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比52%、台湾は38%、米国は63%となっている。
- 輸出量で見ると2月末迄の合計は4トンで、対前年同期比58%となっている。主要な輸出先では、対前年同期比は台湾が59%、米国が184%となっている。

○乾しいたけ輸出額の推移（累計）



- きのこ以外の特用林産物の2月末迄の輸出額は416百万円で、対前年同期比83%となっている。国別には、中国が対前年同期比50%、韓国が144%、米国が125%となっている。取引額の大きい品目では、ロジン（松脂）が対前年同期比77%、植物性ろうが45%、テルペン油が166%となっている。
- 輸出量で見ると2月末迄の合計は381トンで、対前年同期比90%となっている。主要な輸出先では、中国が対前年同期比66%、韓国が117%、米国が114%となっている。

○きのこ以外の特用林産物の輸出額の推移（累計）



資料：財務省貿易統計

- 令和元年のきのこ類の卸売量は、237,224トン（前年比3.3%減少）。
- 令和元年のきのこ類の卸売価額は、103,897,522千円（前年比4.9%減少）。
- 令和元年のきのこ類の卸売価格は、全ての品目において前年よりも下がった。

きのこ類の卸売量

単位：トン

	H27	H28	H29	H30	R元
生しいたけ	47,862	47,880	48,399	49,391	49,121
なめこ	16,004	15,993	15,549	16,143	16,193
えのきだけ	105,894	111,255	117,251	111,238	106,291
しめじ	75,413	75,164	72,518	68,505	65,619
合計	245,173	250,292	253,717	245,277	237,224

きのこ類の卸売価額

単位：千円

	H27	H28	H29	H30	R元
生しいたけ	45,403,729	45,972,664	46,171,290	44,690,633	43,515,380
なめこ	6,700,263	7,049,789	6,914,944	7,348,774	7,248,066
えのきだけ	27,678,422	27,160,745	25,534,311	26,329,886	24,221,698
しめじ	34,152,193	32,380,595	31,033,202	30,829,573	28,912,378
合計	113,934,607	112,563,793	109,653,747	109,198,866	103,897,522

きのこ類の卸売価格

単位：円/kg

	H27	H28	H29	H30	R元
生しいたけ	949	960	954	905	886
なめこ	419	441	445	455	448
えのきだけ	261	244	218	237	228
しめじ	453	431	428	450	441

資料：青果物卸売市場調査

## セミナー・イベント情報

林野庁が関係（主催・後援等）する各種セミナー・イベントの情報をご紹介します。

### ■ 4月中旬以降の開催情報

イベント名	開催日時	会場	イベント概要
第4回日本伐木チャンピオンシップ (第4回JLC)	5月21日(土) 予選会 5月22日(日) 本線	モヤヒルズ (青森県青森市)	林業技術及び安全作業意識の向上、林業の社会的地位向上、林業関係者・NPO等の森づくりへの積極的な参加、新規林業就業者数の拡大等を目的として開催します。 主催：全国森林組合連合会 詳細： <a href="http://www.ringyou-goods.net/jlc/">http://www.ringyou-goods.net/jlc/</a>
第50回全国林業後継者大会しが2022	6月4日(土)	多賀町中央公民館(多賀結いの森)	第72回全国植樹祭関連行事として、全国の森林・林業関係者が一堂に会し、森林から受けとる多様な恩恵や魅力と、未来につなげるもりづくりについて語り合い、豊かな森林をみんなで次世代に引き継いでいく想いを全国に発信するために開催します。 主催：第50回全国林業後継者大会滋賀県実行委員会 詳細： <a href="https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/shinrinhozen/323819.html">https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/shinrinhozen/323819.html</a>
～美しい地球は、私達の心のハーモニーから～雨谷麻世環境チャリティコンサート	7月13日(水) 10月9日(日) 10月28日(金) 12月21日(水)	王子ホール、 吉備津神社、 他	歌を通じて地球環境の大切さ、命の源である緑・森の大切さを伝えるコンサートです。 主催：(特非)太陽の会 (公社)国土緑化推進機構 Mayo Crystal Music

## コラム

### 令和4年度 みどりの月間

5月4日は「みどりの日」です。みどりの大切さを知ってもらうため、4月15日から5月14日までを「みどりの月間」としています。月間中は、多くの方々に森林や自然とふれあい、植樹活動に取り組んでいただけるよう、様々なイベントが開催されるほか、緑の募金運動が重点的に実施されます。

#### ■ 「緑の募金」(主催：公益社団法人 国土緑化推進機構)

4月15日(金)からの「みどりの月間」を緑の募金全国一斉強化月間として、コンビニ等の店頭、インターネット、スマホ決済等を通じて募金が行われています。

緑の募金は「寄附」という形を通して、国内外で行われている植樹や間伐などの森林整備や緑化を行うボランティア活動、森林を活用した子供たちへの森林環境教育を支援するもので、令和2年7月豪雨をはじめ、災害により大きな被害を受けた被災地域の復興の支援を目的とした森林整備や緑化等にも使われています。ぜひ皆様のご協力をお願いいたします。

国土緑化推進機構 緑の募金：<https://www.green.or.jp/bokin/>



親子参加による植樹会  
写真提供：国土緑化推進機構

「みどりの月間」中に行われる行事は、以下のHPに掲載される予定です。  
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/ryokka/gekkan/>



お知らせ

もり  
森林を守る

もり  
森林を活かす



原画：千葉美沙希さん

ご協力を  
お願いします

# 緑の募金

「緑の募金」は、身近な地域の森づくりをはじめ、国内外の森づくりや人づくりなどに大切に活用されています。



緑の募金

ご協力をお願いします

春の新緑シーズン(1月～5月)と秋の紅葉シーズン(9月～10月)の年2回  
家庭募金、街頭募金、職場募金、企業募金、学校募金などによって行われています。

緑の募金に関するお問い合わせはこちらまで

公益社団法人 国土緑化推進機構  0120-110-381  
ホームページ <https://www.green.or.jp> 電子メールアドレス [bokin@green.or.jp](mailto:bokin@green.or.jp)

